

令和5年6月臨時会

(2023年)

市議会議案

吹田市

議事番号	事 件 名	議案書 ページ	参考資料 ページ
報告第2号	公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について	5	-
報告第3号	公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について	51	-
報告第4号	一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況について	101	-
報告第5号	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について	135	-
報告第6号	公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について	167	-
報告第7号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	207	-
報告第8号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	209	-
報告第9号	令和4年度吹田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	211	-
報告第10号	令和4年度吹田市公共用地先行取得特別会計繰越明許費繰越計算書について	215	-
報告第11号	令和4年度吹田市水道事業会計予算繰越計算書について	219	-
報告第12号	令和4年度吹田市下水道事業会計予算繰越計算書について	223	-
報告第13号	専決処分報告 吹田市立吹田東小学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について	229	5
報告第14号	専決処分報告 吹田市立吹田南小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	231	11
報告第15号	専決処分報告 吹田市立千里第三小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	235	19
報告第16号	専決処分報告 吹田市立岸部第一小学校校舎大規模改造2期工事（建築工事）請負契約の締結について	239	27
報告第17号	専決処分報告 吹田市立豊津第二小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	243	34
報告第18号	専決処分報告 吹田市立山手小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について	247	43
報告第19号	専決処分報告 吹田市立桃山台小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	251	52
報告第20号	専決処分報告 吹田市立第一中学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について	255	60
報告第21号	専決処分報告 吹田市立第二中学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	257	67

議事番号	事 件 名	議案書 ページ	参考資料 ページ
報告第22号	専決処分報告 吹田市立第六中学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について	261	77
報告第23号	専決処分報告 吹田市立山田中学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について	265	84
報告第24号	専決処分報告 令和5年度吹田市一般会計補正予算（第2号）	269	93
報告第25号	専決処分報告 令和5年度吹田市一般会計補正予算（第3号）	289	95
議案第47号	旧市営岸部中（北）住宅解体撤去工事請負契約の締結について	309	97

報告第2号

公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について

公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤 圭二

令和5年度（2023年度）事業計画

令和4年度から5年間のメイシアター指定管理者に指定され、引き続き効果的・効率的な管理運営を行います。その他公益目的事業を推進し、多彩な自主文化事業に取り組み、以下のとおり事業活動を行います。

1. 公益目的事業

<市民の文化活動の振興を図る事業>

市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的とします。

(1) 鑑賞型事業

市民の多様なニーズに応えるよう多彩なジャンルの質の高い事業を提供し、多くの市民が文化芸術を鑑賞できる機会をつくります。高齢者、障がい者、青少年など多くの市民に親しんでもらえるよう事業形態を工夫します。

[主な事業]

- 大阪フィルハーモニー交響楽団 セタコンサート
質の高いコンサートを安価で鑑賞できる機会。
- 新春能
吹田在住の能楽師と人間国宝が共演する能楽公演。解説や子ども向け体験講座も。
- 燐光群 演劇公演
高い芸術性と硬質の社会性を併せ持つ新作の上演。
- 公園ライブ
市民により身近な環境で生演奏に触れてもらう機会。

(2) 創造型事業

事業企画の専門知識やネットワークを生かした独自の事業を企画・制作します。また、地域の人材を生かした事業により地域の活性化、魅力向上に繋がります。

[主な事業]

- バレエ「レ・シルフィード／ライモンダ 3幕」
公募による40歳以上のダンサー30名と創造するバレエ公演。
- 演劇「怪人二十面相・伝」
関西で活躍中の演劇関係者を起用し、独自の演劇作品を創造する。

(3) 市民参加型事業

体験を通じて市民の文化芸術に対する興味を深めてもらい、市民が主役となって関わり自己実現できる場をつくります。創作活動において世代や価値観の垣根を超えた交流を促し、豊かな地域コミュニティづくりに寄与します。

[主な事業]

■ 関西フィルハーモニー管弦楽団 吹田市民の第九

小中学生から80歳代までで構成する120名の市民合唱団が、吹田出身の合唱指導者のもと練習を重ね、プロのオーケストラと本番で共演する。

■ 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル

公募による小学生から大学生、60歳代までの市民40名が、プロの演劇関係者と約30日間の稽古を経てミュージカルを上演。創作活動の過程で参加者が繋がりを深める。

■ 芸術芸能フェスティバル

市民に舞台発表の機会を提供する。地域で活動する器楽演奏、舞踊などの約15団体を公募し市民にお披露目する。

(4) 育成型事業

青少年の成長に資することを目的とした子ども向けの鑑賞事業、体験事業を継続的に実施します。地域における次世代の実演家、指導者、アートマネジメント人材の育成にも取り組みます。

[主な事業]

■ ティーンズクラシックフェスティバル

吹田の青少年を対象にした学べるクラシック音楽コンクール。公開レッスンや合唱練習、吹奏楽クリニックも。

■ 小学校・出張コンサート

小学校の音楽室に吹田の若手奏者を派遣して演奏会を行う。

■ 小学校・演劇ワークショップ

小学校へ演劇人が出向く体験ワークショップ。

■ 和太鼓ワークショップ

子どもを対象にした和太鼓体験講座。

(5) 連携型事業

より多くの市民を巻き込み、地域に密着した事業を拡大することを目的として、市内の民間団体、企業、大学、行政等と連携して事業を行います。

[主な事業]

- 吹田市医師会懇談会イベント（民間団体との連携）
- スキュルチュール江坂ロビーコンサート（企業との連携）
- すいたフェスタ（行政との連携）
- 夏休み子ども劇場（行政との連携）
- 吹田市文化功労者表彰式典（行政との連携）

(6) 情報発信型事業

文化事業の情報提供や施設使用状況の公開など、市民の文化活動に資する情報提供に取り組みます。市民と文化芸術との接点を増やせるよう多様な媒体を活用します。

[主な事業]

- ホームページ、SNSの活用
- 情報紙「メイシアターインフォメーション」の発行
- デジタルサイネージの運用
- チラシ、ポスターの掲出

(7) 施設管理事業

これまでの実績を生かして一層の市民の文化の向上を図り、以下の方針にてメイシアターの管理運営を行います。

[管理運営方針]

- 平等利用の確保
- 個人情報保護、情報公開
- 施設の利用促進
- 安全対策
- 経費の節減
- 環境への配慮 など

2. 収益事業

＜市民の文化活動の振興に資する事業＞

公益目的事業に資することを目的に、以下の事業を行います。

(1) レストラン業務委託事業

メイシアター2階にてレストラン「CAFÉ DINING VALORE. (バローレ)」を運営。来館者に飲食を楽しんでいただき、また、レセプションホールの料飲提供や楽屋ケーターリングなどにも対応します。運営会社と連携・協力して営業を推進し、業務収益の確保に努めます。

(2) 広告掲載受託事業

自主事業の活動に資するスポンサーを求め、とくにメイシアターインフォメーションや公演プログラムなど多くの市民に渡る発行物への広告を募り、広告料収益の確保に努めます。

(3) 自動販売機設置事業

自動販売機6台を設置し、来館者に飲料の提供を行います。メイシアターに見合うオリジナルラッピングやWリボンラッピングを施して引き立たせ、業務収益の確保に努めます。

併せてすべてを災害対応型自動販売機とし、非常時の避難者支援を図ります。

令和5年度（2023年度）公益目的事業一覧

<自主事業・共催事業>

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和5年 4月9日 (日)	大ホール	スーパークラシック アンサンブル	1	吹田市在住のヴァイオリニスト 堀江恵太を中心とした若手弦楽 奏者20人のアンサンブル。	(4) 育成型 共催事業
4月30日 (日)	大ホール	<アート引越センタープレゼンツ> 関西フィルハーモニー管弦楽団 新緑コンサート	1	指揮/藤岡幸夫 曲目/交響組曲シェエラザード、 映画音楽	(1) 鑑賞型 自主事業
5月21日 (日)	大ホール	グレートジャズシリーズ in 吹田	1	関西のジャズ奏者が集う恒例の チャリティージャズコンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
5月27日 (土)	中ホール	桂米朝一門会	1	桂米朝一門による恒例の落語会。 出演/桂ざこば、桂南光、桂雀三郎 他	(1) 鑑賞型 自主事業
6月	帝国 ホテル	吹田市医師会 夏季懇談会イベント	1	吹田市医師会からのミニコンサ ート受託事業。	(5) 連携型 自主事業
6月	中ホール	防災シミュレーション コンサート	1	公演中に地震が発生した想定で 開催する避難体験コンサート。	(3) 市民 参加型 自主事業
7月5日 (水)	中ホール	和太鼓松村組	1	和太鼓にマリンバやオカリナ等、 民族楽器を融合させる独自の音楽 を追求する松村組のコンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
7月24日(月) ~27日(木)	中ホール	HPF 高校演劇祭	4	大阪府下2つの劇場と連携して 行う“高校演劇の甲子園”。メイシ アターでは4校の演劇部が出演。	(4) 育成型 共催事業
8月5日 (土)	中ホール	<市民平和のつどい> 夏休み特選映画劇場	2	今春の話題作、または夏休みに小 学生から大人まで家族で楽しむ 作品を上映する。	(1) 鑑賞型 自主事業
8月26日 (土)	小ホール	よってよって パペットカーニバル	1	プロ、アマの人形劇団が夏休みに 開催する人形劇祭。子どもも作品 作りに参加する。	(4) 育成型 共催事業
9月2日 (土)	中ホール	桂米團治独演会	1	五代目桂米團治による落語会。	(1) 鑑賞型 自主事業
9月16日(土) 17日(日)	大ホール	関西歌劇団オペラ公演 「サンドリヨン」	2	指揮/牧村邦彦 演出/井原広樹 管弦楽/大阪交響楽団 バレエ/法村友井バレエ団	(1) 鑑賞型 共催事業

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
9月20日 (水)	小ホール	関西歌劇団新進歌手による ソロコンサート	1	関西歌劇団準団員がオペラアリアと日本歌曲を披露する。	(1) 鑑賞型 共催事業
10月18日 (水)	中ホール	映画「私は、マリア・カラス」 「マリア・カラス 伝説のオペラ座ライブ」	2	生誕100年マリア・カラスのバリ・オペラ座における伝説のコンサートを映画化した作品。	(1) 鑑賞型 共催事業
10月27日(金) ～29日(日)	大・中 ホール 他	ポラリス国際音楽祭	5	国内外の一流音楽家と子ども、市民が出会うコンサート。 出演/ジョン健ヌッツォ(テノール) クレンケ弦楽四重奏団 他	(1) 鑑賞型 共催事業
11月25日(土) 26日(日)	大ホール	関西二期会オペラ公演 「カルメン」	2	指揮/グイド・マリア・グイェーダ 演出/三浦安浩 管弦楽/大阪交響楽団	(1) 鑑賞型 共催事業
11月	スキュル チュール 江坂	スキュルチュール江坂 ロビーコンサート	1	美術館スキュルチュール江坂でのコンサート。	(5) 連携型 自主事業
12月6日(水) 7日(木)	中ホール	燐光群 「わが友、第五福竜丸(仮)」	2	坂手洋二作・演出、芸術性と社会性を両立した演劇作品。	(1) 鑑賞型 共催事業
12月23日 (土)	小ホール	古川兄弟ギターコンサート	2	大阪出身の兄弟ギタリスト古川忠義、古川昌義によるコンサート。	(1) 鑑賞型 自主事業
令和6年 1月7日 (日)	中ホール	三代目桂春蝶落語会	1	吹田市出身の桂春蝶による古典落語の会。	(1) 鑑賞型 自主事業
1月8日 (月)	中ホール	人形劇団クラルテ 「11ぴきのねことへんなねこ」	1	人形劇団クラルテによる親子で楽しめる人形劇。	(4) 育成型 共催事業
1月13日 (土)	中ホール	メイシアターメイトのつどい 映画会	2	メイシアターメイト会員対象の映画鑑賞会。	(1) 鑑賞型 自主事業
1月	リーガ ロイヤル ホテル	吹田市医師会 新春懇談会イベント	1	吹田市医師会からのミニコンサート受託事業。	(5) 連携型 自主事業
2月17日(土) 18日(日)	大ホール	恐竜ラボ ディノサバイバル	2	動く恐竜模型の迫力を体感しながら、子どもが恐竜について学べるエンタテインメントショー。	(1) 鑑賞型 共催事業
2月23日(金) ～25日(日)	中ホール	大阪劇団協議会 プロデュース公演	5	大阪劇団協議会加盟の11劇団が総力を結集して上演する演劇公演。	(5) 連携型 共催事業

(7)

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
3月25日 (月)	小ホール 展示室他	すいすいまつり	1	市内団体と連携して開催する、春休みの子どもを対象にした人形劇、紙芝居、絵本の読み聞かせ会。	(4) 育成型 共催事業
3月	小ホール	日本の歌百選	1	ソプラノ、テノール、ピアノによる童謡・唱歌のコンサート。	(1) 鑑賞型 自主事業
3月	共用 ロビー	吹田ジュニアオーケストラ ロビーコンサート	1	昼休み時間に開催する子どもの弦楽アンサンブルコンサート。	(4) 育成型 自主事業

<受託事業>

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和5年 4月29日 (土)	いずみの園 公園	ミュージックストリート① 天国サウンド メイシアター公園ライブ	1	出演/山村誠一(スティールパン) 山田やーそ裕(7弦ギター) (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
4月~5月	リハーサル 室	<吹田市民劇場> 「レ・シルフィード/ライモンダ 3幕」レッスン	5	公募・オーディションによる40 歳~70歳のダンサー30人の舞 台リハーサル。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民 参加型
4月~1月	練習室	すいたティーンズクラシック フェスティバル メイシアター少年少女合唱団	12	吹田市在住の小4~高3の30 人による合唱団。月1回練習を 実施。講師/高木ひとみ (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
5月28日 (日)	大ホール	<吹田市民劇場> レ・シルフィード /ライモンダ3幕	1	振付/高岸直樹(元東京バレエ団) ゲスト/ 水城卓哉(貞松・浜田バレエ団)他 (文化スポーツ推進室)	(2) 創造型
6月	小学校	<吹田市民劇場> 青少年育成事業 小学校・出張コンサート	4	吹田東小、吹田第二小学校の音 楽室へ吹田の若手演奏家が出張 する。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
7月1日 (土)	大ホール	<吹田市民劇場> 大阪フィルハーモニー交響楽団 セタコンサート	1	指揮/松本宗利音 ソリスト/調整中 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
8月3日 (木)	中ホール	<市民平和のつどい> 夏休み子ども劇場	2	子どもを対象にした無料の演劇 公演。 (青少年室)	(4) 育成型
8月4日 (金)	中ホール	<市民平和のつどい> 「落語と浪曲の夕べ」	1	落語と浪曲で平和の尊さを伝える 事業。 (人権平和室)	(1) 鑑賞型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
8月6日 (日)	大ホール	<市民平和のつどい> 平和コンサート 森山良子	1	幅広い世代に人気の著名歌手によるコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
8月	EXPOCITY 空の広場	すいたフェスタ スプラッシュパーティ	1	すいたフェスタのプレイベントとして実施するスプラッシュパーティ、ライブイベント。 (近畿日本ツーリスト)	(5) 連携型
8月～10月	リハーサル室 他	すいたティーンズクラシック フェスティバル 審査員による公開レッスン	3	市内10代の青少年を対象にしたピアノ、弦楽、歌の公開レッスン。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月	中ホール	<吹田市民劇場> 青少年育成事業 和太鼓ワークショップ	4	小中高生対象の和太鼓体験講座。講師/政本憲一(松村組) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月	いずみの園 公園	ミュージックストリート② メシアター公園ライブ	1	日頃メシアターに縁のない市民にも生演奏に触れてもらい、地域に賑わいを生む屋外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
10月～12月	リハーサル室 他	<吹田市民劇場> 吹田市民の第九 合唱レッスン	5	一般公募による市民合唱団の合唱練習。講師/清原邦仁 他 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
11月3日 (金)	レセプション ホール	令和5年度 吹田市文化功労者表彰式典	1	文化振興に功績のあった市民を表彰する式典。お茶席や演奏会も開催。 (文化スポーツ推進室)	(5) 連携型
11月3日 (金)	いずみの園 公園	ミュージックストリート③ いずみの園公園フェス	1	文化の日に館内外に地域に賑わいを生む屋外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
11月3日 (金)	共用ロビー	すいたティーンズクラシック フェスティバル メシアター少年少女合唱団 ロビーコンサート	1	文化の日に、館内外に地域に賑わいを生むロビーコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
11月	中学校	すいたティーンズクラシック フェスティバル プラスクリニック	9	市内中学校吹奏楽部員約120人が対象。プロ奏者が講師を務める楽器別クリニック。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
12月17日 (日)	大ホール	第14回 すいたティーンズクラシック フェスティバル	2	市内在住・在校の10代の青少年対象のクラシック音楽のコンクール。予選11月12日(日) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
12月24日 (日)	大ホール	<吹田市民劇場> 吹田市民の第九 関西フィルハーモニー管弦楽団 スペシャルコンサート	1	公募による市民合唱団と藤岡幸夫指揮の関西フィルとの共演。市内中学校合唱部も参加する。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和6年 1月4日 (木)	大ホール	新年のつどい	1	コンサートを伴う式典。 (秘書課)	(5) 連携型
1月6日 (土)	中ホール	すいたティーンズクラシック フェスティバル フレッシュコンサート	1	受賞者によるピアノ、ヴァイオリン、声楽などのコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
1月14日 (日)	中ホール	<吹田市民劇場> 新春能	1	吹田在住の能楽師・林本大を中心とした出演者による公演。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
1月20日 (土)	中ホール	第17回 吹田芸術芸能フェスティバル ～舞台部門	1	吹田市民を対象に出演者を公募した舞台の祭典。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月20日(土) 21日(日)	展示室	第17回 吹田芸術芸能フェスティバル ～展示部門	2	吹田市民を対象に出展を公募した展示会。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月～3月	千里金蘭 大学 中ホール	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル ワークショップ	5	千里金蘭大学学生と幅広い世代の市民を対象とした、演技・歌・ダンスのワークショップ。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
2月2日(金) ～4日(日)	小ホール	<吹田市民劇場> 「怪人二十面相・伝」	3	作/北村想 演出/大熊隆太郎 出演/うえだひろし (文化スポーツ推進室)	(2) 創造型
2月4日 (日)	練習室	<吹田市民劇場> 劇評ワークショップ	1	「怪人二十面相・伝」鑑賞後、感想を述べ合うワークショップ。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
2月	小学校	<吹田市民劇場> 青少年育成事業 演劇ワークショップ	4	小学生を対象にした演劇体験・コミュニケーションワークショップ。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
3月16日(土) 17日(日)	中ホール	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル	3	千里金蘭大学との共同事業。市民参加による創作ミュージカル。作・演出/片岡百萬両 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
3月20日 (水)	いずみの園 公園	ミュージックストリート④ いずみの園公園フェス	1	春分の日、地域に賑わいを生む屋外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型

<自主事業－情報発信型事業>

事業名	おもな内容
ホームページによる情報発信	イベントの情報、チケットの予約・購入 メイシアターの利用情報、空き状況検索 事業団の情報公開 など
SNS (Twitter、Facebook、LINE)を活用した情報発信	イベントの最新情報(発売、募集など) メイシアターの最新情報(感染対策など)
デジタルサイネージの運用	イベントの情報 館内催し物案内 フロアガイド など
メイシアターインフォメーションの発行	イベントの情報 チケットの購入方法 月間イベントカレンダー など
チケット関連サービス	チケット予約・問い合わせ専用ダイヤルの運用 チケット購入ポイント特典サービス(メイシアターメイト)
チラシ、ポスターの掲出	メイシアターのイベントのチラシ、ポスター 他館のイベントのチラシ、ポスター 吹田市の情報 など
市報すいた(吹田市発行)への情報掲載	メイシアター専用紙面(1ページ) 市内全戸配布(月1回)

<施設管理事業>

事業名	おもな内容
平等利用の確保	メイシアターに関する条例・規則等の遵守 施設貸与のマニュアル化・システム化 受付抽選業務の実施
個人情報保護、情報公開	JIS規格に準拠した個人情報保護マネジメント 個人情報保護規程 情報公開規程
施設の利用促進	来場者アンケートの実施 オンライン化の推進 ロビーのディスプレイ(鏡餅、雛飾り、五月人形、七夕、Xmas ツリーなど)
安全対策	設備等の保守点検 危機管理マニュアル 感染対策ガイドライン
経費の節減	適正な契約金額の確保(入札、見積り合せ) 使用電力のデマンド管理(電気料金の節減) 業務委託契約の見直し(委託業務の効率化)
環境への配慮	エコアクション21に準拠した環境経営マネジメント 環境活動レポート 環境啓発活動(環境イベントへの参加)

令和5年度 収支予算

令和5年度 収支予算は次に定めるところによる。

(収支予算)

- 第1条 一般正味財産増減の部、指定正味財産増減の部の収支予算の総額は、収益の部を469,108,000円、費用の部を469,448,000円と定める。
- 2 収支予算の勘定科目の区分及び額は収支予算書（正味財産増減計算ベース）による。

公益財団法人吹田市文化振興事業団

理事長 河内 幸枝

収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	543,000	543,000	0
01 基本財産受取利息	543,000	543,000	0
②事業収益	465,490,000	492,823,000	△ 27,333,000
01 施設管理事業収益	408,952,000	434,527,000	△ 25,575,000
02 受託事業収益	39,650,000	41,094,000	△ 1,444,000
03 入場券販売収益	4,550,000	8,013,000	△ 3,463,000
04 レストラン業務収益	433,000	231,000	202,000
05 友の会会費収益	1,024,000	1,145,000	△ 121,000
06 サービス事業収益	1,533,000	1,033,000	500,000
07 物品販売収益	361,000	191,000	170,000
08 手数料収益	6,236,000	4,527,000	1,709,000
09 広告料収益	600,000	600,000	0
10 負担金収益	2,151,000	1,462,000	689,000
③ 受取補助金等	2,750,000	1,000,000	1,750,000
01 文化事業助成金収益	2,750,000	1,000,000	1,750,000
④ 寄付金収益	323,000	75,000	248,000
01 寄付金収益	323,000	75,000	248,000
⑤ 雑収益	2,000	2,000	0
01 受取利息	1,000	1,000	0
02 雑収益	1,000	1,000	0
経常収益計	469,108,000	494,443,000	△ 25,335,000
(2)経常費用			
① 自主事業費	19,170,000	19,410,000	△ 240,000
04 賃金	25,000	25,000	0
05 福利厚生費	1,000	1,000	0
06 会議費	14,000	14,000	0
07 旅費	100,000	100,000	0
08 交際費	40,000	40,000	0
09 通信運搬費	259,000	266,000	△ 7,000
10 什器備品費	300,000	300,000	0
11 消耗品費	423,000	436,000	△ 13,000
12 交通費	51,000	50,000	1,000
13 修繕費	462,000	462,000	0
14 印刷製本費	2,594,000	2,559,000	35,000
15 光熱水料費	69,000	49,000	20,000
16 賃借料	1,367,000	2,581,000	△ 1,214,000
17 保険料	50,000	50,000	0
18 諸謝金	617,000	1,185,000	△ 568,000
19 手数料	900,000	667,000	233,000
20 租税公課	35,000	43,000	△ 8,000
21 著作権料	140,000	55,000	85,000
22 負担金	147,000	147,000	0
23 委託費	11,472,000	10,149,000	1,323,000
24 広告宣伝費	69,000	68,000	1,000
25 公演賄費	34,000	157,000	△ 123,000
30 雑費	1,000	6,000	△ 5,000

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
② 施設管理事業費	400,744,000	402,240,000	△ 1,496,000
02 給料手当	103,831,000	106,342,000	△ 2,511,000
03 退職給付費用	13,223,000	12,176,000	1,047,000
04 賃金	0	0	0
05 福利厚生費	17,802,000	18,302,000	△ 500,000
07 旅費	159,000	159,000	0
09 通信運搬費	1,350,000	1,350,000	0
11 消耗品費	4,769,000	4,769,000	0
13 修繕費	12,100,000	12,100,000	0
14 印刷製本費	1,949,000	1,949,000	0
15 光熱水料費	63,646,000	63,646,000	0
16 賃借料	11,070,000	11,070,000	0
17 保険料	205,000	205,000	0
19 手数料	126,000	126,000	0
20 租税公課	14,449,000	17,053,000	△ 2,604,000
22 負担金	96,000	96,000	0
23 委託費	155,969,000	152,897,000	3,072,000
③ 受託事業費	39,650,000	41,094,000	△ 1,444,000
04 賃金	120,000	287,000	△ 167,000
05 福利厚生費	1,000	1,000	0
06 会議費	0	17,000	△ 17,000
07 旅費	1,000	16,000	△ 15,000
09 通信運搬費	492,000	249,000	243,000
11 消耗品費	345,000	436,000	△ 91,000
12 交通費	15,000	102,000	△ 87,000
14 印刷製本費	1,316,000	2,206,000	△ 890,000
16 賃借料	2,412,000	2,575,000	△ 163,000
17 保険料	10,000	10,000	0
18 諸謝金	3,002,000	3,232,000	△ 230,000
19 手数料	2,252,000	1,750,000	502,000
20 租税公課	44,000	66,000	△ 22,000
21 著作権料	380,000	259,000	121,000
23 委託費	28,760,000	29,526,000	△ 766,000
24 広告宣伝費	165,000	110,000	55,000
25 公演賄費	318,000	234,000	84,000
30 雑費	17,000	18,000	△ 1,000
④ 管理費	9,884,000	10,286,000	△ 402,000
01 役員報酬	1,101,000	1,101,000	0
02 給料手当	5,465,000	5,807,000	△ 342,000
03 退職給付費用	744,000	778,000	△ 34,000
05 福利厚生費	937,000	963,000	△ 26,000
06 会議費	34,000	34,000	0
07 旅費	100,000	100,000	0
08 交際費	11,000	11,000	0
09 通信運搬費	66,000	66,000	0
11 消耗品費	172,000	172,000	0
12 交通費	10,000	10,000	0
14 印刷製本費	55,000	55,000	0
17 保険料	26,000	26,000	0
18 諸謝金	165,000	165,000	0
19 手数料	210,000	210,000	0
20 租税公課	575,000	575,000	0
22 負担金	173,000	173,000	0
24 広告宣伝費	40,000	40,000	0
經常費用計	469,448,000	473,030,000	△ 3,582,000
当期經常増減額	△ 340,000	21,413,000	△ 21,753,000

(14)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 340,000	21,413,000	△ 21,753,000
一般正味財産期首残高	△ 11,236,223	△ 32,649,223	21,413,000
一般正味財産期末残高	△ 11,576,223	△ 11,236,223	△ 340,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	188,423,777	188,763,777	△ 340,000

収支予算書 内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	収1			
	市民の文化活動 の振興を図る事業	市民の文化活動の 振興に資する事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
①基本財産運用益	0	0	543,000		543,000
01 基本財産受取利息	0	0	543,000		543,000
②事業収益	414,985,800	43,359,200	7,145,000		465,490,000
01 施設管理事業収益	360,911,800	40,895,200	7,145,000		408,952,000
02 受託事業収益	39,650,000	0	0		39,650,000
03 入場券販売収益	4,550,000	0	0		4,550,000
04 レストラン業務収益	0	433,000	0		433,000
05 友の会会費収益	1,024,000	0	0		1,024,000
06 サービス事業収益	1,533,000	0	0		1,533,000
07 物品販売収益	361,000	0	0		361,000
08 手数料収益	4,805,000	1,431,000	0		6,236,000
09 広告料収益	0	600,000	0		600,000
10 負担金収益	2,151,000	0	0		2,151,000
③ 受取補助金等	2,750,000	0	0		2,750,000
01 文化事業助成金収益	2,750,000	0	0		2,750,000
④ 寄付金収益	323,000	0	0		323,000
01 寄付金収益	323,000	0	0		323,000
⑤ 雑収益	2,000	0	0		2,000
01 受取利息	1,000	0	0		1,000
02 雑収益	1,000	0	0		1,000
経常収益計	418,060,800	43,359,200	7,688,000		469,108,000
(2)経常費用					
①自主事業費	18,799,000	371,000	0		19,170,000
04 賃金	25,000	0	0		25,000
05 福利厚生費	1,000	0	0		1,000
06 会議費	14,000	0	0		14,000
07 旅費	100,000	0	0		100,000
08 交際費	40,000	0	0		40,000
09 通信運搬費	259,000	0	0		259,000
10 什器備品費	300,000	0	0		300,000
11 消耗品費	423,000	0	0		423,000
12 交通費	51,000	0	0		51,000
13 修繕費	462,000	0	0		462,000
14 印刷製本費	2,359,000	235,000	0		2,594,000
15 光熱水料費	0	69,000	0		69,000
16 賃借料	1,301,000	66,000	0		1,367,000
17 保険料	50,000	0	0		50,000
18 諸謝金	617,000	0	0		617,000
19 手数料	900,000	0	0		900,000
20 租税公課	34,000	1,000	0		35,000
21 著作権料	140,000	0	0		140,000
22 負担金	147,000	0	0		147,000
23 委託費	11,472,000	0	0		11,472,000
24 広告宣伝費	69,000	0	0		69,000
25 公演賄費	34,000	0	0		34,000
30 雑費	1,000	0	0		1,000

(単位:円)

②施設管理事業費	360,028,900	40,715,100	0	400,744,000
02 給料手当	92,901,000	10,930,000	0	103,831,000
03 退職給付費用	11,900,700	1,322,300	0	13,223,000
05 福利厚生費	15,928,000	1,874,000	0	17,802,000
07 旅費	143,100	15,900	0	159,000
09 通信運搬費	1,215,000	135,000	0	1,350,000
11 消耗品費	4,292,100	476,900	0	4,769,000
13 修繕費	10,890,000	1,210,000	0	12,100,000
14 印刷製本費	1,754,100	194,900	0	1,949,000
15 光熱水料費	57,281,400	6,364,600	0	63,646,000
16 賃借料	9,963,000	1,107,000	0	11,070,000
17 保険料	184,500	20,500	0	205,000
19 手数料	113,400	12,600	0	126,000
20 租税公課	13,004,100	1,444,900	0	14,449,000
22 負担金	86,400	9,600	0	96,000
23 委託費	140,372,100	15,596,900	0	155,969,000
③受託事業費	39,650,000	0	0	39,650,000
04 賃金	120,000	0	0	120,000
05 福利厚生費	1,000	0	0	1,000
07 旅費	1,000	0	0	1,000
09 通信運搬費	492,000	0	0	492,000
11 消耗品費	345,000	0	0	345,000
12 交通費	15,000	0	0	15,000
14 印刷製本費	1,316,000	0	0	1,316,000
16 賃借料	2,412,000	0	0	2,412,000
17 保険料	10,000	0	0	10,000
18 諸謝金	3,002,000	0	0	3,002,000
19 手数料	2,252,000	0	0	2,252,000
20 租税公課	44,000	0	0	44,000
21 著作権料	380,000	0	0	380,000
23 委託費	28,760,000	0	0	28,760,000
24 広告宣伝費	165,000	0	0	165,000
25 公演賄費	318,000	0	0	318,000
30 雑費	17,000	0	0	17,000
④管理費	0	0	9,884,000	9,884,000
01 役員報酬	0	0	1,101,000	1,101,000
02 給料手当	0	0	5,465,000	5,465,000
03 退職給付費用	0	0	744,000	744,000
05 福利厚生費	0	0	937,000	937,000
06 会議費	0	0	34,000	34,000
07 旅費	0	0	100,000	100,000
08 交際費	0	0	11,000	11,000
09 通信運搬費	0	0	66,000	66,000
11 消耗品費	0	0	172,000	172,000
12 交通費	0	0	10,000	10,000
14 印刷製本費	0	0	55,000	55,000
17 保険料	0	0	26,000	26,000
18 諸謝金	0	0	165,000	165,000
19 手数料	0	0	210,000	210,000
20 租税公課	0	0	575,000	575,000
22 負担金	0	0	173,000	173,000
24 広告宣伝費	0	0	40,000	40,000
経常費用計	418,477,900	41,086,100	9,884,000	469,448,000
当期経常増減額	△ 417,100	2,273,100	△ 2,196,000	△ 340,000

(単位:円)

2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	1,136,550	△ 1,136,550	0	0
当期一般正味財産増減額	719,450	1,136,550	△ 2,196,000	△ 340,000
一般正味財産期首残高	△ 15,771,688	29,762,656	△ 25,227,191	△ 11,236,223
一般正味財産期末残高	△ 15,052,238	30,899,206	△ 27,423,191	△ 11,576,223
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	200,000,000	200,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	200,000,000	200,000,000
III 正味財産期末残高	△ 15,052,238	30,899,206	172,576,809	188,423,777

令和4年度（2022年度）事業報告書

令和4年度は、第5期目のメイシアター指定管理期間（5年間）の初年度にあたります。新型コロナウイルス感染症の流行が3年に及び、第7波、8波が猛威を振るう時期もありましたが市民の文化活動の回復の兆しが見えた一年でもありました。その中で事業団は、今年も引き続き効果的・効率的な管理運営と多彩な自主文化事業に取り組みました。

1. 公益目的事業

＜市民の文化活動の振興を図る事業＞

市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的とします。

(1) 鑑賞型事業

より多くの市民が文化芸術を鑑賞できるよう、市民の多様なニーズに応えた多彩なジャンルの質の高い事業を実施しました。

〔主な事業〕

- 大阪フィルハーモニー交響楽団コンサート
質の高いシンフォニーを安価で鑑賞できる機会。学生料金も設定する。
- 世良公則アコースティックソロライブ
著名な歌手のステージに身近に出会える機会。
- Cutting Edge 狂言
古典芸能を安価で鑑賞できる機会。
- ミュージックストリート
会館前の公園等で無料コンサートを実施、より身近に生演奏に触れてもらう。

(2) 創造型事業

事業企画の専門知識や豊富なネットワークを生かした独自の事業を企画・制作しました。また地域の人材を生かした事業により、地域の文化的交流の活性化、魅力向上に繋がりました。

〔主な事業〕

- SHOW 劇場「天守物語」
関西で活躍中の演出家、俳優等の演劇関係者を起用して話題作を創造する。
- 吹田のアーティスト応援事業
市在住のプロの実演家に発表の場を提供して、市内外に情報発信する。
- DANCE PROJECT 218.「HAKAI」
企画制作だけでなく照明プランも担いプロデュースしたコンテンポラリーダンス。

(3) 市民参加型事業

市民に体験を通じて文化芸術に対する興味を深めてもらい、市民が主役となって関わる場をつくりました。また創作活動において世代や価値観の垣根を超えた交流を促し、地域コミュニティづくりに寄与しました。

〔主な事業〕

- 吹田市民の第九
幅広い世代の120名の市民合唱団が藤岡幸夫指揮・関西フィルと共演。
- ファミリーミュージカル
小学生から60歳代までの市民36名が36日間の稽古を経てプロと共演。
- 劇評ワークショップ
観劇後の感想を述べ合い多様な価値観を共有する場をつくる。

(4) 育成型事業

青少年の豊かな人間性を育むことと次世代の担い手育成を目的として、芸術体験の機会充実を目指し子ども向けの鑑賞事業、体験事業を実施しました。

〔主な事業〕

- ティーンズクラシックフェスティバル
若い才能を発掘する学べるコンクール事業。
- 東京バレエ団 子どものためのバレエ
主に小学生の子どもとその家族を対象の全幕作品。地元の子役が共演する。
- いいむろなおきマイムカンパニー
幼児と子育て中の家族を対象にした芸術性の高いパントマイム公演。
- ミュージックサーカス 0歳から楽しめる親子コンサート
乳幼児が家族で参加できるコンサート。
- 小学校・出張コンサート
吹田の奏者による弦楽四重奏を音楽室で披露する。

(5) 連携型事業

より多くの市民を巻き込み、地域に密着した事業の拡大を目的として、市内の大学、企業、行政等と連携して事業を行いました。

〔主な事業〕

- 千里金蘭大学共同 ファミリーミュージカル
- 大阪大学共同事業 中之島デリバティブ
- すいたフェスタプレ企画 スプラッシュパーティ
- 文化政策ビジョン策定記念シンポジウム

(6) 情報発信型事業

文化事業の情報提供や施設使用状況の公開など、市民の文化活動に資する情報提供に取り組みました。市民と文化芸術との接点を増やせるよう多様な媒体を活用しました。

〔主な事業〕

- ホームページ、SNS の活用
- 月刊紙「メイシアターいんぷおめーしょん」の発行
- デジタルサイネージの運用
- チラシ、ポスターの掲出

(7) 施設管理事業

市民の文化活動の振興を図り、文化会館の活用を推進するため、効果的・効率的な施設管理事業に取り組みました。

とくにコロナ禍においては、特措法に基づく適正な取扱い、ガイドラインに基づく適切な対策に努め、安全な施設の管理運営に取り組みました。

2. 収益事業

〈市民の文化活動の振興に資する事業〉

公益目的事業に資することを目的に、以下の事業を行いました。

(1) レストラン業務委託事業

メイシアター2階にてレストラン「CAFÉ DINING VALORE. (パローレ)」が営業。来館者に飲食を楽しんでいただき、また、レセプションホールの飲料提供や楽屋ケータリングなどにも対応しました。運営会社と連携・協力して営業を推進し、業務収益の確保に努めました。

(2) 広告掲載受託事業

自主事業の活動に資するスポンサーを求め、月刊紙「メイシアターいんぷおめーしょん」への広告を募り、広告料収益の確保に努めました。

(3) 自動販売機設置事業

自動販売機6台を設置し、来館者に飲料の提供を行いました。メイシアターに見合うオリジナルラッピングやWリボンラッピングを施して引き立たせ、業務収益の確保に努めました。

併せてすべてを災害対応型自動販売機とし、非常時の避難者支援を図りました。

令和4年度（2022年度）公益目的事業一覧

1. 自主事業・共催事業

良質の鑑賞型事業や多くの市民を巻き込む市民参加型事業、プロデュース力を活かした創造型事業などの自主文化事業を行いました。

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和4年 4月7日(木) ～9日(土)	小ホール	曾我廼家の喜劇 喜劇らいぶ 「笠碁」「ヤブ医者」	5	松竹新喜劇の曾我廼家貴太郎、長江健次、桂ざこばら豪華キャストによる喜劇ライブ。	(1) 鑑賞型 共催事業
4月9日 (土)	大ホール	スーパークラシック アンサンブル	1	吹田在住のヴァイオリニスト堀江恵太率いる弦楽アンサンブル。 松本日之春作曲「KUTSUKAKE」ほか	(4) 育成型 共催事業
5月3日 (火)	大ホール	おしりたんていミュージカル 「むらさきふじんの あんごうじけん」	2	テレビアニメや絵本で人気の「おしりたんてい」の家族向けミュージカル。	(4) 育成型 共催事業
5月15日 (日)	大ホール	グレートジャズシリーズ IN 吹田 VOL.11	1	関西のベテランから若手まで実力派のジャズミュージシャン 40 名が集う。	(1) 鑑賞型 共催事業
5月22日 (日)	中ホール	桂米朝一門会	1	桂米朝一門が勢揃いする恒例の落語会。 出演/桂ざこば、南光、文之助ほか	(1) 鑑賞型 自主事業
7月7日 (木)	中ホール	和太鼓松村組 星祭	1	和太鼓にマリンバやオカリナを加えた松村組のコンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
7月27日(水) ～29日(金)	中ホール	HPF 大阪高校演劇祭	3	府下2つの小劇場と連携する“高校演劇の甲子園”。豊島、咲くやこの花、金蘭会各高校演劇部が出演。	(4) 育成型 共催事業
8月2日 (火)	中ホール	<市民平和のつどい> 夏休み特選映画劇場 「キネマの神様」	2	2021年公開、山田洋次監督作品。	(1) 鑑賞型 自主事業
8月21日 (日)	中ホール	人形劇団京芸 「あっちこっちサバンナ」	1	人形劇団京芸の創立 70 周年を記念してつくられたファミリー向けの大型人形劇。	(4) 育成型 共催事業
8月21日 (日)	EXPOCITY 空の広場	すいたフェスタプレ企画 スプラッシュパーティ	1	すいたフェスタプレ企画として実施するライブイベント。	(5) 連携型 自主事業
8月26日(金) 27日(土)	小ホール レセプション ホール	よってよって パペットカーニバル	4	プロ2劇団、アマチュア4劇団が出演する人形劇の祭典。	(5) 連携型 共催事業
8月27日 (土)	共用 ロビー	吹田ジュニアオーケストラ ロビーコンサート	1	小中高生 20 名で構成する弦楽アンサンブル。 指揮/阪 哲朗 指導/金関 環	(4) 育成型 自主事業
9月4日 (日)	中ホール	桂米團治独演会	1	吹田在住の落語家 五代目桂米團治の独演会。	(1) 鑑賞型 自主事業

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
9月17日(土) 18日(日)	中ホール	関西歌劇団定期公演 「偽の女庭師」	2	中ホールのアリーナステージを生かしたモーツァルトの室内オペラ。 指揮/牧村邦彦 演出/井原広樹	(1) 鑑賞型 共催事業
9月24日(土) 25日(日)	小ホール	DANCE PROJECT 218. 「HAKAI」	3	ダンサー・振付家 新屋滋之による 「女殺油地獄」を題材にしたコンテンポラリーダンス公演。	(2) 創造型 自主事業
9月28日 (水)	小ホール	関西歌劇団新進歌手による ソロコンサート	1	関西歌劇団準団員がオペラアリアと日本歌曲を披露する。	(1) 鑑賞型 共催事業
10月7日 (金)	小ホール	大阪大学大学院文学研究科 「中之島デリバティブ」	2	大阪大学が主催するアート人材育成プログラムの一環。劇作家 林慎一郎構成・演出作品。	(5) 連携型 共催事業
10月16日 (日)	大ホール	大阪フィルハーモニー交響楽団 吹田コンサート	1	指揮/松本宗利音 曲目/映画音楽、ドヴォルザーク 「新世界より」	(1) 鑑賞型 自主事業
10月17日 (月)	中ホール	文楽シネマ 「冥途の飛脚」	2	初代吉田玉男、三世吉田蓑助らの至芸を堪能できる映画版の人形浄瑠璃。	(1) 鑑賞型 共催事業
10月30日 (日)	大ホール	わらび座ミュージカル 「北斎マンガ」	1	劇団 70 周年記念作品。 脚本・演出/マキノノゾミ	(1) 鑑賞型 共催事業
11月12日 (土)	大ホール	メシアターバレエ公演 オーディション事業	1	令和5年5月公演の出演者オーディション。 審査員/高岸直樹	(3) 市民参加型 自主事業
11月26日(土) 27日(日)	大ホール	関西二期会オペラ公演 「リゴレット」	2	作曲/ヴェルディ 指揮/鈴木恵里奈 演出/太田麻衣子	(1) 鑑賞型 共催事業
令和5年 1月4日 (水)	中ホール	人形劇団クラルテ 「ペンギんたんけんたい」	1	冬休み恒例、親子で楽しむ人形劇。	(4) 育成型 共催事業
1月7日 (土)	大ホール	日本センチュリー交響楽団 ニューイヤ ファミリーコンサート	1	指揮/茂木大輔 うた・おはなし/小野あつこ	(4) 育成型 共催事業
1月9日 (月)	中ホール	メシアターメイトのつどい 「コーダあいのうた」	2	会員対象の映画鑑賞会。アカデミー賞作品賞を受賞した2022年1月公開作品。	(1) 鑑賞型 自主事業
1月21日(土) 22日(日)	中ホール	劇団ひまわり DANCE FESTIVAL	3	吹田に拠点を置く劇団ひまわりの創立 70 周年記念ダンスフェスティバル。	(1) 鑑賞型 共催事業
1月26日(木) ~29日(日)	小ホール	SHOW 劇場 VOL.15 「天守物語」	6	メシアタープロデュース。泉鏡花「天守物語」を劇団スタージャックスのドモタイジが演出する。	(2) 創造型 自主事業
1月28日 (土)	大ホール	世良公則 アコースティックソロライブ	1	「燃えろいい女」「あんたのバラード」などのヒット曲を歌う。	(1) 鑑賞型 共催事業

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
2月18日(土) 19日(日)	中ホール	ニットキャップシアター 「カレーと村民」	2	関西演劇界を代表する劇作家ごまのはえが吹田を舞台に書き下ろした作品の再演。	(1) 鑑賞型 共催事業
3月21日 (火)	共用 ロビー	吹田ジュニアオーケストラ ロビーコンサート	1	小中高校生 20 名で構成する弦楽アンサンブル。 指揮/阪 哲朗 指導/金関 環	(4) 育成型 自主事業
3月24日(金) ~26日(日)	中ホール	大阪劇団協議会 「キセツノナイマチ」	5	協議会 50 周年記念公演。 原作/山本周五郎 演出/井之上淳	(5) 連携型 共催事業
3月29日 (水)	小ホール	第 15 回日本の歌百選	1	ソプラノ、テノール、ピアノによる童謡・唱歌のコンサート。	(1) 鑑賞型 自主事業

2. 受託事業

市民に優れた舞台芸術を提供する市民劇場をはじめ、市民の芸術文化の振興に寄与するため、行政と連携して以下の受託事業を行いました。

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和 4 年 4 月~1 月	練習室他	すいたティーンズクラシック フェスティバル メイシアター少年少女合唱団	15	吹田在住の小4~高3による合唱団。月1回練習を実施し、メイシアターで成果発表する。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
5月29日 (日)	いずみの園 公園	MUSIC STREET シリーズ① メゾンウィンドオーケストラ	1	吹田をはじめ北摂で活動する社会人プラスバンドによる野外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
6月11日 (土)	万博記念 公園駅	MUSIC STREET シリーズ② 駅ピアノ~山田静香	1	駅コンコースのピアノを利用したコンサート。 協力/大阪モノレール (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
6月19日 (日)	レセプション ホール	文化政策ビジョン策定記念 シンポジウム	1	日本演劇界を代表する劇作家・演出家の平田オリザを迎えたシンポジウム。 (文化スポーツ推進室)	(5) 連携型
6月22日(水) 12月12日(月)	吹田東小 吹田第二小	<吹田市民劇場> 青少年育成事業 小学校出張コンサート	2	堀江恵太を中心とした吹田の演奏家による音楽室での弦楽四重奏。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
6月24日 (金)	小ホール	<吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援 80① 金関環ヴァイオリンリサイタル	1	吹田在住のヴァイオリニスト金関環による名曲集。 ピアノ/長谷川美沙 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
7月2日 (土)	大ホール	<吹田市民劇場> 関西フィルハーモニー管弦楽団 七夕コンサート	1	指揮/藤岡幸夫 ソリスト/宇賀治晴香(ピアノ) (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
7月9日(土) 10日(日) 8月30日(火)	練習室	すいたティーンズクラシック フェスティバル 審査員による公開レッスン	3	市内の10代の青少年を対象にしたピアノ、弦楽、歌唱の3分野の公開レッスン。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
8月4日 (木)	中ホール	<市民平和のつどい> 夏休み子供劇場	2	子ども対象 無料の演劇公演。劇団うりんこによる「ヘンテコ鳥と、さかいめの3人」。 (青少年室)	(4) 育成型
8月5日 (金)	中ホール	<市民平和のつどい> 「落語と浪曲の夕べ」	1	落語と浪曲で平和の尊さを伝える事業。 出演/桂團治郎、松浦四郎若 (人権政策室)	(1) 鑑賞型
8月7日 (日)	大ホール	<市民平和のつどい> 平和コンサート 吉田兄弟×TSUKEMEN	1	津軽三味線とヴァイオリン、ピアノの共演。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
8月12日 (金)	大ホール	<吹田市民劇場> 東京バレエ団 子どものためのバレエ 「ドン・キホーテの夢」	1	登場人物によるお話しもあり、子どもでも楽しめる舞台。子役オーディションも併せて実施。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
9月10日 (土)	大ホール	すいたティーンズクラシックフェスティバル 吹田のアーティスト応援80② 大阪大学交響楽団 ワンコインコンサート	1	指揮/中田延亮 ピアノ/生熊茜 コンサートマスター/堀江恵太 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月15日(土) 11月5日(土)	山田 中学校	すいたティーンズクラシック フェスティバル プラスクリニック	9	講師/大阪シオン 対象/山田、吹田第三、片山各中学校吹奏楽部 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月~12月	大ホール 中ホール	吹田市民の第九 合唱レッスン	15	一般公募による120名の市民合唱団の合唱練習。 講師/清原邦仁 他 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
11月3日 (木)	レセプション ホール	吹田市文化功労者表彰式典	1	文化振興に功績のあった市民を表彰する式典。 (文化スポーツ推進室)	(5) 連携型
11月3日 (木)	いずみの園 公園	MUSIC STREET シリーズ③ いずみの園公園フェス	1	吹田ゆかりのストリートミュージシャンを中心にした10組が出演する。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
12月11日 (日)	いずみの園 公園	MUSIC STREET シリーズ④ ア・カペラコンサート チェレステ・F・メルクルズ	1	クリスマスソングなど親子で楽しめるプログラムのア・カペラコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
12月18日 (日)	大ホール	第13回 すいたティーンズクラシック フェスティバル	2	市内在住・在籍の10代の青少年対象のクラシック音楽のコンクール。予選11月13日(日) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
12月25日 (日)	大ホール	<吹田市民劇場> 吹田市民の第九 関西フィルハーモニー管弦楽団 スペシャルコンサート	1	公募による市民合唱団と藤岡幸夫指揮、関西フィルの共演。市内中学校合唱部も参加。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和5年 1月4日 (水)	大ホール	新年のつどい	1	関西大学応援団吹奏楽部による演奏を伴う賀詞交換会。 (秘書課)	(5) 連携型
1月5日 (木)	中ホール	すいたティーンズクラシック フェスティバル フレッシュコンサート	1	受賞者によるピアノ、ヴァイオリン等のコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
1月8日 (日)	中ホール	MUSIC CIRCUS 0歳から楽しめる 親子コンサート	1	世界各地の音楽を紹介する吹田ゆかりの音楽集団ミュージックサーカスの親子向けコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
1月14日 (土)	中ホール	芸術芸能フェスティバル ～舞台部門	1	吹田市民を対象に出演者を公募した舞台の祭典。14組によるダンス、器楽演奏など。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月14日(土) 15日(日)	集会室	芸術芸能フェスティバル ～展示部門	2	吹田市民を対象に出展者を公募した展示会。8組がイラスト、絵画、手芸作品などを出展。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月28日 (土)	練習室	<吹田市民劇場> 青少年育成事業 劇評ワークショップ	1	演劇公演「天守物語」鑑賞後、感想を述べ合うワークショップ。 進行役/垣沼絢子他 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月～3月	リハーサル室 他	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル ワークショップ	36	千里金蘭大学の学生と幅広い世代の市民を対象とした、演技・歌・ダンスのワークショップ、稽古。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
2月4日 (土)	中ホール	<吹田市民劇場> Cutting Edge 狂言	1	茂山千五郎、宗彦、茂らによる親しみやすく味わい深い古典、新作狂言。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
2月25日 (土)	中ホール	<吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80③ ネイバーフッドビッグバンド	1	結成26年、吹田在住の古谷光広を中心となるジャズのビッグバンド演奏。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
3月11日 (土)	中ホール	<吹田市民劇場> 青少年育成事業 いいむろなおきマイムカンパニー	1	東京パラリンピック2020にも出演したいいむろなおきによる新作「夢みる旅人」。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
3月18日(土) 19日(日)	中ホール	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル 「ドコゾノ旅一座の冒険譚」	3	市民参加による創作ミュージカル。 作・演出/片岡百萬両 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
3月21日 (火)	いずみの園 公園	MUSIC STREET シリーズ⑤ いずみの園公園フェス	1	吹田ゆかりのストリート系ミュージシャン8組が出演。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
3月27日 (月)	小ホール	<吹田市民劇場> 吹田のアーティスト応援80④ 人形劇団クラルテ	1	吹田在住 齋藤裕子主演の幼児向け人形劇。 「〇△□なにしてあそぼ」他 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型

3. 情報発信型事業

市民の文化活動に寄与するために文化情報の発信・提供に取り組みました。併せて、情報活用の利便性を高めるため、よりよいサービスに取り組みました。

事業名	内 容
ホームページによる情報発信・サービス	イベントの告知、チケットの予約・購入 メイシアターの利用情報、ホール等の空き状況検索 コロナ関連情報、その他情報公開 など
SNS (Twitter、Facebook、LINE) を活用した情報発信	イベントの告知、最新情報 (発売、募集など) メイシアターの最新情報 (コロナ関連情報など)
デジタルサイネージの運用	イベントの情報 館内催し物案内 フロアガイド、レストランの案内 など
メイシアターいんぷおめーしょんの発行	イベントの告知、チケットの購入方法 月間イベントカレンダー 貸館イベントの告知 など
チケット関連サービス	イベント専用回線の設置 ネットチケットのクレジットカード決済の導入 チケット購入ポイントサービス (メイシアターメイト特典)
チラシ、ポスターの掲出	メイシアターのイベントのチラシ、ポスター 他館のイベントのチラシ、ポスター 吹田市からのお知らせ など
市報すいた (吹田市発行) への情報掲載	メイシアター専用紙面 (1 ページ) 市内全戸配布 (月 1 回)

4. 青少年育成事業・応援寄付金

次世代を担う青少年の文化活動の支援や育成の取組みの中で、寄付金の募集活動を継続しています。

寄付金額	個人 ー□ 3,000 円 (何口でも可) 法人 ー□ 10,000 円 (何口でも可)
使途	① 小・中学生・高校生がプロの演奏者からレッスンを受け、コンサートでプロと共演する事業 ② 青少年が出演する演劇やミュージカル、コンサートなどの事業 ③ コミュニケーション力の向上を目的とした青少年対象の体験講座 ④ 親子で鑑賞できるコンサート、バレエ、人形劇などの事業
実績	個人 2 名及び企業 1 社より計 203,000 円の寄付を受けました。

5. 施設管理事業

コロナ禍での来館、施設利用について、感染対策ガイドラインの案内や感染防止用品の提供など、吹田市と連携して感染拡大防止に取り組み、安心安全の環境整備、施設提供に努めました。

事業名		内容
適正な施設提供	公平・適正な施設使用管理	使用受付のマニュアル化、システム化による公平・適正な施設使用の管理
	施設設備の適正な維持管理	定期保守点検や適宜修繕などによる施設設備、備品の適正な維持管理、安全管理
施設の利用促進	市民ニーズの把握、反映	来場者アンケートなどによる市民ニーズの把握、反映
	メイシアターの最新情報の提供	ホームページによる施設の使用情報、空き状況、イベント告知など最新情報を提供
	利用者に対する技術協力、広報協力	舞台進行にかかる技術協力、アーティストの紹介、広報の協力など
	ロビーのディスプレイ	1Fロビーのディスプレイ(五月人形、七夕、薄飾り、Xmas ツリー、鏡餅、雛飾り)
	公衆無線 LAN 設備	全館で使用できる公衆無線 LAN (フリー Wi-Fi) を完備
個人情報保護、 情報公開	個人情報保護	個人情報保護規程の整備、個人情報保護マネジメントシステムの整備、運用
	情報公開の推進	情報公開規程の整備、情報公開サイトの整備、運用
感染対策	感染対策ガイドラインの策定、案内	業種別ガイドライン等に基づくガイドラインの策定、運用
	各施設の消毒	清掃事業者による施設・備品の消毒
	感染防止用品の提供	消毒液の設置・貸与、サーマルカメラ、非接触式電子温度計、アクリル板の貸与など
	非対面・非接触受付の推進	電子メール、FAX 等による受付 (抽選)、キャッシュレス決済の推奨など
	キープディスタンスの確保	ホール入口やトイレ、ソファなどにキープディスタンスの表示
	感染拡大防止の啓発	感染防止に関する啓発、対策に関するポスター及びサイネージ掲示

6. その他

兵庫県立芸術文化観光専門職大学臨地実務実習(劇場プロデュース実習1)の実習生を受け入れました。

日程：令和5年3月9日(木)～19日(日)

人数：4名

内容：ファミリーミュージカルのリハーサルに立ち会い、制作、衣装、音響業務の補佐を中心に、総務、事業、舞台業務、会館運営の概要を知ってもらう。



●メゾンウインドオーケストラ 5/29 (いずみの園)



●文化政策ビジョンシンポジウム 6/19 (しせブションホール)



●小学校出張コンサート 6/22 (吹田東小)



●HPF 大阪高校演劇祭 7/27 (中ホール)



●東京バレエ団 8/12 (大ホール)



●大阪大学交響楽団 9/10 (大ホール)



●関西歌劇団 9/17 (中ホール)



●DANCE PROJECT218. 9/24 (小ホール)



●プラスクリニック 10/15 (山田中)



●メイシアター少年少女合唱団ロビーコンサート 11/3



●バレエオーディション 11/12 (大ホール)



●チエレステフメルクルズ 12/11 (いずみの園)



●ティーンズクラシックフェスティバル本選 12/18 (大ホール)



●吹田市民の第九 12/25 (大ホール)



●人形劇団クラルテ 1/4 (中ホール)



●ミュージックサーカス 1/8 (中ホール)



●SHOW 劇場 天守物語 1/26 (小ホール)



●劇評ワークショップ 1/28 (第2練習室)



●Cutting Edge 狂言 2/4 (中ホール)



●ネイバーフッドビッグバンド 2/25 (中ホール)



●いいむろなおきマイムカンパニー3/11 (中ホール)



●人形劇団クラルテ 3/27 (小ホール)



●ファミリーミュージカル 3/18 (中ホール)

令和4年度 決算書

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
小口現金	223,568	355,742	△ 132,174
現金	1,847,140	1,774,465	72,675
普通預金(出納用)	88,446,091	56,459,173	31,986,918
普通預金(利息用)	3,275,536	3,275,504	32
普通預金(過年度用)	178,100	191,125	△ 13,025
普通預金(現年度用)	133,288	381,676	△ 248,388
未収金	1,226,878	2,929,967	△ 1,703,089
前払金	234,292	237,778	△ 3,486
立替金	407,082	362,009	45,073
流動資産合計	95,971,975	65,967,439	30,004,536
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	100,056,700	△ 100,056,700
金融機関預り口座	190,000,000	90,000,000	100,000,000
郵便貯金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,056,700	△ 56,700
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,917,185	26,164,235	△ 3,247,050
特定資産合計	22,917,185	26,164,235	△ 3,247,050
(3) その他の固定資産			
什器備品	4	4	0
その他の固定資産合計	4	4	0
固定資産合計	222,917,189	226,220,939	△ 3,303,750
資産合計	318,889,164	292,188,378	26,700,786
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	63,266,600	44,507,169	18,759,431
未払法人市府民税	70,000	70,000	0
未払消費税	6,493,600	3,777,500	2,716,100
前受金	773,100	44,700	728,400
預り金	18,155,864	14,767,287	3,388,577
仮受金	496,000	424,460	71,540
賞与引当金	8,607,686	8,750,879	△ 143,193
流動負債合計	97,862,850	72,341,995	25,520,855
2 固定負債			
退職給付引当金	70,478,374	104,655,945	△ 34,177,571
固定負債合計	70,478,374	104,655,945	△ 34,177,571
負債合計	168,341,224	176,997,940	△ 8,656,716
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	△ 49,452,060	△ 84,809,562	35,357,502
(うち基本財産への充当額)	(0)	(56,700)	(△56,700)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産 合計	150,547,940	115,190,438	35,357,502
負債及び正味財産 合計	318,889,164	292,188,378	26,700,786

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	543,300	543,300	0
01 基本財産受取利息	543,300	543,300	0
②事業収益	494,053,643	461,004,657	33,048,986
01 施設管理事業収益	434,526,169	403,353,296	31,172,873
02 受託事業収益	40,644,206	40,746,860	△ 102,654
03 入場券販売収益	8,056,350	5,919,310	2,137,040
04 レストラン業務収益	295,869	58,357	237,512
05 友の会会費収益	1,056,300	907,200	149,100
06 サービス事業収益	1,550,990	1,043,630	507,360
07 物品販売収益	276,910	193,860	83,050
08 手数料収益	5,411,149	3,642,634	1,768,515
09 広告料収益	320,000	320,000	0
10 負担金収益	1,915,700	4,819,510	△ 2,903,810
③受取補助金等	1,000,000	1,502,000	△ 502,000
01 文化事業助成金収益	1,000,000	1,502,000	△ 502,000
④寄附金収益	323,500	20,000	303,500
01 寄付金収益	323,500	20,000	303,500
⑤雑収益	2,032	1,352	680
01 受取利息	32	32	0
02 雑収益	2,000	1,320	680
⑥引当金取崩額	0	27,504,000	△ 27,504,000
01 退職給付引当金取崩額	0	27,504,000	△ 27,504,000
経常収益計	495,922,475	490,575,309	5,347,166
(2)経常費用			
①自主事業費	15,445,628	19,709,471	△ 4,263,843
04 賃金	8,140	0	8,140
06 会議費	7,410	6,776	634
07 旅費	13,830	408,780	△ 394,950
08 交際費	7,002	6,992	10
09 通信運搬費	123,200	163,692	△ 40,492
11 消耗品費	74,934	294,808	△ 219,874
12 交通費	10,571	11,654	△ 1,083
13 修繕費	0	8,360	△ 8,360
14 印刷製本費	1,656,460	1,850,889	△ 194,429
15 光熱水料費	84,135	62,029	22,106
16 賃借料	2,456,022	3,613,394	△ 1,157,372
17 保険料	48,859	21,439	27,420
18 諸謝金	879,530	542,460	337,070
19 手数料	1,095,784	719,663	376,121
20 租税公課	7,800	7,800	0
21 著作権料	113,421	498,051	△ 384,630
22 負担金	46,500	46,500	0
23 委託費	8,542,469	11,288,112	△ 2,745,643
24 広告宣伝費	48,600	48,000	600
25 公演賄費	220,811	110,072	110,739
30 雑費	150	0	150

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 施設管理事業費	395,006,572	405,054,600	△ 10,048,028
02 給料手当	95,169,804	94,079,503	1,090,301
03 退職給付費用	10,687,321	33,183,909	△ 22,496,588
04 貸金	3,379,302	2,885,557	493,745
05 福利厚生費	18,770,558	17,614,537	1,156,021
07 旅費	237,520	8,520	229,000
09 通信運搬費	1,647,983	1,458,009	189,974
11 消耗品費	3,915,618	5,589,452	△ 1,673,834
13 修繕費	5,316,307	9,571,205	△ 4,254,898
14 印刷製本費	1,529,606	1,239,682	289,924
15 光熱水料費	65,682,614	49,209,893	16,472,721
16 貸借料	14,611,988	5,911,181	8,700,807
17 保険料	197,920	201,605	△ 3,685
19 手数料	220,525	145,245	75,280
20 租税公課	18,508,434	15,432,900	3,075,534
22 負担金	89,500	75,000	14,500
23 委託費	146,948,962	160,173,512	△ 13,224,550
31 賞与引当金繰入額	8,092,610	8,274,890	△ 182,280
③ 受託事業費	40,644,206	40,746,860	△ 102,654
04 貸金	50,731	42,344	8,387
05 福利厚生費	149	125	24
07 旅費	12,880	2,550	10,330
09 通信運搬費	1,489,350	1,572,687	△ 83,337
11 消耗品費	1,601,917	444,604	1,157,313
12 交通費	20,200	16,650	3,550
14 印刷製本費	1,399,477	964,359	435,118
16 貸借料	2,871,462	3,311,362	△ 439,900
18 諸謝金	5,051,272	3,811,833	1,239,439
19 手数料	1,938,056	1,977,689	△ 39,633
20 租税公課	41,600	43,400	△ 1,800
21 著作権料	230,626	119,014	111,612
23 委託費	25,690,429	28,192,137	△ 2,501,708
24 広告宣伝費	15,000	77,000	△ 62,000
25 公演賄費	231,057	166,606	64,451
30 雑費	0	4,500	△ 4,500
④ 管理費	9,468,567	16,211,678	△ 6,743,111
01 役員報酬	546,000	680,400	△ 134,400
02 給料手当	5,632,432	5,721,626	△ 89,194
03 退職給付費用	1,187,478	7,700,226	△ 6,512,748
05 福利厚生費	1,115,897	1,071,262	44,635
06 会議費	7,338	6,651	687
07 旅費	360	2,320	△ 1,960
09 通信運搬費	11,524	30,410	△ 18,886
11 消耗品費	0	9,319	△ 9,319
12 交通費	0	1,000	△ 1,000
14 印刷製本費	0	19,250	△ 19,250
17 保険料	14,260	14,035	225
18 諸謝金	165,000	165,000	0
19 手数料	89,402	129,890	△ 40,488
20 租税公課	71,800	75,000	△ 3,200
22 負担金	72,000	69,300	2,700
24 広告宣伝費	40,000	40,000	0
31 賞与引当金繰入額	515,076	475,989	39,087
経常費用計	460,564,973	481,722,609	△ 21,157,636
当期経常増減額	35,357,502	8,852,700	26,504,802

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	35,357,502	8,852,700	26,504,802
一般正味財産期首残高	△ 84,809,562	△ 93,662,262	8,852,700
一般正味財産期末残高	△ 49,452,060	△ 84,809,562	35,357,502
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	150,547,940	115,190,438	35,357,502

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	収1			
	市民の文化活動の 振興を図る事業	市民の文化活動の 振興に資する事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	0	0	543,300		543,300
01 基本財産受取利息	0	0	543,300		543,300
② 事業収益	439,940,709	45,667,042	8,445,892		494,053,643
01 施設管理事業収益	382,627,661	43,452,616	8,445,892		434,526,169
02 受託事業収益	40,644,206	0	0		40,644,206
03 入場券販売収益	8,056,350	0	0		8,056,350
04 レストラン業務収益	0	295,869	0		295,869
05 友の会会費収益	1,056,300	0	0		1,056,300
06 サービス事業収益	1,550,990	0	0		1,550,990
07 物品販売収益	276,910	0	0		276,910
08 手数料収益	3,812,592	1,598,557	0		5,411,149
09 広告料収益	0	320,000	0		320,000
10 負担金収益	1,915,700	0	0		1,915,700
③ 受取補助金等	1,000,000	0	0		1,000,000
01 文化事業助成金収益	1,000,000	0	0		1,000,000
④ 寄附金収益	323,500	0	0		323,500
01 寄付金収益	323,500	0	0		323,500
⑤ 雑収益	2,000	32	0		2,032
01 受取利息	0	32	0		32
02 雑収益	2,000	0	0		2,000
経常収益計	441,266,209	45,667,074	8,989,192		495,922,475
(2) 経常費用					
① 自主事業費	15,083,791	361,837	0		15,445,628
04 賃金	8,140	0	0		8,140
06 会議費	7,410	0	0		7,410
07 旅費	13,830	0	0		13,830
08 交際費	0	7,002	0		7,002
09 通信運搬費	123,200	0	0		123,200
11 消耗品費	74,934	0	0		74,934
12 交通費	10,571	0	0		10,571
14 印刷製本費	1,451,530	204,930	0		1,656,460
15 光熱水料費	0	84,135	0		84,135
16 賃借料	2,390,252	65,770	0		2,456,022
17 保険料	48,859	0	0		48,859
18 諸謝金	879,530	0	0		879,530
19 手数料	1,095,784	0	0		1,095,784
20 租税公課	7,800	0	0		7,800
21 著作権料	113,421	0	0		113,421
22 負担金	46,500	0	0		46,500
23 委託費	8,542,469	0	0		8,542,469
24 広告宣伝費	48,600	0	0		48,600
25 公演賄費	220,811	0	0		220,811
30 雑費	150	0	0		150

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
② 施設管理事業費	354,661,332	40,345,240	0		395,006,572
02 給料手当	85,089,580	10,080,224	0		95,169,804
03 退職給付費用	9,499,842	1,187,479	0		10,687,321
04 貸金	3,041,372	337,930	0		3,379,302
05 福利厚生費	16,782,413	1,988,145	0		18,770,558
07 旅費	213,768	23,752	0		237,520
09 通信運搬費	1,483,185	164,798	0		1,647,983
11 消耗品費	3,524,057	391,561	0		3,915,618
13 修繕費	4,784,677	531,630	0		5,316,307
14 印刷製本費	1,376,646	152,960	0		1,529,606
15 光熱水料費	59,114,353	6,568,261	0		65,682,614
16 賃借料	13,150,790	1,461,198	0		14,611,988
17 保険料	178,128	19,792	0		197,920
19 手数料	198,473	22,052	0		220,525
20 租税公課	16,657,591	1,850,843	0		18,508,434
22 負担金	80,550	8,950	0		89,500
23 委託費	132,254,066	14,694,896	0		146,948,962
31 賞与引当金繰入額	7,231,841	860,769	0		8,092,610
③ 受託事業費	40,644,206	0	0		40,644,206
04 貸金	50,731	0	0		50,731
05 福利厚生費	149	0	0		149
07 旅費	12,880	0	0		12,880
09 通信運搬費	1,489,350	0	0		1,489,350
11 消耗品費	1,601,917	0	0		1,601,917
12 交通費	20,200	0	0		20,200
14 印刷製本費	1,399,477	0	0		1,399,477
16 賃借料	2,871,462	0	0		2,871,462
18 諸謝金	5,051,272	0	0		5,051,272
19 手数料	1,938,056	0	0		1,938,056
20 租税公課	41,600	0	0		41,600
21 著作権料	230,626	0	0		230,626
23 委託費	25,690,429	0	0		25,690,429
24 広告宣伝費	15,000	0	0		15,000
25 公演贈費	231,057	0	0		231,057
④ 管理費	0	0	9,468,567		9,468,567
01 役員報酬	0	0	546,000		546,000
02 給料手当	0	0	5,632,432		5,632,432
03 退職給付費用	0	0	1,187,478		1,187,478
05 福利厚生費	0	0	1,115,897		1,115,897
06 会議費	0	0	7,338		7,338
07 旅費	0	0	360		360
09 通信運搬費	0	0	11,524		11,524
17 保険料	0	0	14,260		14,260
18 諸謝金	0	0	165,000		165,000
19 手数料	0	0	89,402		89,402
20 租税公課	0	0	71,800		71,800
22 負担金	0	0	72,000		72,000
24 広告宣伝費	0	0	40,000		40,000
31 賞与引当金繰入額	0	0	515,076		515,076
經常費用計	410,389,329	40,707,077	9,468,567		460,564,973
当期經常増減額	30,876,880	4,959,997	△ 479,375		35,357,502

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
2. 経常外増減の部					
経常外収益計	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額	2,479,999	△ 2,479,999	0		0
当期一般正味財産増減額	33,356,879	2,479,998	△ 479,375		35,357,502
一般正味財産期首残高	△ 84,260,742	26,065,773	△ 26,614,593		△ 84,809,562
一般正味財産期末残高	△ 50,903,863	28,545,771	△ 27,093,968		△ 49,452,060
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	200,000,000		200,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	200,000,000		200,000,000
III 正味財産期末残高	△ 50,903,863	28,545,771	172,906,032		150,547,940

財務諸表に対する注記

令和5年3月31日現在

1. 重要な会計方針

- (1) 平成24年4月1日から、公益法人会計基準(内閣府公益認定委員会平成20年4月11日)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (4) 固定資産の減価償却
什器備品……………償却限度額に達している。
- (5) 引当金の計上基準
賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
郵便貯金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券	100,056,700	0	100,056,700	0
金融機関預り口座	90,000,000	100,000,000	0	190,000,000
小 計	200,056,700	100,000,000	100,056,700	200,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	26,164,235	8,237,000	11,484,050	22,917,185
小 計	26,164,235	8,237,000	11,484,050	22,917,185
合 計	226,220,935	108,237,000	111,540,750	222,917,185

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
郵便貯金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	-
投資有価証券	0	(0)	(0)	-
金融機関預り口座	190,000,000	(190,000,000)	-	-
小 計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	22,917,185	(0)	(0)	(22,917,185)
小 計	22,917,185	(0)	(0)	(22,917,185)
合 計	222,917,185	(200,000,000)	(0)	(22,917,185)

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	1,355,500	1,355,496	4
合 計	1,355,500	1,355,496	4

6. 退職給付関係

(1)採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2)退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

項 目	金 額
退職給付債務	△ 70,478,374
勤務費用の未処理額	0
退職給付引当金 (合計)	△ 70,478,374

(3)退職給付費用に関する事項

(単位:円)

項 目	金 額
勤務費用	11,874,799
退職給付費用 (合計)	11,874,799

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
文化振興基金	日本芸術文化振興会	1,000,000	1,000,000	0	-
合 計		1,000,000	1,000,000	0	-

該当なし。

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

10. 重要な後発事象

該当なし。

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

上記については財務諸表の注記に記載しているため、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書の記載は省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	104,655,945	11,874,799	46,052,370	70,478,374
賞与引当金	8,750,879	8,607,686	8,750,879	8,607,686

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	合計
(流動資産)				
	小口現金	手元保管	運転資金	223,568
	現金	手元保管	運転資金	1,847,140
	預金	りそな銀行吹田支店(出納用) りそな銀行吹田支店 りそな銀行吹田支店 りそな銀行吹田支店	運転資金	88,446,091
			利息受取用	3,275,536
			過年度還付資金用	178,100
			現年度還付資金用	133,288
未収金	アサヒ飲料販売(株)	公:芸術文化振興基金 他	1,047,497	
前払金		収:自動販売機手数料収入	179,381	
立替金		令和5年度自主事業経費 他	234,292	
		レストラン電気代 他	407,082	
流動資産合計				95,971,975
(固定資産)				
基本財産	金融機関預り口座	第328回10年国債、第88回5年国債償還金	運用益を法人の管理運営 経費に充当している。	190,000,000
	預金	ゆうちょ銀行 貯金		10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	りそな銀行吹田支店	公・収・法各事業区分に 従事する職員の退職金資産	22,917,185
その他固定資産	什器備品	液晶ビデオ映写機等	公益目的保有財産であり 貸出用備品としている。	4
固定資産合計				222,917,189
資産合計				318,889,164
(流動負債)				
	未払金	関西電力(株) 他 吹田市 職員	公:3月分電気料金 他	51,698,415
			収:自動販売機電気代	84,135
	未払法人税等	吹田税務署・三島府税事務所	法:退職手当	11,484,050
			法:法人市府民税	70,000
	未払消費税	吹田税務署	公:消費税確定申告額	6,493,600
	前受金	吹田市 他 吹田税務署	令和5年度入場券販売収入 他	773,100
	預り金		公:入場券販売収入預り金 他	18,131,924
	仮受金		法:役員報酬源泉所得税	23,940
賞与引当金		休職者傷病手当	496,000	
		公・収・法各事業目的に 従事する職員の賞与引当金	8,607,686	
流動負債合計				97,862,850
(固定負債)				
	退職給付引当金	正職員	公・収・法各事業目的に 従事する職員の退職引当金	70,478,374
固定負債合計				70,478,374
負債合計				168,341,224
正味財産				150,547,940

独立監査人の監査報告書

令和5年4月26日

公益財団法人吹田市文化振興事業団
理事長 河内 幸枝 殿

公認会計士

佃 隆人

私は、公益財団法人吹田市文化振興事業団の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般の公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益財団法人吹田市文化振興事業団の令和4年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、公益財団法人吹田市文化振興事業団の令和4年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益財団法人吹田市文化振興事業団と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

令和5年4月27日

公益財団法人吹田市文化振興事業団

理事長 河内 幸枝 殿

監事 山本多通男 ●

監事 井田一雄 ●

私、監事は、公益財団法人吹田市文化振興事業団定款第29条の規定に基づき、当法人の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの会計及び業務の監査を行ない、その結果につき次のとおり報告します。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて財務諸表並びに収支計算書の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な過失はないと認めます。

以上

報告第3号

公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について

公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

(1)

令和5年度公益財団法人吹田市国際交流協会 事業計画書

【ビジョン】

人権尊重を基調とし、さまざまな人びとや文化が尊重され、誰一人取り残されることのない豊かな地域づくりに貢献すること、そして令和12年までに達成すべきSDGsを事業方針の念頭に置き、私たちみんなが安心して暮らせる「持続可能な世界」の実現を目指します。

【事業方針】

吹田市の外国籍人口は、コロナ渦の影響により令和2年から3年にかけて微減しているが、この7年間で見ると増加しています。令和4年9月の統計では6,200人を超えています。中国、韓国、ベトナム、台湾、フィリピン、ネパール、インドネシア、アメリカ国籍者は、それぞれ100人以上となります。中国籍と韓国籍の合計で、全体の50%を超えています。在留資格は、留学生24%、永住者24%、特別永住者21%、技術・人文知識・国際業務7%、家族滞在7%、日本人の配偶者5%、技能実習4%、その他10%となります（小数点以下繰上）。市内には高等教育機関が多いため、留学生が全体の四分の一を占めています。15歳未満の外国籍の子どもの人口は485人ですが、外国につながりのある子どもたちは統計の数字よりもっと多いこととなります。

令和2年春から始まった長期間にわたるコロナ禍の影響により、協会の主たる収入の語学講座が大幅な減収となりました。令和3年度は休業せず公益事業を継続した結果、協会の経営状況は急激に悪化しました。協会の経営と運営の改善のために、令和4年12月に協会運営検討ワーキンググループが設置され、毎月定期的に課題と対策について協議が継続されています。この令和5年度はワーキンググループの提案に沿って、協会の組織基盤の強化にしっかり取り組む必要があります。労働環境の整備を進め、人材の安定化に努めます。その上で、平成29年に制定された「吹田市多文化共生推進指針」にもとづいて各事業を実施します。令和4年10月に開始した吹田市からの受託事業「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター」により、地域の在住外国人のニーズが直接わかるようになってきました。令和5年度および6年度は、複数ある協会事業の中でもニーズの高い日本語関係の事業と子ども・子育てに関する事業を協会の重点事業とし取り組みます。令和5年は財団法人から公益財団法人に移行して10年となります。10年の活動をボランティアをはじめ協会関係者とふりかえり、コロナ渦で希薄になっていたネットワークをつなぎ直し、今後の協会の活動に活かします。協会の役割として、地域の関係諸機関や団体との連携強化、各種事業におけるボランティアの育成とボランティア・コーディネート、そして地域と人の交流に注力し、事業の計画・実施を進めます。実施後は必ずふりかえりを行い、より良い事業と協会運営につなげます。

【事業内容】

(下線部は、令和2年度<多文化共生アクションプラン中期計画書>に該当する事業)

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民の自主的な国際交流・国際協力の活動を支援します。異なる言語、文化的・社会的背景をもつ人びととの対話を通して、市民が国際感覚を養い、多様な人びとを認め合い尊重し合う多文化共生社会の実現の推進に努めます。

1. 国際交流推進事業(旧 友好交流都市との交流事業)

吹田市民の国際交流を推進します。また、友好交流都市であるオーストラリアのカンタベリーバンクスタウン市とスリランカのコロンボ市との交流を、吹田市と連携・協力をして実施します。

2. 国際交流情報の収集及び発信

協会の活動紹介や報告、在住外国人に役立つ国際交流情報などを多言語でホームページに掲載します。また、フェイスブック等の活用により、時機に応じて適切な情報を発信します。会報「SIFA Times」を年4回発行し、地域の国際化につながる情報を発信します。ボランティアを対象に、ボランティア活動に関する情報を「ボランティア便り」として月1回発信します。留学生や在住外国人に対しては、行政の情報等を含め「多言語メールマガジンリスト ミミヨリ INFO」をやさしい日本語で発信します。多言語による情報と国際交流情報を共有することに努めます。

3. 市内大学との連携による留学生等と市民の交流

(1) 市内大学等のホストファミリープログラムの支援

大阪大学をはじめ市内の大学等と連携し、留学生が協会のボランティアと親交を深める機会を提供します。留学生が日本の生活や文化を体験できる機会を提供し、ボランティア・ファミリーとの交流を通して、ともに多文化理解を深められるようサポートします。

II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生社会の推進のために、他者理解の重要性を経験するための場づくりをします。大人だけではなく、未来を担う子どもたちがさまざまな人との出会いや交流・体験学習を通して、持続可能な社会形成のために活躍できる人材づくりを推進します。

1. 国際交流ボランティア活動支援

(1) 国際交流ボランティア登録

初めてボランティア活動を希望する人を対象に、協会の理念や活動内容を十分理解してもらい、自発的に活動ができるように支援します。新しいボランティアが、ボランティア活動に参加しやすくなるよう登録説明会を年に2回実施します。

(2) ボランティア講座

新しくボランティア活動に参加する人だけではなく、活動を継続しているボランティアと職員とともにスキルアップできるような講座を開催します。

(3) ボランティアによる日本語交流活動支援

地域で日本語学習支援を実践している団体とのネットワークを強化します。日本語教室の運営に関して、また日本語学習者が抱える課題などの情報を共有しながら、日本語交流活動支援ボランティアのスキルアップを目指します。また、日本語教室の空白地域や外国人が比較的多く居住している地域において、地域のボランティアを集い、日本語学習支援を展開するための準備を始めます。令和2年4月に宣言された「日本語交流活動宣言」にもとづいて活動を進め、多文化共生社会の推進を目指します。

・日本語チューター

ボランティアが、1対1または1対2で学習者の日本語学習を支援します。学習者それぞれのレベルと学びたい内容に合った活動を行います。また、当該活動を通して、学習者とボランティアが共に学び、交流を深めます。将来的には、多文化共生社会の人づくり支援の観点から、ボランティアによる自主運営を目指します。

・にこにこ日本語

少人数グループでの日本語学習です。生活の場面に即して作られた SIFA のオリジナルテキスト『にこにこ』を使って、学習者のレベルに配慮しつつ学習を進めます。日本語による交流活動を通して、ボランティアと学習者が共に学び合う機会となっています。また、ボランティア同士で情報や体験を共有しながら自主的な運営の体制を整えていきます。

・みんなの漢字

平成 31 年度文化庁委託事業により発足した活動です。少人数グループで、生活に必要な漢字の習得支援を行うクラスです。日本で仕事や子育てをする上で、日本語の読み書きの力は不可欠であり、学習者のより良い生活を目指し実施します。

・日本語わいわい

平成 31 年度文化庁委託事業により発足した、外国人のボランティアが自らの学習経験や日本での生活経験を生かして、日本語及び生活のサポート等の活動を行うクラスです。外国人が活躍できる場、安心して集える居場所を目指します。日本人・外国人ボランティアと一緒に活動し、ボランティアの世話人を中心に運営します。

2. 語学教室

協会の語学教室は、語学力を伸ばす目的だけではなく、外国語への関心を通して、その言葉話す人びとのさまざまな文化や習慣などについても学びます。また、講師やオンラインを通じて講師の家族や友人との交流もおこない、異文化理解を深めるような授業を展開します。通年で、英語・中国語・韓国朝鮮語・ベトナム語のクラスを開催します。令和 5 年度も引き続きオンラインクラスを通年授業として実施します。子どもクラスでは、語学学習を通して、子どもたちの異文化理解力を養い、グローバルな人材の育成に努めます。子育て中の方に学習の機会を提供するために、保育付クラスを開設します。また、協会の日本語教室に通う外国人市民との交流につながる機会をつくります。コロナの影響で例年より応募の少ない幼児や小学校低・中学年クラスについては、さらなる充実をはかります。

広く関心をもってもらえるような、サマーコースや文化的な内容とコラボした短期教室を充実させます。さらに、市民が広範囲に学習の機会を得られるように、JR吹田駅前旭通教室でのクラスも本年度も引き続き開講します。

3. 異文化理解・啓発事業

(1) 多文化まつり

地域の人びとや団体・学校等と在住外国人がとつなげる機会を設け、互いに交流と対話を通し多文化共生社会を推進することを目的とした「多文化まつり」を開催します。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため分散開催とし、令和 4 年度は諸般の事情で実施を見送りました。令和 5 年度は、ボランティアと一緒に計画・準備・実施を目指します。

(2) 多文化共生講座「多文化ふらす」

民族や国籍、文化的・社会的背景、言語などの「違い」をお互いに認め、対話を通して共に安心して暮らせる地域づくりのために実施する講座です。年に 2~3 回の実施を目指します。講座では、多文化共生社会の推進のために、当事者である在住外国人市民の声を聴く機会を設け、SIFA やボランティアに期待される役割や協働する可能性を見出します。

4. 国際理解事業（旧 子ども国際理解事業）

小学生を対象として、身近なテーマをとりあげ、世界のさまざまな文化や暮らしなどについて国際理解を深めるプログラムパッケージを小学校に提供し、在住外国人を講師として派遣します。今年度はさまざまな国の人が講師として参画しやすいプログラムに改善し、魅力あるイベントにしていきます。

中学生にも対象を広げ、道徳の教科内で取り上げられる多文化理解や SDGs に関する理解を深めるようなプログラムの作成を目指します。この事業を通して、SIFA とともに地域づくりを支えてくれる次世代の育成に取り組みます。

5. 国際交流団体等支援・連携事業

(1) 共催・後援・協力事業の実施

国際交流や国際理解など多文化共生社会の実現に寄与すると認められる事業について、共催・後援・協力事業の形で支援します。

(2) MUSE たかつきカレッジクラブ講座

協会から講師を派遣し、子どもを対象にした異文化理解に向けた講座を開設します。[関大パンセ委託事業]

(3) 関西大学南千里国際プラザとの連携

関西大学の留学生に対して、入学式・修了式への出席を通じて協会の活動を留学生に知ってもらい、さまざまな場面で留学生に対する支援活動を進めるとともに、地域社会における受入を促進します。

(4) 国際交流協会ネットワークおおさかを通じた他団体との連携

ネットワークの実行委員として、大阪府内の国際交流協会及び自治体と広域的に連携して、多文化共生にかかわる情報を在留外国人やボランティアと共有します。また各協会間で実施される研修やインターンシップに積極的に参加し、職員のスキルアップの機

会とします。

(5) 吹田市国際交流団体ネットワークほかとの協力連携

地域のボランティア団体、吹田市内の社会教育機関等（市民公益活動センター「ラコルタ」、図書館、子育て青少年拠点夢つながり未来館「ゆいぴあ」、男女共同参画センター「デュオ」、博物館）をはじめ、市内の大学機関や関連諸機関とのネットワークを強化し、積極的に地域の情報と課題を共有します。

Ⅲ 在住外国人の支援

言葉や文化・社会的背景が要因となって生活に困難が生じている外国人市民の支援をします。そして、外国人市民は支援される側だけではなく、それぞれがともに豊かな地域づくりに参画するコミュニティの一員であることを認め合い協働できる地域づくりのための事業を実施します。

1. 日本語教室の開催

(1) 日本語 1・2

初めて日本語を学習する人が、生活に必要な読み書きや会話を習得するために、日本語講師によるクラスを週2回・2クラスを開講します。交流イベントや生活情報などを提供し、日本の生活に早く慣れるよう支援します。保育付きクラスを設けることで、就学前の子どもがいても学習できる機会を提供します。日本語発表会を年1回開催し、日頃の学習の成果を発表するとともに市民との交流を図ります。

(2) 使える日本語

日本語学習中級者を対象に、仕事や地域などの社会参加をめざして「生活日本語」を学ぶクラスを開設します。日本語1・2の受講生が進級できるよう平日に実施します。

2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業

(1) コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業

日本語が要因となって、医療機関等を利用する機会が失われないよう、コミュニティ通訳ボランティアを派遣し通訳を行います。この事業は、誰一人取り残されない社会の実現にとって大変重要な事業であり、提携医院の拡大を検討します。

(2) コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行事業

日本語が要因となって、行政窓口で戸惑うことがないように、コミュニティ通訳ボランティアを派遣し通訳を行います。通訳の同行先は、市の行政機関全般にわたっています。例えば、学校の懇談会への同行など保護者と子どもたちにとっても安心・安全につながる事業となっています。今後は、同行通訳の多言語化と、同行できる場所など、ニーズに対応可能なコミュニティ通訳の充実をめざし、体制強化を図っていきます。

コミュニティ通訳養成講座も実施します。対象言語は、英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語・タイ語・フィリピン語を検討しています。

また、行政窓口に同行するコミュニティ通訳ボランティアと病院同行するボランティアを中心に、スキルの向上等を考慮したスキルアップ研修を実施します。また関係施設との連携強化を通して、コミュニティ通訳ボランティアが活動しやすい環境づくりに努めます。

3. 地域事業への在住外国人の参加促進

「すいたフェスタ」、市民公益活動団体や地域の商店街などが主催する地域行事等に、在住外国人が参加しやすくなるようにSNS等を利用して情報提供します。特に、日本語教室に通う学習者や留学生には、「多言語メーリングリストミミヨリINFO」などを活用して地域情報を提供します。

4. 外国にルーツをもつ子どもの支援

(1) ハロハロ SQUARE (外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業)

日本語を母語としない子どもたちに安心できる居場所を提供するとともに、日本語や教科の学習支援を通して、将来に希望を持って日本で暮らしていく力を養えるように支援します。吹田市教育委員会が主催する「さくら広場」との情報共有と連携を進めます。また、積極的に近隣大学の学生ボランティアを受け入れます。さらに、近隣大学の教員や国際交流協会と連携しながら、母語支援・母文化交流事業を実施するための体制を整えます。

(2) 帰国・渡日児童生徒支援事業

大阪府教育庁が進める「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業」への参加を通して、高校受験などの進路選択のための情報提供と相談をおこなう「多言語進路ガイドス」の開催に協力し、外国につながるのある子どもたちの高校進学を支援します。

5. 子育て支援「こあらくらぶ」

外国人ママ・パパの仲間づくり事業として、子育て中や妊娠中の外国人に寄り添い、日本で安心して出産・育児ができるようボランティアとともに支援をします。のびのび子育てプラザや保健センター、図書館などの関係機関や子育て関係のNPO団体などと連携して、交流や情報交換ができる交流会等を開催します。実施回数を増やすことを検討します。

6. 防災減災事業

吹田市と協力して、災害時における外国人の支援体制の構築や地域連携、セミナー等の実施をします。地域における防災活動を担う防災リーダー育成の準備を始めます。

7. 吹田市多文化共生ワンストップ相談センター

在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子どもの教育等、日常生活の中で必要な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、情報提供及び相談を多言語で行うワンストップ型の相談窓口を運営します。月一回専門家(行政書士、社会保険労務士、弁護士)相談を行い、吹田市内の関連諸機関との連携の強化につとめます。

8. その他の外国人支援

(1) 行政情報などの提供

在住外国人も日本人と同じように行政などの情報にアクセスできる（イコールアクセス）ように、ホームページやフェイスブック、会報誌やミミヨリ INFOなどを活用して行政情報を提供します。

(2) 外国人のキャリアアップにつながる支援

ボランティア団体や関係諸機関、地域コミュニティ、商工会議所や企業等と連携し、それぞれが活躍できる機会や場づくりに努めます。その一環として、行政情報等の翻訳の依頼を積極的に受けるようにします。また、多文化共生社会の推進ややさしい日本語に係る研修や講師依頼を積極的に請け、外国人が生活しやすい働きやすい社会環境の整備に努めます。

令和5年度（公財）吹田市国際交流協会 収支予算書

（正味財産増減計算書ベース）

令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで （単位：円）

科 目	当年度予算額			前年度予算額 （補正後）	増 減
	公益目的事業会計	法人会計	合計		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収益					
基本財産受取利息	0	356,000	356,000	356,000	0
事業収益					
語学教室事業収益	12,841,000	2,959,000	15,800,000	23,600,000	△ 7,800,000
受託事業収益	32,586,000	0	32,586,000	13,864,000	18,722,000
その他の事業収益	276,000	0	276,000	220,000	56,000
受取会費					
受取賛助会員会費	800,000	800,000	1,600,000	1,240,000	360,000
受取補助金等					
受取吹田市補助金	1,300,000	0	1,300,000	8,000,000	△ 6,700,000
受取補助金振替額	0	0	0	180,937	△ 180,937
受取負担金					
受取負担金	240,000	0	240,000	510,000	△ 270,000
雑収益					
受取利息	0	1,000	1,000	1,000	0
雑収益	700,000	0	700,000	550,000	150,000
経常収益計	48,743,000	4,116,000	52,859,000	48,521,937	4,337,063
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	0	0	0	4,002,000	△ 4,002,000
賃金	8,991,000	0	8,991,000	7,095,000	1,896,000
臨時雇賃金	8,525,000	0	8,525,000	5,077,500	3,447,500
賞与引当金繰入額	201,000	0	201,000	447,000	△ 246,000
法定福利費	2,517,000	0	2,517,000	1,632,503	884,497
福利厚生費	486,000	0	486,000	511,000	△ 25,000
会議費	0	0	0	0	0
旅費交通費	1,502,000	0	1,502,000	1,599,000	△ 97,000
通信運搬費	1,319,000	0	1,319,000	1,094,500	224,500
消耗什器備品費	93,000	0	93,000	675,000	△ 582,000
消耗品費	1,116,000	0	1,116,000	542,500	573,500
修繕費	714,000	0	714,000	68,000	646,000
印刷製本費	782,000	0	782,000	485,500	296,500
水道光熱費	1,558,000	0	1,558,000	495,000	1,063,000
賃借料	291,000	0	291,000	683,000	△ 392,000
使用料	540,000	0	540,000	407,000	133,000
保険料	205,000	0	205,000	248,000	△ 43,000
報償費	14,441,000	0	14,441,000	8,828,000	5,613,000
諸謝金	2,759,000	0	2,759,000	4,681,500	△ 1,922,500
租税公課	2,131,000	0	2,131,000	1,072,000	1,059,000
支払負担金	175,000	0	175,000	32,500	142,500
委託費	64,000	0	64,000	418,000	△ 354,000
食糧費	0	0	0	3,000	△ 3,000

令和5年度（公財）吹田市国際交流協会 収支予算書

（正味財産増減計算書ベース）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで（単位：円）

科 目	当年度予算額			前年度予算額 （補正後）	増 減
	公益目的事業会計	法人会計	合計		
支払手数料	262,000	0	262,000	174,000	88,000
雑費	10,000	0	10,000	1,000	9,000
委託整備費	0	0	0	5,513,000	△ 5,513,000
管理費					
給料手当	0	0	0	210,000	△ 210,000
賃金	0	805,000	805,000	434,000	371,000
臨時雇賃金	0	731,000	731,000	0	731,000
賞与引当金繰入額	0	51,000	51,000	25,000	26,000
法定福利費	0	218,000	218,000	12,000	206,000
福利厚生費	0	42,000	42,000	24,000	18,000
会議費	0	10,000	10,000	2,000	8,000
旅費交通費	0	130,000	130,000	69,000	61,000
通信運搬費	0	81,000	81,000	34,000	47,000
消耗什器備品費	0	15,000	15,000	170,000	△ 155,000
消耗品費	0	43,000	43,000	49,000	△ 6,000
修繕費	0	155,000	155,000	66,000	89,000
印刷製本費	0	101,000	101,000	27,000	74,000
水道光熱費	0	80,000	80,000	55,000	25,000
賃借料	0	65,000	65,000	141,000	△ 76,000
使用料	0	101,000	101,000	3,000	98,000
諸謝金	0	1,326,000	1,326,000	1,367,000	△ 41,000
租税公課	0	5,000	5,000	2,000	3,000
支払負担金	0	15,000	15,000	87,000	△ 72,000
支払手数料	0	117,000	117,000	23,000	94,000
雑費	0	25,000	25,000	10,000	15,000
経常費用計	48,682,000	4,116,000	52,798,000	48,595,503	4,202,497
当期経常増減額	61,000	0	61,000	△ 73,566	134,566
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	61,000	0	61,000	△ 73,566	134,566
一般正味財産期首残高	-	-	560,286	1,958,441	△ 1,398,155
一般正味財産期末残高	-	-	621,286	1,884,875	△ 1,263,589
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益					
基本財産受取利息		356,000	356,000	356,000	0
受取民間助成金				0	0
一般正味財産への振替額		△ 356,000	△ 356,000	△ 536,937	180,937
当期指定正味財産増減額	0	0	0	△ 180,937	180,937
指定正味財産期首残高	-	-	200,000,000	200,180,937	△ 180,937
指定正味財産期末残高	-	-	200,000,000	200,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	-	-	200,621,286	201,884,875	△ 1,263,589

注記：一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び正味財産期末残高は、令和5年2月時点決算見込み値にて算定。

令和 4 年度（2022 年度）公益財団法人吹田市国際交流協会 事業報告書

令和 4 年度(2022 年度)に開始した吹田市委託事業吹田市多文化共生相談ワンストップセンターの運営は、公益財団法人吹田市国際交流協会(以下「協会」という。)の事業すべてに関連し、協会事業のハブ的な役割を担うようになってきました。事業開始に注力したため、その他の事業は全体を通して令和 3 年度の事業内容を継続するような実施となりました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多文化まつりやホストファミリー事業を含めた国際交流関連事業は実施に至りませんでした。

協会の令和 4 年度の実施事業の特徴は主に以下の 4 点です。

- 外国人相談窓口「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター」の開設及び運営
令和 2 年(2020 年)年春に始まった新型コロナウイルス感染症拡大にともなう大きな社会変化の中、在住外国人からの相談はほとんどありませんでした。しかし、令和 2 年度だけでも、府内の他の国際交流協会に寄せられた吹田市在住・在勤・在学している外国人からの相談件数は、およそ 230 件にのぼりました。協会が地域の在住外国人に相談できるような組織となっていなかったことは、協会運営における大きな反省となりました。そのような経緯等を踏まえ 10 月に同センターを開設し、相談事業の開始から半年が経過し地域にその存在が浸透していく中で、相談件数は徐々に増えています。相談内容と多言語相談員の意見を通して、地域のニーズが見えやすくなり、今後の効果的な事業運営につなげていくことが可能になりました。
- 関係機関や地域団体との連携による定例事業やイベント等の実施
相談事業では、他機関とつながる機会が増え、大阪府国際交流財団(以下「OFIX」という。)と共催で合同弁護士相談会を開催しました。また、地域団体からは、災害時のやさしい日本語や外国人の人権等に関する研修の依頼件数が増加しました。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多文化まつりを実施することができませんでしたが、OFIX と共催で吹田市立千里山コミュニティセンターにおいて「多文化ゲーム大会」を開催するなど、外国人市民と地域の人たちが交流する楽しい交流イベントとなりました。また、西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市による中核市連携 NATS において、多文化共生担当者会議を定期的に開催し、情報共有や相談員の研修会を開催しました。
- ボランティアのマネジメント方法に係る見直し作業の実施
公益財団法人に移行して 10 年が過ぎようとしていますが、基本的なボランティア・マネジメントの方法は、10 年間変わらずに運営してきました。そのため、一般的に社会で醸成されてきているボランティア意識やマネジメント方法を参考に、考え方や運用方法の整理が必要な状況です。令和 4 年度は職員研修やボランティアと一緒にワークショップを実施しましたが、協会運営にとってボランティアは重要な役割を担っており、そのマネジメントの見直しは引き続き取り組むべき課題です。
- 協会運営検討ワーキンググループの設置
長引く新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化した協会の経営状況と業務状況

の改善をするために、委員には外部委員や吹田市も参加し、積極的に改善策について提案や助言をいただくことができました。その一つとして、財団法人の基本に立ち戻り、2月から3月にかけてクラウドファンディングを実施しました。クラウドファンディングでは、130名を超える方からご支援をいただきました。協会の活動を応援してくださる方たちの声が直接職員に届き、大きな励みとなりました。協会の経営状況の改善と業務改善は、令和5年度(2023年度)も引き続き最優先で取り組む協会の課題です。

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民の自主的な国際交流・国際協力の活動を支援します。自分たちとは異なる言語、文化的・社会的背景をもつ人びととの対話を通して、市民が国際感覚を養い、多様な人びとを認め合い尊重し合う多文化共生社会の実現を推進します。

1. 国際交流推進事業(旧 友好交流都市との交流事業) [補助金事業]

新型コロナウイルス感染症の影響で姉妹都市との交流をはかることが難しい状況となっていました。友好交流都市の範囲を超えて市民主体の国際交流という視点に立ち、「知る、出会う、交流する機会(場)づくり」をコンセプトに、多様な人との繋がり場をつくりました。オンラインを利用して、語学学習と併せて事業を実施しました。

「ベトナムの言葉と文化」講師：Pham Phi Hai Yen

日時：1月12日(木)、1月19日(木)、1月26日(木)

内容：講師がベトナムから、オンラインにて講義をしました。ベトナムの旧正月の文化や習慣について、中心都市ホーチミンやハノイの観光地の紹介をしました。学習者からは、ベトナムに行っている感覚になり、まさに国際交流しているという感想がありました。

2. 国際交流情報の収集及び発信 [補助金事業]

(1) 会報SIFA Timesの発行

7月号より、内容とデザインをリニューアルしました。これまで主に事業報告だった内容を、協会に関わるボランティアや学習者あるいは団体等の紹介に焦点を当てた内容に変更し、年4回発行しました。

281号(1,800部発行) 特集：語学教室講師照会

282号(1,600部発行) 特集：吹田市多文化共生ワンストップ相談センター

283号(1,800部発行) 特集：日本語教室紹介

284号(1,800部発行) 特集：ボランティア事業

発送作業ボランティア 延べ参加者数 2850人

(2) 国際交流情報の収集及び発信

ホームページとフェイスブック多言語化、留学生や在住外国人向けの多言語メールリングリスト「ミミヨリINFO」などの活用により、適切な情報発信に努めました。

(3) ホームページによる情報発信(吹田市補助金事業)

ホームページは、週1回の更新を目標とし、担当者で記事選定を行いました。記事の作成は、協会スタッフで分担し、負担軽減を図るとともにスタッフのスキルアップの機会としました。

公開記事数：85件(SIFA関連50件、その他団体35件)

3. 市内大学との連携による留学生等と市民の交流 [補助金事業]

(1) 市内大学等のホストファミリープログラムの支援

市内の大学などのホストファミリープログラムの支援は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、留学生の来日が困難であったこと、また交流活動を控える社会的状況であったことから、事業は中止となりました。例年実施してきたホストファミリーボランティア説明会兼研修会と、ホストファミリー交流会も併せて中止しました。

令和5年度の留学生を対象としたホストファミリー活動を検討するにあたり、諸団体から意見を聞くための第52回大阪大学留学生ホストファミリープログラム連絡協議会が開催されました。

II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生社会の推進のために、市民が他者理解の重要性を理解するための機会を増やし、未来を担う子供たちが多様な人たちとの出会いや交流・体験学習をとおして、持続可能な社会形成のために活躍できる人材づくりを推進します。

1. 国際交流ボランティア活動支援

(1) 国際交流ボランティア登録

ア 令和5年度新規ボランティア登録説明会

初めてボランティア活動をしようとする希望者を対象に、説明会を開催しました。協会の理念やボランティア活動の内容について説明をおこない、国際交流ボランティア登録を実施しました。今年度は、オンライン参加に関しては定員を設けず募集をしました。また、例年説明会で実施していたボランティア講座は別途ボランティア研修の日を設けて実施することとし、説明会では協会の理念や事業紹介のみ行いました。

日時：2月23日(木)10:00～11:30

参加者：オンライン56人、現地13人

イ 令和4年度度ボランティア追加募集・登録

ボランティアが不足している活動に限り、ボランティアを追加募集し登録説明会を開催しました。登録説明会の前に、ボランティア活動希望者にはそれぞれ活動を見学してもらいました。説明会に併せて、ボランティア活動に関する講座(内容等は、(2)ボランティア講座に記載)を開催し、協会の理念や活動内容について説明をしました。

日時：9月23日(金)10:00～11:30

参加者：7人

募集事業：日本語チューター(夜クラス)、ハロハロ SQUARE、ここにこ日本語、保育

(2) ボランティア講座 [補助金事業]

ア SIFA 日本語ボランティア研修「はじめての日本語ボランティア」

SIFA 日本語ボランティア教室への参加を希望するボランティア登録者を対象に、やさしい日本語やボランティアの心構えなどの講座を開催しました。希望者が参加しやすいよう、同じ内容の講座を平日と土曜日に2回実施しました。

「はじめての日本語ボランティア」

日程：4月1日(金)、4月2日(土)

講師：榎原 智子(SIFA 日本語講師)

参加者：23人(1日 13人、2日 10人)

イ ボランティア活動希望者を対象にした講座

初めてボランティア活動に参加する市民向けに、ボランティアの心構えなどに関する講座を開催しました。

「はじめてのボランティア活動」

日時：9月23日(金)10:30～11:00

講師：矢野 眞里加(吹田市立市民公益活動センターラコルタ)

参加者：7人

ウ ボランティア・マネジメント研修(内部研修)

ボランティア・コーディネーターについて、スタッフとボランティアの役割等に関する研修を実施しました。また、ボランティア活動での困りごとなどを共有しました。

「ボランティアとスタッフのより良い関係づくりに向けて」

日時：9月2日(金)14:15～15:15

講師：春貴 いさお(吹田市立市民公益活動センターラコルタ センター長)

参加者：5人

(3) ボランティアによる日本語学習支援 [補助金事業]

ア 日本語チューター

ボランティアと学習者が1対1又は1対2で日本語習得支援を行います。学習者の日本語レベルや要望はさまざまなので、それぞれに寄り添った支援をしました。

日時：朝チューター 全40回

(4月12日～3月14日 毎週火曜日 90分 ※8月活動なし)

夜チューター 全40回

(4月13日～3月22日 毎週水曜日 90分 ※8月活動なし)

オンラインクラス 全651回

(4月6日～年3月31日 毎週決まった曜日 9時～21時までの90分)

場所：市民公益活動センターラコルタ、協会、各種オンラインツール

参加者：朝チューター 延べ参加者数 381組

夜チューター 延べ参加者数 360組

オンラインクラス 延べ参加者数 1039組

参加費：500円/月

イ にこにこ日本語

外国人学習者とボランティアの小グループにおける「おしゃべり活動」を通して、ボランティアが日本語習得の支援をしました。協会が作成した対話型教材「はじめてのにこにこ」と「にこにこ」を使用し、生活に密着したさまざまなテーマについて、おしゃべり活動を実施しました。

日時：全42回(4月9日～年3月18日 毎週土曜日 10:00～11:30 ※ 8月活動なし)
班構成：1班～4班。1班は日本語入門レベルクラス、テキスト『はじめてのここにこ』を使用。2～4班はテキスト『ここにこ日本語』を使用。

場所：協会教室、ラコルタ、市民センター

参加者：学習者在籍19人 延べ参加者数503人、ボランティア在籍23人
延べ参加者数443人

参加費：500円/月

ウ みんなの漢字

外国人学習者とボランティアが小グループで、プリント教材を使って、生活のさまざまな場面で見にする漢字を学びました。

日時：全42回(4月9日～3月18日 毎週土曜日 11:45～13:15 ※ 8月活動なし)

班構成：1～2班。日本語初級者と初級以上の学習者でレベルを分けて実施。

場所：協会

参加者：学習者在籍11人、ボランティア在籍11人、延べ参加者数233人

参加費：500円/月

エ 日本語わいわい

外国人学習者とボランティアが小グループで「わいわい」おしゃべり活動を通して、ボランティアが日本語習得の支援をしました。外国人ボランティアも日本で暮らす「先輩」として参加しました。今年度はグループの固定をせず、日本語のレベル分けをせずに実施しました。

日時：全41回(4月8日～3月17日 毎週金曜日 10:00～11:30 ※ 8月活動なし)

場所：協会、ラコルタ、市民センター

参加者：学習者 在籍者9人 延べ参加者数209人

ボランティア在籍者25人 延べ参加者数440人

参加費：500円/月

2. 語学教室[自主事業]

学習者の知識や技術習得だけでなく、さまざまな国の文化や生活習慣を知る機会を提供し、外国語に慣れ親しむことを手始めに国際理解の意識を高め、地域でともに生活する隣人としての外国人支援の重要性を伝えました。また、子どもたちは英語学習を通して国際理解を深める機会ともなり、協会はグローバル人材の育成に努めました。

開講言語：英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語

参加登録人数：281人(通年クラスは2月時点の受講者登録数)

(1) 通年クラス

【英語】

大人クラス

講師：Hosea Lee Baker III、Nhon Nguyen、Douglas Rodger James、Marc-Eric Tremblay、Valles Ruben、Karen Miyuki Egawa、Liliana Diankova

高校生クラス

講師: Valles Ruben

中学生クラス

講師: Valles Ruben

親子(幼児)クラス

講師: Brian Rowlinson、Diankova Tatsumi Liliana

小学生クラス

講師: Brian Rowlinson、Douglas Rodger James、Karen Miyuki Egawa、Diankova
Tatsumi Liliana

【中国語】

講師: 山口小百合

【韓国朝鮮語】

講師: 朴家英

【ベトナム語】

講師: ファム フィ ハイ イェン

[表1 語学教室のクラス数と学習者数]

講座名	クラス数	学習者数
大人(レベルクラス)	14	99人
大人(テーマクラス)	5	33人
オンライン	1	4人
旭通教室	2	9人
高校生英語	1	4人
中学生英語	1	4人
親子(幼児)英語	4	17人
小学生英語	9	50人
中国語	2	13人
韓国朝鮮語	3	27人
ベトナム語	2	8人

※高校生英語は2学期～不開講

(2) 短期クラス

[表2 短期教室(大人)]

英語でスケッチ	Nhon Nguyen	
1)5月18日～7月20日	10回	9人
2)10月7日～12月9日	10回	7人

英語でチャット	Nhon Nguyen	
1)5月20日～7月22日	10回	4人

2)10月7日~12月9日	10回	5人
ジョークで英語を楽しむ	Hosea Lee BakerⅢ	
10月3日~12月12日	10回	8人
英語でペインティング	Nhon Nguyen	
1月6日~3月10日	10回	6人

[表3 短期教室(小学生)]

英語で遊ぶゲームクラス	Rodger Douglas	
10月4日~12月6日(小学1・2年生)	10回	12人
アルファベットと学んでことばをつくってみよう	Rodger Douglas	
1月10日~3月14日(小学1・2年生)	10回	5人

[表4 短期教室 韓国朝鮮語]

すぐに使える韓国語フレーズ	朴家英	
5月17日~7月19日	10回	9人
ドラマあるある講座	朴家英	
10月4日~12月6日	10回	9人
韓国語のドラマ、文化、歴史を学ぼう	朴家英	
1月10日~3月14日	10回	7人

(3) キッズサマークラス

[表5 キッズサマークラス]

小学1・2年生初心者①	Ruben Valles	
8月1日~8月3日	3回	6人
小学1・2年生初心者②	Rodger Douglas	
8月1日~8月3日	3回	6人
小学1・2年生経験者	Rodger Douglas	
8月1日~8月3日	3回	4人
小学3・4年生	Hosea Lee BakerⅢ	
8月1日~8月3日	3回	8人
小学5・6年生	Hosea Lee BakerⅢ	
8月1日~8月3日	3回	5人

3. 異文化理解・啓発事業

(1) 多文化まつり [補助金事業]

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できませんでした。

(2) 多文化共生講座「多文化ふらす」 [補助金事業]

民族や国籍、文化的・社会的背景、言語などの「違い」を認め合い、お互いに対話がで
きる市民として共に暮らす豊かな地域づくりのために講座を開催しました。

- ・「地域をつくるボランティア活動～とよなか国際交流協会の活動事例から～」

日時：11月6日(日) 9:30～11:30

場所：千里市民センター 多目的ルーム

講師：山野上 隆史((公財)とよなか国際交流協会事務局長)

参加者：19人

内容：ボランティアと協会スタッフの役割の違いやそれぞれの視点について理解を深めま
した。ボランティア活動にとって大切にしていることについてワークショップをしました。

- ・「国連からみた多文化共生社会」

日時：12月4日(日) 13:30～15:30

場所：花とみどりの情報センター

講師：星野 俊也(大阪大学大学院教授・国際交流基金関西国際センター所長)

ファシリテーター：近藤 佐知彦(大阪大学国際教育交流センター教授・協会理事長)

参加者：23人

内容：国際政治学者であり国連大使も務めた経験のある講師に、国連での仕事の内容や
経験を語ってもらい、これからの異文化理解や地域における多文化共生社会の促進
のために何が必要かを考える機会となりました。

- ・「あるいて発見！きいて発見！～多様化する福祉の現場から～」

日時：2月11日(土) 9:00～12:00

場所：浜屋敷

講師：吉川 靖枝(介護福祉士・理学療法士／サービス付き高齢者向け住宅運営)

参加者：17人

内容：まずは、ボランティアガイドと旧吹田村を歩きました。その後、浜屋敷にて市内で福
祉施設を運営している中国出身の講師より、日本で生活していく中で、自分のアイデ
ンティティーを大切にしながら様々な資格を取得し現在の仕事をするに至った話があ
りました。また、文化において身体観や健康観について異なることなどを考える機会と
なりました。

4. 国際理解事業 [補助金事業]

小学校低学年向けの「がっこう編」、中・高学年向けの「食べもの編」「モノ編」の3種類を出前
授業「国際理解パッケージ」とし、市教育委員会の「ドキドキワールド」の授業の一環として市内
小学校において開講しました。パッケージは、コーディネーター(有償ボランティア)による各テー
マ(食べもの等)の日本と世界のつながりについての話及びそれに関連したクイズ、外国人講師

によるテーマに関するプレゼンテーション及び子どもたちからの質問コーナーで構成されています。令和4年度は、コーディネーター3人、外国人講師延べ8人で実施しました。

開催回数: 21回

受講者数: 954人

【実施日/回数/小学校/学年/人数/テーマ】

- ① 11月7日/2回/吹田市立津雲台小学校/3年生3クラス/107人
「食べもの編 ポーランド」
- ② 11月14日/2回/吹田市立高野台小学校/3・4年生3クラス/81人
「食べもの編 中国」
- ③ 12月7日/2回/吹田市立北山田小学校/1年生3クラス/81人
「がっこう編 中国」
- ④ 12月9日/2回/吹田市立高野台小学校/1・2年生4クラス/99人
「がっこう編 ポーランド」
- ⑤ 1月13日/2回/吹田市立古江台小学校/2年生3クラス/96人
「がっこう編 タイ」
- ⑥ 1月25日/2回/吹田市立津雲台小学校/5年生3クラス/96人
「モノ編 中国」
- ⑦ 1月27日/2回/吹田市立古江台小学校/1年生4クラス/117人
「がっこう編 タイ」
- ⑧ 2月2日/2回/吹田市立古江台小学校/3年生3クラス/95人
「食べもの編 ブラジル」
- ⑨ 2月13日/2回/吹田市立北山田小学校/2年生2クラス/71人
「がっこう編 中国」
- ⑩ 2月20日/2回/吹田市立江坂大池小学校/6年生2クラス/68人
「食べもの編 トゥルクメニスタン」
- ⑪ 3月14日/1回/吹田市立高野台小学校/6年生2クラス/43人
「モノ編 中国」

5. 国際交流団体等支援・連携事業

(1) 共催・後援・協力事業の実施 [自主事業]

・多文化交流ゲーム大会

OFIX主催の国際理解教育事業を担う外国人サポーターの体験を通して、留学生と地域住民の交流を促し、多文化共生を実現する目的のイベントを実施しました。外国人講師が母国のゲームを紹介し、イベント参加者で行いました。イベントの途中で参加者が事前に準備した歌やクイズのパフォーマンスも実施しました。

日時: 11月19日(土) 14:00-16:00

会場: 吹田市立千里山コミュニティセンター

参加者: 26人

・弁護士による外国人のための1日相談サービス

言語や費用の面で弁護士に相談できない外国人向けに、大阪弁護士会の協力を得て相談

会を行いました。法律面だけでなく生活相談コーナーも設けました。吹田市多文化共生ワンストップ相談センターにおける継続相談の相談者を案内できました。近隣国際交流協会での周知による相談者の参加もあり、情報を共有し、共同実施の重要性を再認識しました。

日時：1月29日(日) 13:00～16:00

相談員：弁護士 3人、OFIX 相談員 2人

相談者人数：6人

内容：在留資格 2件、法律 1件、生活 3件、離婚 1件

言語：日本語 2件、英語 3件、中国語 1件

出身国：中国、シリア、セルビア、ベトナム

共催：国際交流協会ネットワークおおさか

・外国人向けの合同オンライン相談事業

大阪府国際交流財団主催の外国人向けオンラインによる相談事業に参加しました。

日時：3月20日(月) 9:00～20:00

3月22日(水) 9:00～17:30

3月23日(木) 9:00～17:30

3月24日(金) 9:00～20:00

3月26日(日) 13:30～16:30

共催：(公財)大阪府国際交流財団

(2) MUSE たかつきカレッジクラブ講座 [関大パンセ委託事業]

株式会社関大パンセより委託されている小学生を対象とした英語教室を開催しました。本年度は、2コース各6回ずつ全12回実施しました。

日時：6月3日、10日、17日、24日、7月1日、8日(毎週金曜日)

Aコース 小学校1～2年生対象 16:00～16:50

Bコース 小学校3～6年生対象 17:00～17:50

講座名：Easy Peasy English

講師：Douglas Rodger James

受講者数：Aコース 延べ参加者数54人、Bコース 延べ参加者数24人

(3) 関西大学南千里国際プラザとの連携 [自主事業]

春と秋に開催された関西大学別科の入学式、修了式へ出席し(オンライン含む)、地域団体の代表として挨拶をしました。地域の中での受け入れ支援体制について、情報提供などに努めました。

(4) 国際交流協会ネットワークおおさかを通じた他団体との連携 [自主事業]

大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会」(構成11団体)に参画し、ボランティア団体や国際交流関係団体、機関などとのつながりの場を作り、さまざまな情報交換を行い、広域的な相互連携、協力できる体制を継続しました。

定例会：毎月1回

場所：大阪国際交流センター(オンライン併用)

構成団体：池田市市民活動部人権・文化国際課、和泉市総務部人権・男女参画室、

(公財)大阪国際交流センター、(公財)大阪府国際交流財団、(公財)吹田市国際交流協会、(公財)とよなか国際交流協会、(特活)とんだばやし国際交流協会、(公財)箕面市国際交流協会 / オブザーバー:大阪府都市魅力創造局国際課、堺市文化観光局文化国際部国際課、(特活)多文化共生マネージャー全国協議会

(5) 吹田市国際交流団体ネットワークほかとの協力連携 [補助金事業]

各活動団体と連絡し、団体の代表や活動状況について電話やメールで確認をしました。新型コロナウイルス感染症の影響で、ネットワーク会議の開催には至りませんでした。

Ⅲ 在住外国人の支援

1 日本語教室の開催 [吹田市委託事業]

入国制限が少しずつ緩和され、新規入国者数が増えたことにより、入門クラスの学習者が前年度より増加しました。学習者は、近隣大学の留学生及びその家族が多い傾向があります。また、今年度についてはウクライナ避難民の方も参加していました。

(1) 日本語1・2(入門・初級クラス)

ア 日本語1・2

短期間で生活に必要な一定レベルの日本語を学ぶことができるクラスです。日本語教師有資格者が講師としてテキストを用いて、日本語 1 (入門レベル) と日本語 2 (初級レベル) のクラスを開講しました。1回 90 分のクラスを週 2 回実施しました。午前中のクラスには、ボランティアによる保育を設けました。

日時: 4月1日(金)~3月23日(木)

月曜日、木曜日: 10:00~11:30、13:00~14:30

回数: 日本語 1 全 83 回、日本語 2 全 83 回

場所: 協会

講師: 後藤 範子、榎原 智子(日本語教師有資格者)

参加者: 日本語 1 817 人、日本語 2 589 人

イ サマーコース(ひらがな・かいわコース)

通年クラスの夏休み期間中に、日本語1・2の学習者と新たに日本語の学習を希望する人を対象に 4 日間連続の講座を実施しました。講座内容は、秋以降の後期クラスにおいて円滑に日本語の学習が開始できるように、日本語学習の1・2の復習を中心にひらがなと会話のクラスを開講しました。

日時: 8月22日(月)~8月25日(木)

回数: ひらがなコース 全 4 回(10:00~11:30)

かいわコース 全 4 回(13:00~14:30)

場所: 協会内教室

講師: 後藤 範子、榎原 智子(日本語教師有資格者)

参加者: ひらがなコース: 39 人、かいわコース: 36 人

ウ オンライン会話クラス

日本語 1・2 のクラスでは会話の練習時間が十分ではないため、入門から初級レベルの学習者を対象として、日本語 1・2 の冬休みの期間を利用して会話練習を中心としたクラスを開講しました。

日時：1月24日・31日、2月7日・14日(毎週火曜日) 10:00~11:00

回数：全4回

方法：オンライン

講師：後藤 範子、榎原 智子(日本語教師有資格者)

参加者：18人

エ 日本語教室発表会

協会の日本語教室の学習者による日本語による発表会を開催しました。日本語でスピーチを行うことで、学習成果を発表するだけでなく、日本語で自分の気持ちを伝え、地域住民との交流をはかる機会となりました。昨年に引き続き、YouTube でのライブ配信をしました。

日時：12月11日(日) 10:00~12:00

場所：吹田市立市民公益活動センター(ラコルタ)

参加者：発表者 10人、観覧者 29人、配信視聴者 22人

(2) 使える日本語 [自主事業]

中級レベルの学習者を対象に、講師がテキストを使用して授業を行いました。令和4年度はオンラインクラスとして開講し、協会の日本語教室の日本語2に参加していた学習者が参加しやすいような時間帯で開講しました。

日時：4月13日~3月22日(毎週水曜日) 10:00~11:30 全40回

方法：オンライン

参加者：延べ227人

参加費：1,100円/回

(3) しごとでつかえるにほんごかいわ [自主事業]

在住外国人のキャリアアップ支援の一環として、職場で使える日本語を習得するとともに、日本の企業文化に対する理解を深めることを目的に実施しました。

日時：10月1日~12月3日(毎週土曜日) 10:00~11:30 全10回

場所：旭通教室

参加者：4名

参加費：1,200円/回

2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業

(1) コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業 [補助金事業]

日本語による会話が十分でない外国籍市民がことばの壁により医療機関を受診する機会が失われぬように、『コミュニティ通訳ボランティア同行事業に関する覚書』に基づいて、協会に登録しているコミュニティ通訳ボランティアが同行し通訳をしました。病院からの依頼は外来での診察・

検査時の通訳が多く、保健センターからは乳幼児の定期健診が主な依頼内容でした。

同行先： 提携病院(吹田市民病院、済生会吹田病院、済生会千里病院)、
保健センター(母子保健課)

登録者： コミュニティ通訳ボランティア:15名(英語8名、中国語7名)

依頼件数： 74件

4月4件、5月7件、6月10件、7月6件、8月22件、9月4件、
10月4件、11月6件、12月2件、1月2件、2月3件、3月4件

依頼言語： 中国語55件、英語19件

(2) コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行・スキルアップ事業 [吹田市委託事業]

ア コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行

外国籍市民が吹田市役所等で各種手続きや相談を行う際に、協会のコミュニティ通訳ボランティア養成講座を修了した有償ボランティアが同行通訳を行い、円滑な手続きや相談のサポートをしました。

同行先： 吹田市役所庁舎内(市民課、放課後子ども育成室、高齢福祉室他)27件、
市内こども園及び小学校等 100件

登録者： 行政通訳ボランティア 25名(英語12名、中国語6名、韓国朝鮮語1名、
タイ語1名、ベトナム語1名、フランス語3名、ネパール語1名)

依頼件数： 127件

4月:19件、5月:15件、6月:14件、7月:7件、8月:6件、9月:7件、
10月:11件、11月:12件、12月:11件、1月:4件、2月:12件、3月:9件

依頼言語： 英語95件、中国語16件、韓国朝鮮語3件、ネパール語3件、

イ 行政通訳ボランティア養成講座実施

今年度は、ボランティア登録の少ない言語(ネパール語、タイ語、ベトナム語)及び今後必要性が見込まれるフィリピン語の受講生を募集しました。タイ語3人、ネパール語1人、ベトナム語1人の受講希望者がいましたが、フィリピン語の受講生はいませんでした。コミュニティ通訳ボランティアの専門家による講義と市の担当課職員による講義(事前にビデオ録画したものを自宅で視聴)を受講し、修了試験を実施しました。修了した人は、ボランティアガイダンスに参加してもらい、令和5年度より活動します。

登録者： タイ語2人、ネパール語1人、ベトナム語1人

【講義】(オンライン)

日時： 1月20日(金)13:00~15:30、21日(土)10:00~12:30

講師： 水野真木子(金城学院大学)

内容： コミュニティ通訳概論・倫理、基礎トレーニング等

【ビデオ視聴学習】

期間： 1月22日(日)~2月19日(日)

講師： 各担当課担当者(吹田市役所市民課、国民年金課、保育幼稚園室、教育委員会)

内容： 転入転出に必要な窓口手続き・国民年金制度の概要について(市民課)、保育園・幼稚園の入園手続きや園生活の紹介等(保育幼稚園室)、入学手続き等(教育委

員会)等、場面ごとのロールプレイ

【修了試験】(各言語)

日時: 2月20日(月)~3月2日(木)

場所: 協会

内容: 各言語によるロールプレイ、翻訳

ウ コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行スキルアップ事業

スキルアップ研修は、病院通訳ボランティアと行政窓口同行通訳ボランティアと合同で2回開催しました。

日時: 9月29日(木)13:30~15:30

場所: 協会での対面/オンライン

講師: 山田 春香(吹田市社会福祉協議会)

内容: (1)災害発生時の体制(災害ボランティアセンターなど)について、(2)災害への備え、普段からの人・地域の繋がりづくりについて

参加者: 16名

日時: 2月24日(金)10:00~11:20

場所: こども発達支援センター杉の子学園

講師: 飛嶋由華

内容: 園施設見学及び施設や療育の理念、学園で受けられるサービスや先生方が子どもたちを預かる上で大切にしていることなど

参加者: 6名

3. 地域事業への在住外国人の参加促進 [補助金事業]

日本語教室に通う学習者や留学生の多くが登録している多言語メーリングリスト「ミミヨリ INFO」を活用し、新型コロナウイルスやワクチン接種の情報はじめ、市民公益活動団体や地域の商店街などが主催する地域行事等に、在住外国人が参加しやすくなるよう SNS 等を利用して情報提供をしました。また、地域団体等から紹介された事業やイベント等について、協会が日本語の学習者や窓口において情報提供をしました。

4. 外国にルーツをもつ子どもの支援

(1) ハロハロ SQUARE(外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業) [補助金事業]

ア 定例事業

外国にルーツをもつ小学生から高校生の学習支援をしました。学校の勉強や日本語学習などそれぞれの課題をボランティアと一緒に学習しました。子どもたちが安心できる居場所となるように、学習以外にもボランティアと将来のことや学校生活についての話し合い、ゲームタイムやお楽しみ会を実施しました。

日時: 4月8日~3月24日(毎週金曜日) 18:00~20:00 全43回

参加者数: 子ども 延べ761人、ボランティア 延べ507人

イ 春休み・夏休みの自習室、お楽しみ会

休業期間中は、宿題や自主課題のフォローを行うため、自習室を開きました。また、各学期の最終日はお楽しみ会を開きました。2 学期のお楽しみ会において作成した「〇×クイズ」の問題は、吹田市芸術芸能フェスティバル(場所メイシアター)に展示しました。

[夏休み自習室]

日時: 7月29日(金)、8月5日(金)、8月19日(金)、8月26日(金) 全4回

参加者: 子ども 延べ29人、ボランティア 延べ20人

[春休み自習室]

日時: 3月28日(火)、3月31日(金)、4月5日(水)

参加者: 子ども 延べ10人、ボランティア 延べ12人

[お楽しみ会]

日時: 7月11日(月)、12月23日(金)、3月24日(金)

参加者: 子ども 延べ48人、ボランティア 延べ31人

(2) 帰国・渡日児童生徒支援事業 [自主事業]

大阪府教育庁「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業」三島地区実行委員会が主催する「多言語進路・学校生活サポートガイダンス」を通して、高校進学など進路選択のための情報提供と相談に協力しました。

日時: 10月15日(土)13:30~16:00

場所: 高槻市総合センター

参加者: ハロハロ SQUARE から5人

5. 子育て支援「こあらくらぶ」 [補助金事業]

外国人ママ・パパの日本での子育ての不安を和らげられるよう、悩みごとを話して共感したり情報共有ができるような交流の場をつくりました。子育て中の外国人と同じ世代のボランティアが参加し、絵本の読み聞かせや手遊び、季節の行事などを盛り込んだ活動をしました。また、日本人親子も参加可能とし、子育てを通して地域のつながりができるよう支援しました。

日時: 毎月水曜日(月1回) 年間10回

場所: 協会、ラコルタ、市民センター、公民館、図書館、子育て支援センター、千里南公園

参加者: 参加組数延べ68組(外国ルーツの親子 延べ参加組数48組)

ボランティア参加者数延べ25人

[表 6 こあらくらぶの開催日と参加者について]

開催日		内容	参加 組数	うち外国 人組	大人	子ども	ボランティア
5月17日	(火)	防災ピクニック	5組	4組	5名	7名	3名
6月1日	(水)	運動会とママのおしゃべり会	7組	4組	8名	7名	3名
7月6日	(水)	子育て支援センター行こう	9組	6組	11名	8名	3名
9月28日	(水)	図書館に行こう	2組	1組	3名	3名	2名
10月19日	(水)	公園に行こう	13組	11組	15名	13名	3名
11月16日	(水)	アートにふれよう	9組	7組	9名	8名	2名
12月7日	(水)	正月あそび	3組	3組	3名	3名	2名
1月26日	(木)	親子ヨガ	5組	2組	5名	5名	2名
2月16日	(木)	子育て支援センター行こう	9組	4組	9名	8名	3名
3月6日	(月)	ひなまつり	6組	6組	6名	6名	2名
合計			68組	48組	74名	68名	25名

6. 防災減災事業

ア 防災事業のための地図作成 [補助金事業]

吹田市外国籍人口統計を活用し、0才から14才、15才から65才、66才以上の3グループについて、小学校区ごとに国籍・在留資格別にデータを分析し、マッピングをしました。

イ 地域国際化推進アドバイザー派遣(一般財団法人自治体国際化協会)

テーマ：「災害時の外国人支援に係る検討会」

日時：7月15日(金) 14:00～17:00

講師：高木和彦(NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事)

吉川友香(大阪府国際交流財団)

ウ 多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業 [令和3年8月～令和4年7月 真如苑 Shinjo プロジェクト市民防災減災事業助成金(単年度のみ)]

子育て世代の外国人市民と地域住民を対象とした防災事業に取り組みました。日頃からの地域住民とのつながりが重要だと考え、その紐帯を育むために地域の子育てサークル等との連携強化に取り組み、協会の日本語事業に参加している学習者も一緒に防災教室を開催しました。また、災害時に役立つ情報を動画にし、YouTubeにおいて多言語で配信しました。

アドバイザー兼防災教室講師：松村直子(日本ミクニヤ・防災士)、村上典子(NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会)

【令和3年度実施内容】

- ・産科医による健康セミナーと防災士による防災教室の実施
- ・日本語わいわいの外国人学習者・ボランティア、行政職員、社会福祉協議会等を対象とし、さまざまな立場の人がともに防災について考えるワークショップを実施

【令和4年度実施内容】

- ・防災をより身近なものに感じてもらえるよう、協会の日本語教室の学習者が出演した防

災についての動画を3本作成し、協会ホームページで公開しました。英語・中国語・韓国朝鮮語・インドネシア語・ベトナム語・ロシア語・ウクライナ語の7か国語の字幕をつけた。

日時：防災動画撮影日 3月15日、5月23日

場所：協会、千里丘地域備蓄倉庫

参加者：出演者6人(学習者3人、吹田市危機管理室職員3人)

動画1：「防災グッズを作ってみよう！」(紙食器・ペットボトルランタン作成)

動画2：「防災グッズを買いに行こう！」(100円ショップで買える防災グッズ紹介・簡易トイレ作成)

動画3：「災害についてわからないことを聞いてみよう！」(吹田市危機管理室職員へのインタビュー、千里丘地域備蓄倉庫見学)

7. 吹田市多文化共生ワンストップ相談センター [吹田市委託事業]

吹田市における多文化共生社会の実現を目指し、在留外国人の方が、在留手続き、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子どもの教育等、生活する上での困りごとを多言語で一元的に相談できる窓口の開設をしました。5月から9月まではセンター開設のための準備期間、10月からセンターの運営を開始しました。相談センターの開設と同時に、センター専用のホームページを立ち上げました。ホームページから、メールで相談を申し込むことができるようにしました。また、毎月吹田市と協議の上、掲載する情報を「市報すいた」等から3つ程度選定し、やさしい日本語を含む9言語にして発信した。

【事前研修】

- ・「多文化共生ワンストップ相談センター事業についてのミッション」

日時：2022年8月29日(月) 13:30～15:30

講師：萩原昭広(大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科 助教)

- ・「対人援助の基礎を学ぶ」

日時：2022年9月15日(木)～16日(金) 13:30～15:30

講師：山中京子(コラボレーション実践研究所 所長・大阪府府立大学名誉教授)

【センターの運営】

実施日：月曜日～金曜日 10:00～16:00

曜日別対応言語：

- ・月曜日、木曜日、金曜日：日本語、英語、ロシア語
- ・火曜日、水曜日：日本語、英語、中国語、ロシア語、韓国朝鮮語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ポルトガル語

受付方法：来訪、電話、メール

場所：協会 601, 602 教室

人員体制：主任相談員1人、相談員1人、多言語相談員7人(コーディネーター1人)

(英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ポルトガル語)

専門家相談会：

- ・行政書士：12月14日(水)、2月7日(火)

- ・ 社会保険労務士: 12月27日(火)、1月18日(水)
- ・ 弁護士: 2月14日(火)、3月15日(水)

相談件数: 10月 14件、11月 20件、12月 31件、1月 33件、2月 44件、3月 32件
相談内容(入管庁の分類に従う):

- ・ 入管手続 13件(ビザ申請、永住権申請、就労許可取得)
- ・ 雇用・労働 15件(求職、就職先への提出書類、退職)
- ・ 医療 5件(医療機関受診、健康診断の申込、予防接種)
- ・ 出産・子育て、教育 22件(子どもの学習、子育て、入園・入学式)
- ・ 日本語学習 53件(日本語教室を探している、面接のための日本語)
- ・ 身分関係 9件(離婚、結婚、DV)
- ・ 通訳・翻訳 9件(医療通訳を探している、書類の翻訳)
- ・ 社会保険 8件(転入に伴う年金加入・住民票申請、年金制度説明)
- ・ 税金 2件(確定申告、納税、税務相談)
- ・ 住宅 3件(引越、住民トラブル)
- ・ その他(生活不安、大学研究、遺失物など)

国籍別(入管庁の分類に従う):

中国 32件、台湾 2件、韓国 3件、フィリピン 5件、インドネシア 7件、
ネパール 8件、スリランカ 1件、トルコ 0件、ブラジル 0件、ペルー 1件、
タイ 0件、ベトナム 10件、カンボジア 1件、ミャンマー 0件、モンゴル 5件、
アフリカ諸国 4件、欧米諸国 21件、オセアニア 3件、日本 15件、ロシア 3件、
ウクライナ 2件、その他 45件

【ホームページ】

言語: 英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、
ポルトガル語、やさしい日本語

件数: 16件

8. その他の外国人支援

(1) 行政情報などの提供 [補助金事業]

協会ホームページや日本語学習者や協会窓口や事業参加者へ、必要だと思われる行政情報(医療、進学等)の提供をしました。

(2) 外国人のキャリアアップにつながる支援 [自主事業]

外国人が自分のスキルを活かし活躍できる機会を提供するため、行政文書の翻訳を協会の関係する外国人に依頼しました。また、外国人が活躍しやすい社会整備のために、協会の活動に関連する内容の研修やセミナー等について、他団体からの要望に応じて協会が講師を請負いました。

【研修請負】

- ・ 11月11日(金) 吹田災害支援ネットワーク 主催・場所: 吹田市社会福祉協議会
参加人数: 36人 担当: 大橋
- ・ 11月12日(土) 災害時のやさしい日本語 主催・場所: 千里山コミュニティセンター

- 参加人数：15人 担当：オリガ、北山
- ・11月22日(火) 国際交流をとおして気づいたこと 主催・場所：大阪学院大学
参加人数：50人 担当：大橋
- ・11月28日(月) 違いを活力に(多文化共生って?) 主催・場所：千里新田地区公民館
参加人数：15人 担当：オリガ、北山
- ・12月6日(火) 国際交流～非日常から日常へ～ 主催・場所：大阪府民カレッジ
参加人数：40人 担当：大橋
- ・12月21日(水) 外国人差別について(ヘイトスピーチ解消法) 主催・場所：島下組・大光寺
参加人数：25人 担当：オリガ、北山

【講師派遣】

- ・8月20日(土) 「やさしい日本語」研修会 主催・場所：淀川勤労者厚生協会
参加人数：30人 担当：オリガ、藩
- ・12月17日(土) 「やさしい日本語」研修会 主催・場所：淀川勤労者厚生協会
参加人数：30人 担当：オリガ、アイン

【翻訳】

- ・見積書7件
- ・請負6件

IV SIFA賛助会員

協会の事業への理解と支援を得るために、令和3年度活動報告書を作成しました。

	令和4年度	令和3年度
個人会員	595名(598口)	438名(438口)
外国人会員	※個人会員として登録	124名(124口)
法人会員	9法人(9口)	12法人(12口)
合計	(607口)	(574口)

V その他

【参加・協力】

- ・NATS 多文化共生担当者会議

日時： 5月26日(木) 14:00~16:00

7月4日(月) 15:00~16:00

8月29日(月) 10:30~11:30

9月22日(木) 13:00~14:30

10月27日(木) 14:00~16:00 NATS 共催 法の日週間記念講座開催

1月19日(木) 10:30~12:00

- ・吹田市多文化共生ワンストップ相談センターオープン記念 法の日週間記念市民講座
 テーマ：「外国人の子どもの学習権」
 日時：10月27日(木) 14:00～16:00
 場所：吹田市立千里市民センター大ホール
 講師：夏目麻央(弁護士)
 参加者：42人
 主催：吹田市・(公財)吹田市国際交流協会
 共催：西宮市・尼崎市・豊中市(NATS)
 (公財)西宮市国際交流協会・尼崎市国際交流協会・(公財)とよなか国際交流協会
- ・関西大学2022年度留学生別科入学式
 日時：4月2日(土) 13:00～13:30
 日時：9月24日(土) 13:00～13:30
- ・関西大学2022年度春学期留学生別科修了式
 日時：9月9日(金) 13:00～13:30
 日時：3月10日(金) 13:00～13:30
- ・2025年大阪・関西万博ラッピング列車 EXPO TRAIN 2025 大阪モノレール号イメージソング「We are」プロジェクト
 日時：10月31日(月) 19:00～21:00
 参加者：12人
 主催：株式会社大阪モノレール

【後援】

- ・事業名：ワールドキャンパス吹田訪問事業
 主催団体：吹田国際隣人グループ SING
 開催日：7月7日(木)～7月14日(木)
- ・事業名：第22回2022多民族共生人権研究集会
 主催団体：第22回2022多民族共生人権研究集会実行委員会
 開催日：7月29日(金) 10:30～16:30
- ・事業名：講演会とワークショップ「7カ国語で話そう」
 主催団体：一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ
 開催日：11月13日(日)～12月4日(日)
- ・事業名：(公財)箕面市国際交流協会 創立30周年記念事業
 主催団体：(公財)箕面市国際交流協会
 開催日：2月23日(木) 13:30～16:00

【調査研究協力】

- ・多文化共生と国際交流について(青森県八戸市)
- ・令和4年度日本語教育実態調査への協力(文化庁国語課)
- ・SDGs探求学習「Take Action Project」への協力(箕面自由学園高等学校)
- ・「在日中国課程における子供の言語習得―「漢字」の教え方を中心にして」研究倫理審

査への協力(大阪大学人間科学研究科・共生学系グローバル共生学講座(多文化共生学)・博士前期課程2年生)

- ・「地域における日本語学習支援に関して」の研究への協力(放送大学大学院 文化科学研究科修士課程1年生)
- ・大阪大学未来共生プログラムへの協力(大阪大学人間科学研究科 未来共生イノベーター博士課程プログラム 博士前期課程1年生)

【研修参加】

- ・「対人支援の基本について」
日時：7月14日(木) 9:30~11:30
主催：大阪府地域国際化協会・国際交流協会ネットワークおおさか
- ・「外国人施策・入管の動向、それに向けた弁護士会等の取り組みについて～最近の著名事件等の影響も踏まえて～」
日時：11月15日(火) 13:30~16:30
主催：大阪府地域国際化協会・国際交流協会ネットワークおおさか
- ・「2022年度 やさしい日本語ネットワーク会議」
日時：11月24日(木) 14:00~16:00
主催：(公財)大阪府国際交流財団
- ・「難民・避難民の受け入れと支援の現場から～私たちにできること～」
日時：2月7日(火) 13:30~17:00
主催：大阪府地域国際化協会・国際交流協会ネットワークおおさか

【職員研修】

- ・「事業計画の作成と事業評価について」
日時：5月20日(金) 14:00~15:00
講師：松村幸裕子(NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝コーディネーター)
- ・「令和4年度多文化共生実践コース」
日時：7月6日(水)~9月16日(金)
主催：(公財)全国市町村研修財団
- ・「令和4年度多様性社会を生きる「次世代」の育成～外国につながりを持つ子どもたちへの学習支援～」
日時：7月25日(月)~7月29日(金)
主催：(公財)全国市町村研修財団
- ・「効果的なイベントをつくる - 企画から周知まで -」
日時：8月17日(水) 10:00~12:00、13:00~15:00
講師：松村直子(日本ミクニヤ株式会社)
- ・「NATS 多文化共生担当者研修」
日時：2月2日(木) 15:00~17:00
主催：尼崎市役所 総合政策局 ダイバーシティ推進課
講師：北原速男(入管取次申請行政書士)

【理事会・評議員会など】

ア 理事会・評議員会

- ・ 第1回通常理事会：5月9日（月）
 - 議案第1号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告及び決算書の承認について
 - 議案第2号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算書（案）の承認について
 - 議案第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事候補者の推薦について
 - 議案第4号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会定時評議員会の招集について
 - 報告第1号 理事長職務執行状況報告

- ・ 定時評議員会：5月24日（火）
 - 議案第1号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会決算書（案）の承認について
 - 議案第2号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算書（案）の承認について
 - 議案第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事1名の辞任に伴う補欠理事の選任について
 - 報告第1号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告について

- ・ 第1回臨時理事会：10月11日（火）
 - 議案第5号 協会運営検討ワーキンググループの設置（案）及び設置要綱（案）について
 - 報告第2号 令和5年度の事業再編と予算編成等に関する報告

- ・ 第2回臨時理事会：1月31日（火）
 - 議案第6号 賛助会員規程改訂（案）について
 - 議案第7号 寄付金取扱規程（案）について
 - 議案第8号 金融機関からの借入について
 - 報告第3号 令和5年度吹田市の委託事業等（案）および予算（案）について
 - 報告第4号 第1回および第2回の協会運営検討ワーキンググループの議事要旨について

- ・ 第2回通常理事会：3月16日（木）
 - 議案第9号 令和5年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書（案）について
 - 議案第10号 令和5年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支予算書（案）について
 - 議案第11号 令和5年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて

- 議案第 12 号 就業規則の制定について
- 議案第 13 号 事務局長の任免について
- 議案第 14 号 令和 4 年度公益財団法人吹田市国際交流協会第 1 回臨時評議員会の招集について
- 報告第 5 号 クラウドファンディングの実施と中間報告について
- 報告第 6 号 理事長及び副理事長職務執行状況報告について

- ・ 第 1 回臨時評議員会： 3 月 27 日（月）
 - 議案第 4 号 令和 5 年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書(案)について
 - 議案第 5 号 令和 5 年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支予算書(案)について
 - 議案第 6 号 令和 5 年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて
 - 報告第 2 号 公益財団法人吹田市国際交流協会事務局長の任免について
 - 報告第 3 号 就業規則の制定について
 - 報告第 4 号 クラウドファンディングの実施と中間報告及び金融機関からの借入の見送りについて
 - 報告第 5 号 吹田市多文化共生ワンストップセンター事業報告

イ. 協会運営検討ワーキンググループ会議

- ・ 第 1 回： 12 月 9 日（金） 10:00～12:00
検討案件（報告、今後の日程等）
- ・ 第 2 回： 1 月 16 日（月） 10:00～12:00
検討案件（決算見込みについて、借入について、人員配置について等）
- ・ 第 3 回： 2 月 6 日（月） 13:30～15:00
検討案件：（今後の検討内容について等）

ウ. クラウドファンディングの実施

- 寄付名称： SIFA 存続のための緊急支援
- 実施期間： 2 月 21 日～3 月 31 日
- 寄付方法： (1) WEB（クレジットカード・銀行振込）
(2) 窓口（現金・銀行振込）
- 寄付状況： 寄付件数 137 件、寄付金額 1,756,560 円
- 意見交換会： クラウドファンディングを実施することになった背景、2023 年度に向けて今年度中止になった多文化まつりの実施方法や他の事業について、今後の協会の活動について意見交換しました。
- 開催日： 2 月 27 日（月） 14:30 - 15:30 （SIFA 601）
3 月 12 日（日） 10:00 - 11:00 （SIFA 教室 1）
3 月 25 日（土） 17:00 - 18:00 （SIFA 教室 1）

エ. 公認会計士による決算監査の実施

- ・ 令和 4 年度決算監査： 4 月 27 日（木）

オ. 監事監査の実施

- ・令和4年度決算監査：4月28日（金）、29日（土）

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月
公益財団法人 吹田市国際交流協会

令和 4 年 度
(2022年度)

決 算 書
(財 務 諸 表 等)

公益財団法人 吹田市国際交流協会

(37)

87

貸借対照表

令和5年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,452,118	14,904,018	△1,451,900
未収金	410,968	82,000	328,968
前払金	101,940	28,749	73,191
立替金	87,813	0	87,813
流動資産合計	14,052,839	15,014,767	△961,928
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	199,743,845	199,705,453	38,392
定期預金	256,155	294,547	△38,392
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
民間助成金事業積立資産	0	180,937	△180,937
特定資産合計	0	180,937	△180,937
固定資産合計	200,000,000	200,180,937	△180,937
資産合計	214,052,839	215,195,704	△1,142,865
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,000,944	4,594,062	406,882
前受金	7,844,700	7,685,650	159,050
預り金	526,924	296,431	230,493
賞与引当金	498,355	480,183	18,172
流動負債合計	13,870,923	13,056,326	814,597
負債合計	13,870,923	13,056,326	814,597
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
吹田市出捐金	200,000,000	200,000,000	0
補助金等	0	180,937	△180,937
指定正味財産合計	200,000,000	200,180,937	△180,937
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(180,937)	(△180,937)
2. 一般正味財産	181,916	1,958,441	△1,776,525
正味財産合計	200,181,916	202,139,378	△1,957,462
負債及び正味財産合計	214,052,839	215,195,704	△1,142,865

正味財産増減計算書

令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益			
基本財産受取利息	394,392	394,392	0
事業収益			
語学教室事業収益	21,182,800	17,684,193	3,498,607
受託事業収益	14,135,324	2,504,480	11,630,844
その他の事業収益	363,060	321,200	41,860
受取会費			
受取賛助会員会費	1,288,000	1,244,000	44,000
受取補助金等			
受取吹田市補助金	8,000,000	8,000,000	0
受取民間助成金	0	319,063	△319,063
受取国庫助成金	700,000	560,228	139,772
受取補助金振替額	180,937	0	180,937
受取負担金			
受取負担金	201,200	225,000	△23,800
受取寄付金			
受取寄付金	1,756,560	41,994	1,714,566
雑収益			
受取利息	185	237	△52
雑収益	712,172	520,142	192,030
経常収益計	48,914,630	31,814,929	17,099,701
事業費			
給料手当	280,336	3,877,774	△3,597,438
賃金	7,815,967	8,673,185	△857,218
臨時雇賃金	7,905,656	5,784,694	2,120,962
賞与引当金繰入額	398,684	451,174	△52,490
法定福利費	1,673,721	2,279,703	△605,982
福利厚生費	300,253	561,996	△261,743
会議費	0	0	0
旅費交通費	1,526,720	1,123,802	402,918
通信運搬費	2,341,928	678,624	1,663,304
消耗什器備品費	2,842,126	20,460	2,821,666
消耗品費	1,784,335	495,039	1,289,296
修繕費	365,640	114,400	251,240
印刷製本費	926,732	510,682	416,050
水道光熱費	782,761	589,424	193,337
賃借料	578,090	2,081,138	△1,503,048
使用料	243,800	234,400	9,400
保険料	142,080	260,570	△118,490
報償費	12,380,518	9,993,100	2,387,418
諸謝金	1,450,816	863,900	586,916
租税公課	1,661,500	956,400	705,100
支払負担金	31,900	694,877	△662,977

正味財産増減計算書

令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
委託費	165,660	1,122,000	△956,340
支払手数料	169,728	151,226	18,502
管理費			
給料手当	0	204,094	△204,094
賃金	848,440	458,177	390,263
臨時雇賃金	1,236,301	0	1,236,301
賞与引当金繰入額	99,671	29,009	70,662
法定福利費	41,583	120,006	△78,423
福利厚生費	33,711	23,778	9,933
会議費	5,531	2,000	3,531
旅費交通費	130,002	43,381	86,621
通信運搬費	59,866	45,670	14,196
消耗品費	113,696	25,599	88,097
修繕費	531,256	28,600	502,656
印刷製本費	19,689	25,853	△6,164
水道光熱費	86,973	65,492	21,481
賃借料	148,580	402,886	△254,306
使用料	16,700	0	16,700
諸謝金	1,417,642	291,100	1,126,542
租税公課	3,700	0	3,700
支払負担金	46,900	671,797	△624,897
支払手数料	172,491	95,458	77,033
雑費	289,655	0	289,655
経常費用計	51,071,338	44,051,468	7,019,870
当期経常増減額	△2,156,708	△12,236,539	10,079,831
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
賞与引当金戻入額	380,183	0	380,183
経常外収益計	380,183	0	380,183
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	380,183	0	380,183
当期一般正味財産増減額	△1,776,525	△12,236,539	10,460,014
一般正味財産期首残高	1,958,441	14,194,980	△12,236,539
一般正味財産期末残高	181,916	1,958,441	△1,776,525
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	394,392	394,392	0
受取補助金等			
受取民間助成金	0	500,000	△500,000
一般正味財産への振替	△575,329	△713,455	138,126
当期指定正味財産増減額	△180,937	180,937	△361,874
指定正味財産期首残高	200,180,937	200,000,000	180,937
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,180,937	△180,937
III 正味財産期末残高	200,181,916	202,139,378	△1,957,462

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	全体
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益			
基本財産受取利息	0	394,392	394,392
事業収益			
語学教室事業収益	17,027,008	4,155,792	21,182,800
受託事業収益	14,135,324	0	14,135,324
その他の事業収益	363,060	0	363,060
受取会費			
受取賛助会員会費	644,000	644,000	1,288,000
受取補助金等			
受取吹田市補助金	8,000,000	0	8,000,000
受取民間助成金	0	0	0
受取国庫助成金	630,000	70,000	700,000
受取補助金振替額	180,937	0	180,937
受取負担金			
受取負担金	201,200	0	201,200
受取寄付金			
受取寄付金	1,756,560	0	1,756,560
雑収益			
受取利息	0	185	185
雑収益	712,172	0	712,172
経常収益計	43,650,261	5,264,369	48,914,630
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	280,336	0	280,336
賃金	7,815,967	0	7,815,967
臨時雇賃金	7,905,656	0	7,905,656
賞与引当金繰入額	398,684	0	398,684
法定福利費	1,673,721	0	1,673,721
福利厚生費	300,253	0	300,253
会議費	0	0	0
旅費交通費	1,526,720	0	1,526,720
通信運搬費	2,341,928	0	2,341,928
消耗什器備品費	2,842,126	0	2,842,126
消耗品費	1,784,335	0	1,784,335
修繕費	365,640	0	365,640
印刷製本費	926,732	0	926,732
水道光熱費	782,761	0	782,761
賃借料	578,090	0	578,090
使用料	243,800	0	243,800
保険料	142,080	0	142,080
報償費	12,380,518	0	12,380,518
諸謝金	1,450,816	0	1,450,816
租税公課	1,661,500	0	1,661,500
支払負担金	31,900	0	31,900

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	全体
委託費	165,660	0	165,660
支払手数料	169,728	0	169,728
管理費			
賃金	0	848,440	848,440
臨時雇賃金	0	1,236,301	1,236,301
賞与引当金繰入額	0	99,671	99,671
法定福利費	0	41,583	41,583
福利厚生費	0	33,711	33,711
会議費	0	5,531	5,531
旅費交通費	0	130,002	130,002
通信運搬費	0	59,866	59,866
消耗品費	0	113,696	113,696
修繕費	0	531,256	531,256
印刷製本費	0	19,689	19,689
水道光熱費	0	86,973	86,973
賃借料	0	148,580	148,580
使用料	0	16,700	16,700
諸謝金	0	1,417,642	1,417,642
租税公課	0	3,700	3,700
支払負担金	0	46,900	46,900
支払手数料	0	172,491	172,491
雑費	0	289,655	289,655
経常費用計	45,768,951	5,302,387	51,071,338
当期経常増減額	△2,118,690	△38,018	△2,156,708
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
賞与引当金戻入額	342,165	38,018	380,183
経常外収益計	342,165	38,018	380,183
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	342,165	38,018	380,183
当期一般正味財産増減額	△1,776,525	0	△1,776,525
一般正味財産期首残高	-	-	1,958,441
一般正味財産期末残高	-	-	181,916
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	394,392	394,392
受取補助金等			
受取民間助成金	0	0	0
一般正味財産への振替	△180,937	△394,392	△575,329
当期指定正味財産増減額	△180,937	0	△180,937
指定正味財産期首残高	-	-	200,180,937
指定正味財産期末残高	-	-	200,000,000
III 正味財産期末残高	-	-	200,181,916

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

公益法人会計基準(平成 20 年 4 月 11 日、平成 21 年 10 月 16 日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券(基本財産)・・・償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	199,705,453	38,392	0	199,743,845
定期預金	294,547	0	38,392	256,155
小計	200,000,000	38,392	38,392	200,000,000
特定資産				
民間助成金事業積立資産	180,937	0	180,937	0
小計	180,937	0	180,937	0
合計	200,180,937	38,392	219,329	200,000,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	199,743,845	(199,743,845)	(0)	—
定期預金	256,155	(256,155)	(0)	—
合 計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	0

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第455回大阪府公募公債	99,762,995	97,881,900	△1,881,095
第14回北海道公募公債	99,980,850	100,270,700	289,850
合 計	199,743,845	198,152,600	△1,591,245

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
吹田市国際交流協会 事業補助金	吹田市	0	8,000,000	8,000,000	0	—
多文化共生社会にお けるこどもの命を守 るための防災事業	宗教法 人真如 苑	180,937	0	180,937	0	—
中小企業最低賃金引 上げ支援対策費補助 金(業務改善助成金)	大阪労 働局	0	700,000	700,000	0	—
合 計		180,937	8,700,000	8,880,937	0	—

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	394,392
民間助成金	180,937
事業積立資産取崩額	
合 計	575,329

7 その他

(1) 退職給付関係

中小企業退職金共済制度を採用している。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	199,705,453	38,392	0	199,743,845
	定期預金	294,547	0	38,392	256,155
	基本財産計	200,000,000	38,392	38,392	200,000,000
特定資産	民間助成金事業積立資産	180,937	0	180,937	0
	特定資産計	180,937	0	180,937	0

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	480,183	498,355	100,000	380,183	498,355

財産目録

令和5年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金預金	現金	492,690		
		普通預金			
		りそな銀行・千里支店	運転資金として	9,358,821	
		池田泉州銀行・南千里支店	運転資金として	219,382	
		ゆうちょ銀行	振替口座として	282,848	
		りそな銀行・千里支店	寄付金受取口座として	959,985	
		定期預金			
		りそな銀行・千里支店	運転資金として	1,838,392	
		池田泉州銀行・南千里支店	運転資金として	300,000	
		未収金	事業費に係る未収額	クラウドファンディング寄付金、AIG保険令和4年度保険料精算等に係る未収額	410,968
前払金	事業費に係る前払額	ボランティア活動支援、コミュニティ通訳同行事業等に係る前払額	101,940		
立替金	管理費に係る立替額	職員の給与に係る社会保険料立替額	87,813		
流動資産合計			14,052,839		
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	第455回 大阪府公募公債		
			野村証券・梅田支店	運用益を管理費の財源として使用	99,762,995
			第14回 北海道公募公債		
野村証券・梅田支店	運用益を管理費の財源として使用	99,980,850			
定期預金	りそな銀行・千里支店	運用益を管理費の財源として使用	256,155		
固定資産合計			200,000,000		
資産合計			214,052,839		
(流動負債)	未払金	事業費、管理費に係る未払額	5,000,944		
		令和5年3月分給与講師料	2,337,582		
		令和4年度消費税等	1,162,900		
		令和4年度千里NTP光熱水費	869,734		
		その他	630,728		
		前受金	事業費に係る前受額	7,844,700	
			令和5年度 語学教室受講料	6,601,200	
			令和5年度 賛助会費	1,243,000	
			その他	500	
		預り金	健康保険料、厚生年金保険料	職員の給与に係る健康保険料及び厚生年金保険料	526,924
賞与引当金	職員に対するもの	職員に対する夏期手当の支払いに備えたもの	498,355		
流動負債合計			13,870,923		
負債合計			13,870,923		
正味財産			200,181,916		

監査報告書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

理事長 近藤 佐知彦 殿

作成日 令和5年4月27日

事務所 大阪市北区天神橋2-5-25
若杉グランドビル本館5F

公認会計士

佃 隆太

1. 監査の概要

私は、公益財団法人吹田市国際交流協会の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）における会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査を行った。

2. 監査の意見

監査の結果、貴法人の採用する会計処理の原則及び手続きは、公益法人会計基準に準拠し、かつ前事業年度と同一の基準に従って継続して適用されており、また計算書類の表示方法も適正に表示されていた。

よって私は、上記の計算書類が公益財団法人吹田市国際交流協会の正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産の状態を正しく表示しているものと認める。

3. 利害関係

公益財団法人吹田市国際交流協会と私との間には、公認会計士法上記載すべき利害関係はありません。

以上

監査報告書

令和5年4月28日

公益財団法人 吹田市国際交流協会
理事長 近藤 佐知彦 殿

監事 大枝 正人

監事 瀬川 昇

私は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

報告第4号

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況について

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

(1)

令和5年度事業計画の実施にあたっては、地域における新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によって、事業を部分的に停止又は、インターネットの活用等によるweb会議及びリモート対応等の手段や方法等を検討し、実施可能なものを適切に行います。

1 介護老人保健施設事業

吹田市から指定管理者として委任を受けた事業として、施設サービス（長期入所）、短期入所療養介護及び通所リハビリテーション並びに訪問リハビリテーションの居宅サービス（介護予防サービスを含む。）を行います。また、これら事業に付随する介護保険に関する事業も行います。

(1) 基本方針

吹田市介護老人保健施設の基本理念のもと、次の目標を掲げ、利用者に心のこもった温かい看護・介護、一人ひとりの状態にあわせた機能訓練等を行い、在宅復帰・在宅生活を支援します。

基本理念	<ul style="list-style-type: none"> 一、利用者の意思、人格を尊重し、自立した生活を営むことができるよう支援します。 一、利用者の身体能力、精神能力を高めるようなケア、リハビリに積極的に取り組みます。 一、利用者の視点に立ったサービスに努め、地域に開かれた施設を目指します。
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 一、利用者の課題とニーズを的確に捉え、ケアプランの充実を図り、きめ細かい良質なサービスの提供を行います。 一、在宅復帰率の更なる向上を目指します。 一、地域の介護保険事業者やボランティア等との連携強化に努め、地域包括ケアシステムの一翼を担い、在宅生活支援の充実を図ります。

(2) 事業種別

次に掲げる事業を行います。

事業種別	内 容
施設サービス (長期入所)	利用者個々の心身の状態に応じた施設サービス計画に基づき、入所者の要介護状態の軽減又は悪化の防止に資するよう、医師・看護師・介護職員・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・介護支援専門員・支援相談員は、日常生活全般の看護・介護やリハビリテーション・その他必要な医療等を行い、在宅復帰に向けて支援します。
短期入所療養介護 (介護予防サービスを含む。)	居宅で介護を受けている要介護者や要支援者の介護者が冠婚葬祭や介護疲れ等で一時的に介護ができなくなった場合に、居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づく期間の入所受入れにより支援します。
通所リハビリテーション (介護予防サービスを含む。)	居宅で介護を受けている要介護者や要支援者が自立した日常生活を営むことができるよう居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づく、機能訓練、入浴、食事、レクリエーション等を行い、心身機能の維持回復を図ります。

事業種別	内 容
訪問リハビリテーション (介護予防サービスを含む。)	居宅で介護を受けている要介護者や要支援者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、理学療法、作業療法及びその他必要なリハビリテーションを居宅への訪問によって行い、利用者の心身の機能の維持回復を図ります。
要介護認定調査	市区町村からの委託による要介護等認定に必要な認定調査を行います。
主治医意見書作成	要介護等認定の申請に必要な主治医意見書を作成します。
介護認定審査会への参画	吹田市の介護認定審査会に職員を派遣します。

(3) 重点項目

項 目	内 容
新型コロナウイルス感染症の感染防止策の徹底	要介護等高齢者である利用者は重症化のリスクが高く、特に入所者の場合はクラスターが非常に起きやすい状況であることから、基本的な感染症予防対策（3密を避ける、手指及び環境消毒の実施等）の徹底を図り、万が一、クラスターが発生した場合に備えたゾーニングや適切な対応を行えるよう等の実地訓練を実施します。 また、利用者及びその御家族には面会の制限や日々の検温実施等の協力をお願いし、職員にあっては気の緩みが出ないように定期的な指導・研修を行い、施設内でクラスターが発生することがないように努め、必要なワクチン接種についても積極的に実施します。
吹田市介護老人保健施設の指定管理者の受任について	現在の指定管理者としての期間は令和5年度末までであり、次期の指定管理者の選定に係る審査等の事務が行われる予定です。このため、本事業団が引続き指定管理者として、吹田市介護老人保健施設の管理・運営を行うことができるよう、指定の申請を行います。
在宅復帰施設としての役割	介護保険制度における介護老人保健施設の役割は、積極的なリハビリテーション、適切な医療、心のこもった介護、適切な食事の提供等により、住み慣れた地域への在宅復帰を果たすこととされています。このため、脳卒中、生活不活発病（廃用症候群）、認知症等による個々の状態を的確にアセスメントし、多職種からなるチームケアを行うことで、早期に在宅復帰できるように努め、在宅復帰率60%以上を目指します。
在宅生活支援の充実	自立した在宅生活を送ることができるよう、利用者に対して良質できめ細かなサービスを提供し、他の介護・福祉サービス機関とも連携を図りながら総合的に在宅生活への支援を行います。 短期入所の利用を促進し、御家族等の介護負担の軽減に努めます。 訪問リハビリテーションを活用し、通所困難な要介護者や要支援者に対して医師の指示に基づき理学療法士又は作業療法士が自宅を訪問し、必要なリハビリテーションを実施することで、心身機能の維持回復を図り、自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

(3)

項 目	内 容
支援困難者の受入れ態勢等	<p>尿道留置カテーテル、喀痰吸引など医療的ケアを必要とする方や、病状がやや不安定で入退院を繰り返すおそれのある方、多種の内服薬を服用されている方等については、介護老人保健施設では敬遠されがちなケースではありますが、入所者の状況に応じて可能な限り受入れを行います。</p> <p>医師の指示の下、専門的知識を持った看護師や経験豊かな介護職員による適切なケアを行い、緊急時には市立吹田市民病院やその他の医療機関との連携により、安心した施設生活が送れるように努めます。また、養護者の無い利用者の受入れについても、成年後見人制度等の活用や行政・保健・医療・福祉機関との連携を図る等、公的施設の役割を十分果たせるよう努めます。</p>
医療機関との連携強化	<p>要介護状態にある利用者には、急変時対応や専門医による診察等、医療との連携は不可欠なものです。このため、市立吹田市民病院をはじめ、近隣の医療機関との連携強化を図り、安心して入所生活を送ることができるよう努めます。</p>
認知症高齢者に対するケアの充実	<p>認知症高齢者は入所による環境変化に対応できず不安定になる方も多く、対人交流や生活リズムを整えるよう、健康管理、口腔ケア、ボディケア、食事、排せつ、趣味活動の提供等を積極的に行い、その人らしい生活や残存機能を活かした介護を行います。併せて、理学療法士、作業療法士による認知症に対するリハビリテーションを実施することにより、安定した施設生活を送ることができるよう支援します。</p> <p>また、認知症施策推進大綱（令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定）が策定され、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や御家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪とする施策が推進されます。施設では、認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進、認知症予防等を積極的に行います。</p>
地域との連携	<p>介護老人保健施設は、在宅復帰を目的とする施設であり、地域との結び付きは重要です。このため、吹田市における地域ケア会議や自立支援型ケアマネジメント会議等に参画し、地域のニーズを的確に把握することで、本施設におけるサービス内容の充実を図り、地域包括ケアシステムの一翼を担います。</p> <p>また、多くのボランティアの方々には、様々な分野で継続した活動ができるよう積極的に支援します。近隣の幼稚園児や保育園児との交流、中学生による職業体験学習の受入れ、介護相談員との意見交換等を行う中で地域に開かれた施設づくりを目指します。当施設職員を各種団体が主催する講座等に講師として派遣し、高齢者介護に関する見識の向上を図り、高齢者介護等に関する知識及び技術の普及啓発に努めます。</p>

項目	内容
地域への貢献	<p>介護老人保健施設の運営にあたっては、地域への貢献を求められていることから、次の取り組みを行います。</p> <p>(ア) 認知症カフェの開催 (月 1 回)</p> <p>(イ) 回想法ボランティアの養成と活動支援 (年 1 回)</p> <p>(ウ) 住民と大和大学学生との地域交流回想法の開催 (月 1 回)</p> <p>(エ) 認知症予防等に関する出前講座の開催 (年 5 回)</p> <p>(オ) 認知症サポーターで構成するチームオレンジへの活動支援</p> <p>(カ) 百歳体操の活動支援 (週 1 回)</p> <p>(キ) 介護福祉士実務者研修への協力</p> <p>(ク) 周辺道路や片山北ふれあい公園の清掃 (毎週水曜日)</p> <p>(ケ) その他、地域への貢献となる事業の実施</p>
経営の安定化	<p>指定管理者として適切な運営をするためには、サービスの質の向上を図り、かつ、収支状況の安定化を図ることが不可欠です。効率的で適正な事業運営ができるよう、より良い施設づくりに努めます。</p>

(4) 具体的な取組

ア 計画利用者数

入所者数 (短期入所を含む)	1 日当たり平均 9 2 人以上
通所リハビリテーション利用者数	(月曜日から土曜日) 1 日当たり平均 3 2 人以上 (日曜日) 1 日当たり平均 1 2 人以上
訪問リハビリテーション利用者数	1 日 1 人以上

イ 職員配置と勤務形態の適正化

①	国の基準で定められている人員配置を基本とし、常勤職員、非常勤職員、臨時雇用員等による適正な人員配置に努めます。
②	福祉に関わる人材不足の問題がある中、様々な方法により、適切に人材を確保できるように努めます。

ウ 支援相談体制の強化

①	吹田市、市立吹田市民病院等の医療機関、居宅介護支援事業所、他の介護保険施設及び地域包括支援センター等との連携を強化し、介護等のサービス調整を円滑に行います。
②	在宅復帰超強化型施設を維持することとし、居宅におけるケアマネジャー等との連携強化、入所者及びその御家族との懇談会の開催等を図り、円滑に在宅復帰を促すことができるよう積極的に支援します。
③	施設利用に関する情報の開示に努めます。
④	入所前利用面接を利用希望者の居宅や入院中の医療機関等で行うことにより、利用希望者及びその御家族の負担軽減を図り、速やかに入所していただけるよう努めます。
⑤	虐待等がありレスパイト目的での入所利用について、市町村や介護支援専門員との連携のもとで積極的な受入れに努めます。

(5)

エ 看護、介護のサービス向上（入所）

①	利用者の心身の健康管理に努め、疾病の急性増悪や異常の早期発見を図り、必要な医療を行い、市立吹田市民病院や他の近隣医療機関との連携を図り迅速な対応に努めます。
②	吹田市歯科医師会と連携し、訪問口腔ケアを推進するとともに、嚥下体操や口腔ケアを積極的に行い、摂食、嚥下機能の向上に努めます。
③	誤嚥性肺炎を繰り返される利用者に対しては、必要に応じて歯科や耳鼻科との連携を図り嚥下評価等を行い、食事形態及び摂食方法の指導を実施する等、積極的にリスクの軽減に努めます。
④	全ての生活動作を訓練とする「生活リハビリ」を推進し、日常生活機能の維持向上を図り、在宅復帰を目指します。
⑤	入所者・御家族を対象に排せつ支援や在宅生活を支援するための講座を開催し、円滑な在宅復帰に努めます。
⑥	排せつに介護を要する入所者に対して、必要に応じた適切な介護を行っていますが、特に排せつの状態に改善又は悪化防止が見込まれる方に対しては、特別な支援を行います。
⑦	医療ニーズの高い利用者と療養ニーズの高い利用者との住み分けを促進し、利用者個々に応じたケアを提供できるように努めます。
⑧	利用者の意思を尊重しながら、レクリエーション、クラブ活動及び行事への参加を促進し、内容の充実を図るとともに、個別ケアを推進し、生活の質の向上に努めます。
⑨	利用者一人ひとりに応じた目標と支援計画を策定し、課題の把握と援助の方法について職員間での周知を図り、適切なチームケアを行います。
⑩	認知症利用者の精神的、身体的な状況を理解し、他の利用者との良い関係作りを図ることや落ち着ける空間、居心地の良い環境を整えることにより、安心した入所生活を送れるよう支援します。
⑪	リスクマネジメントを充実させ、転倒等による骨折の予防に努めることで、生活不活発病（廃用症候群）の減少を図ります。
⑫	体圧分散マットの活用や細かな体位交換の実施等により、褥瘡の発生予防に努めます。
⑬	身体拘束は、原則として行いません。ただし、緊急・やむを得ない場合は、十分に検討を行い、御家族に説明し、同意を得た場合のみ実施します。
⑭	寄せられた苦情や要望に対しては、誠意を持って迅速に対応します。
⑮	常日頃より安全に配慮し、インフルエンザやノロウイルス等の感染症予防対策に努め、感染者が発生した場合には施設内での感染拡大を抑制し、重篤化を防ぐため様々な手段を講じます。
⑯	90歳以上の利用者も多数おられ、加齢とともに食事摂取量の減退等がみられる方が増加しています。このようなケースに対して御本人と御家族の希望を聴取し、適切なアセスメントを行ったうえで、看取り可能と判断した場合には施設での看取りを実施します。

オ 看護、介護のサービス向上（通所）

①	利用者及びその御家族並びに居宅におけるケアマネジャー等と施設の医師、看護師、介護職員、理学・作業療法士等によって開催するリハビリテーション会議によって、日常生活動作等の課題を的確に把握し、具体的なリハビリテーション計画の策定を行い、サービス提供を行います。
②	短時間での利用によりリハビリテーションのみを重点的にを行うことを希望される方に対しては、2時間から3時間程度の利用を積極的に推進し、利用促進に努めます。
③	利用者個々に応じたクラブ活動や趣味活動を積極的に行い、行事の充実を図ります。
④	利用者個々の心身の状態に応じて、食事、入浴、排せつ等の必要な援助を行い、残存機能の維持・向上に努めます。また、屋外散歩や集団体操等にも積極的に参加できるよう支援し、リハビリスタッフによる専門的な機能訓練だけではなく、看護・介護職員においても生活リハビリを行います。
⑤	口腔ケアの充実を図り、嚥下体操の実施等を積極的に行います。
⑥	御家族や居宅介護支援事業者、他の介護保険サービス事業者と積極的に連携を図り、利用者の健康管理や自立した在宅生活を支援します。特に、健康や家族状況等の変化には、居宅介護支援事業者との迅速な情報交換により、早期対応に努めます。
⑦	介護予防に該当する利用者については、利用者自らが継続した健康管理を行い、身体機能の維持・向上が図れるよう、多職種協働で積極的に支援します。また、地域包括支援センター等との協力体制をより一層深めます。
⑧	安全に配慮した環境を整え、安心して過ごせる生活空間づくりに努めます。また、利用者とともに季節を感じられるような飾り付けを行い、明るく楽しい雰囲気作りにも努めます。
⑨	入所部門と通所部門の連携を強化し、利用者の急変に備える等、緊急時における対応の充実を図ります。また、市立吹田市民病院や他の近隣医療機関との連携を図り、迅速な対応に努めます。
⑩	毎月10日、20日、30日には桃の湯やよもぎの湯といった季節の湯を取り入れ、入浴を楽しんでいただきます。

カ リハビリテーション機能の充実

①	医師、看護師、介護職員等との連携を図り、入所者、通所者それぞれ個別に作成されるリハビリテーション計画書に基づき、週3回の個別訓練と必要に応じた集団訓練を実施します。
②	入所日から3か月間は週3回以上の個別訓練を行う短期集中リハビリテーションを積極的に実施します。
③	入所における認知症高齢者に対しては、入所日から3か月間、認知症短期集中リハビリテーションを積極的に実施します。また、知的活性化訓練として、小集団活動を用いた回想法、園芸療法、調理療法等も併せて行います。
④	通所利用者に対しては、利用開始から3か月間は、積極的なリハビリテーションの必要な方に対し、短期集中リハビリテーション及び認知症短期集中リハビリテーションを実施します。

⑤	在宅復帰が円滑にできるよう、入所時、退所前・後訪問を実施し、居宅ケアマネジャーとの連携を図り生活環境の整備等を行います。
⑥	通所利用開始時から 1 か月以内に訪問指導を行い、在宅生活の状況を把握することでリハビリテーションの目標を明確にし、継続した在宅支援を実施します。また、必要なリハビリテーションを行い、利用者の社会参加等も支援します。
⑦	訪問リハビリテーション利用者に対しては、その者の自宅において必要な検査、リハビリテーションを実施し、心身機能の維持回復を図ります。
⑧	要支援高齢者に対して、地域包括支援センターとの連携を図りながら、機能向上を目的とした訓練を実施します。

キ 食事提供体制の強化

①	ミキサー、刻み、あんかけ等、摂取しやすい食事形態により、嚥下困難者に対してきめ細かな対応を行います。また、可能な限り利用者への個別対応を行います。
②	低栄養状態にある方や体重減少がみられる方に対して、主食量の増量、摂取量を増やすよう嗜好を考慮した対応、効率よく栄養補給できるものの提供等、栄養ケアの充実を図ります。
③	発熱等の体調不良により、食欲が一時的に低下し、通常の献立内容では対応できない方に対しては、高栄養で摂取しやすいもの（回復食）を提供します。
④	にぎり寿司やお好み焼き等の実演を伴ったイベント食や行事食等の充実を図ります。
⑤	適時、適温で提供するよう徹底します。
⑥	調理クラブでは季節感のあるものや栄養知識が身に付く簡単なメニューを取り入れる等、内容を充実します。

(5) 行事計画

次の行事を実施します。

実施月	行事名
4月	演芸会
5月	菖蒲湯
6月	開設記念行事
7月	七夕
9月	吹老祭
10月	文化展
11月	文化展
12月	もちつき ゆず湯 クリスマス
1月	新年会
2月	節分
3月	ひな祭り

(8)

(6) 地域との交流

項 目	内 容
各種市民団体、行政機関等主催の見学会等の受入れ	地区福祉委員、民生委員等の市民団体、他市町村、他の介護保険事業所等からの見学を積極的に受け入れます。
中学校生徒の介護体験・ボランティアの受入れ	近隣地域の中学校生徒の介護体験ボランティアを1回につき2日間程度の期間で受入れを行います。
幼稚園・保育園児との交流	近隣幼稚園や保育園の園児とゲームや歌、体操などのレクリエーションを通じて交流を図ります。
ボランティアの受入れ	レクリエーション、行事、コーラスクラブなどのクラブ活動に対する各種団体ボランティアの受入れを行い、また、高齢者福祉に関心のある方や介護支援サポーター等の個人ボランティアの受入れも積極的に行い、きめ細かいサービスが提供できるように努めます。
介護相談員の受入れ	月2回程度、介護相談員の受入れを行い、サービス向上に資するよう努めます。

2 その他の事業

定款第4条に掲げる次の事業を積極的に行います。

(1) 高齢者等の保健、医療に関する調査研究事業

項 目	内 容
施設内研修	施設職員による勉強会や外部講師を招いた研修会を月例で開催し、知識の蓄積と技術の習得によって更なる資質向上に努めます。
外部研修	全国老人保健施設協会、大阪介護老人保健施設協会、その他専門学会等が開催する研修会等に職員を派遣し、職員の資質向上を図ります。 研修に参加した職員は、他の職員に対して伝達研修を実施し、知識・技術の習得によって、より良質なサービス提供ができるように努めます。

(2) 高齢者等の保健、福祉に関する事業

項 目	内 容
地域における新型コロナウイルス感染症への対応	介護者が陽性となり介護者不在となった要介護高齢者に対して必要なケアを実施するため、吹田市及び吹田市介護事業者連絡会と協力し、適切なサービスが提供できるよう相談窓口となってサービス調整を行い、支援します。
ボランティア研修会	施設で活動されているボランティアに対する研修会及びボランティア相互や施設職員との意見交換会を行い、ボランティア活動を支援します。
地域支援講座	近隣地域の高齢者等を対象として、回想法を取り入れた講座を地区公民館等と共催して開催することで、介護予防、閉じこもり予防につながるよう支援します。

(9)

項 目	内 容
認知症支援啓発事業の実施	市民を対象にした認知症予防などの講座開催、施設や地域で活動していただける回想法ボランティアの養成講座やキャラバンメイト活動として認知症サポーター養成講座の実施等、認知症の予防や支援活動に積極的に協力します。
認知症カフェの開催	認知症高齢者及びその御家族に対し、活動できる場の提供や介護相談等の支援を行います。また、片山・岸部ブロック介護者支援の会で開催する認知症カフェにも協力します。
地域交流回想法の開催	本施設で養成した回想法ボランティアの地域活動として、近隣地区在住の高齢者を対象とし、大和大学学生の協力を得て、参加者同士・世代間交流を目的とした、地域交流回想法を開催します。
百歳体操の実施	近隣地域の住民と共催して百歳体操を実施します。

(3) 施設での教育・実習事業

実習生・介護職員初任者研修受講者等を受入れ、看護、介護、機能訓練等の専門職員による知識、技能の習得等を行い、人材育成のための指導を行います。

項 目	学校名
看護実習	大阪公立大学 千里金蘭大学 梅花大学
理学療法士実習	大阪保健医療大学 大和大学
作業療法士実習	大阪公立大学 大和大学
介護福祉士実習	大阪人間科学大学
社会福祉体験	大阪歯科大学
介護職員初任者研修のための介護実習	新大阪歯科衛生士専門学校

(4) その他の事業

その他の事業として、次に掲げる事業を行います。

①	自助具、補装具等の展示販売事業
②	インフルエンザワクチン予防接種
③	肺炎球菌ワクチン予防接種
④	新型コロナワクチン予防接種
⑤	その他、理事長が必要と認める事業

令和5年度（2023年度） 収入支出の予算

令和5年度 収入支出予算は、次に定めるところによる。

（収入支出の予算）

第1条 収入支出予算は、収入 597,402,520 円、支出の部 586,935,163 円と定める。

2 収入支出の予算の勘定科目の区分及び当該区分ごとの金額は「第1表 収入支出の予算」による。

第1表 収入支出の予算

収 支 予 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	400,000	400,000	0
基本財産受取利息	400,000	400,000	0
事業収益	596,882,520	573,482,416	23,400,104
介護老人保健施設収益	461,212,731	442,889,465	18,323,266
短期入所療養介護収益	25,308,920	24,471,490	837,430
通所リハビリテーション収益	107,541,921	103,302,513	4,239,408
訪問リハビリテーション収益	2,264,948	2,264,948	0
自主事業収益	554,000	554,000	0
受取補助金等	10,000	10,000	0
受取補助金等	10,000	10,000	0
受取寄付金	10,000	10,000	0
受取寄付金	10,000	10,000	0
雑収益	100,000	100,000	0
受取利息	10,000	10,000	0
雑収益	90,000	90,000	0
経常収益計	597,402,520	574,002,416	23,400,104
(2) 経常費用			
事業費	585,835,763	572,737,492	13,098,271
常勤役員報酬	11,654,000	11,949,000	△ 295,000
給料手当	210,287,161	211,679,026	△ 1,391,865
非常勤職員報酬	12,202,567	6,360,755	5,841,812
臨時雇賃金	75,507,424	74,357,332	1,150,092
賞与引当金繰入額	12,280,344	16,188,757	△ 3,908,413
退職給付費用	15,479,129	13,058,874	2,420,255
法定福利費	46,901,410	46,676,656	224,754
福利厚生費	1,737,000	1,737,000	0
旅費	148,000	148,000	0
会議費	10,000	10,000	0
通信運搬費	1,182,881	1,182,881	0
消耗什器備品費	400,000	400,000	0
消耗品費	19,543,095	19,543,095	0
販売物品仕入費	100,000	100,000	0
委託費	112,380,397	109,711,241	2,669,156
修繕費	1,000,000	1,000,000	0
印刷製本費	396,000	396,000	0
燃料費	1,716,000	1,452,000	264,000
光熱水費	46,569,600	41,184,000	5,385,600
賃借料	8,000,105	7,262,225	737,880
手数料	1,111,000	1,111,000	0

(12)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
保険料	679,550	679,550	0
負担金	368,000	368,000	0
研修費	289,600	289,600	0
広告料	50,000	50,000	0
租税公課	442,500	442,500	0
寄付金	5,400,000	5,400,000	0
管理費	1,099,400	1,099,400	0
役員等報酬	380,400	380,400	0
福利厚生費	50,000	50,000	0
会議費	20,000	20,000	0
委託費	519,000	519,000	0
広告料	20,000	20,000	0
租税公課	100,000	100,000	0
雑費	10,000	10,000	0
経常費用計	586,935,163	573,836,892	13,098,271
評価損益等調整前当期経常増減額	10,467,357	165,524	10,301,833
当期経常増減額	10,467,357	165,524	10,301,833
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	10,467,357	165,524	10,301,833
一般正味財産期首残高	126,585,324	126,419,800	165,524
一般正味財産期末残高	137,052,681	126,585,324	10,467,357
II 指定正味財産の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	137,052,681	126,585,324	10,467,357

令和4年度（2022年度）一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団事業報告

1 介護老人保健施設事業

吹田市から指定管理者として委任を受けた事業として、施設サービス（長期入所）、短期入所療養介護、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の事業を行いました。

(1) 施設サービス（長期入所）

利用者個々の心身の状態に応じた施設サービス計画に基づき、入所者の要介護状態の軽減又は悪化の防止に資するよう、医師・看護師・介護職員・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・介護支援専門員・支援相談員等は、日常生活全般の看護・介護やリハビリテーション・その他必要な医療を行い、また、季節を感じさせる行事等を行いました。

ア 入退所等の状況

区 分	令和4年度	令和3年度
入所者数	123 人	117 人
退所者数	126 人	116 人
延べ在所者数	30,491 人	30,950 人
平均在所日数	248.9 日	236.5 日
1日平均在所者数	83.5 人	84.8 人
平均要介護度	2.94	2.84

イ 退所者の状況

退 所 先	令和4年度		令和3年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
家庭	44	34.9	45	38.8
医療機関	58	46.0	52	44.8
介護老人保健施設	1	0.8	0	0.0
特別養護老人ホーム	13	10.3	14	12.1
その他	2	1.6	3	2.6
死亡（看取り含む）	8	6.4	2	1.7
合計	126	100.0	116	100.0

ウ 介護報酬算定要件における在宅復帰の状況

月	退所者数(人)	うち在宅退所者数(人)	在宅復帰率(%)
4月	12	5	41.7
5月	7	3	42.9
6月	14	3	21.4
7月	13	1	7.7
8月	9	2	22.2
9月	6	1	16.7
10月	13	2	15.4
11月	6	1	16.7
12月	7	1	14.2
1月	9	1	11.1
2月	8	3	37.5
3月	10	3	30.0
合計	114	26	22.8

(14)

※退所者数には死亡及び入院後7日以内に再入所した退所者は含みません。

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により在宅復帰率に低下がみられますが、入退所の一部制限措置の届け出を行っているため、在宅復帰超強化型施設の取扱いは継続しています。

エ 特別なケアを要する利用者数

項目	人数(人)
膀胱留置カテーテル	13
喀痰吸引	12
胃瘻	3

オ 所定疾患施設療養費の算定状況

疾患名	件数(件)	治療日数(日)	処置内容
尿路感染症	25	131	血液・尿検査、抗生剤(点滴・内服)投与、点滴による水分補給
帯状疱疹	3	17	抗生剤(内服)投与、抗炎症薬の塗布
蜂窩織炎	4	35	抗生剤(内服)投与

カ 個別対応のリハビリテーション実施状況

項目	実施実人数(人)	実施延べ人数(人)	内容
短期集中リハビリテーション	76	2,484	入所日から起算して3月以内に集中的なリハビリテーションを実施
認知症短期集中リハビリテーション	33	881	認知症である方に対し、入所日から起算して3月以内に集中的なリハビリテーションを実施

キ 訪問等実施状況

項目	実施件数(件)	内容
入所前後訪問	0	入所前後に居宅を訪問し、施設サービス計画の策定及び診療方針の決定にあたり、生活機能の具体的な改善目標を定めるとともに退所後の生活に係る支援計画を策定
退所前後訪問	10	退所後に生活する居宅を訪問し、療養上の指導を行う
退所前連携	24	居宅支援事業者と連携して退所後の居宅サービス等の利用調整を行う

ク 看取りに関する加算の算定状況

加算名	件数(件)
ターミナルケア加算	6

ケ イベント食の実施状況

月	内 容
4月	にぎり寿司、和菓子（蝶の舞）
5月	にぎり寿司、和菓子（柏餅風生和菓子・赤のカーネーション）
6月	和菓子（黄のバラ、祝いの菓）
7月	七夕そうめん、うなぎ丼、和菓子（願いの星）
8月	和菓子（夏空の花）
9月	松花堂弁当（赤飯・和菓子等）、月見膳、栗ご飯、和菓子（満月のうさぎ）
10月	にぎり寿司、和菓子（かぼちゃランタン）
11月	にぎり寿司
12月	南瓜いところ煮、クリスマスメニュー、年越しそば、ぜんざい、みたらしだんご、イチゴケーキ、和菓子（クリスマスのリース、冬柚香）
1月	お雑煮、松花堂弁当（赤飯・和菓子等）、七草粥、小豆粥、ちらし寿司
2月	巻き寿司、和菓子（梅うぐいす・バレンタインハート）、ぜんざい
3月	ちらし寿司、ひなゼリー、和菓子（男雛・女雛）、おはぎ

コ 全体行事実施状況（入所、通所フロア別 小規模実施）

実施月	行 事 名
4月	春の演芸会
7月	開設記念行事
9月	お楽しみ会（吹老祭）
12月	もちつき大会

サ 入所者の御家族支援

新型コロナウイルス感染症により面会制限を実施していることから、面会の機会が大幅に減少し、生活状況を御覧いただけないため、入所者様の普段の様子を写真に収めたお便りを送りました。

シ 施設管理関係

大阪介護老人保健施設協会から1名が15年永年勤続表彰を、3名が10年永年勤続表彰を受賞しました。

(2) 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

介護者が冠婚葬祭や介護疲れ等で介護ができなくなった場合に、居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づく期間の受入れを行いました。

ア 入退所等の状況

(ア) 短期入所療養介護

区 分	令和4年度	令和3年度
利用者数	223 人	207 人
延べ在所者数	1,223 人	1,173 人
平均在所日数	5.5 日	5.6 日
1日平均在所者数	3.4 人	3.2 人
平均要介護度	2.42	2.69

(イ) 介護予防短期入所療養介護

区 分	令和4年度	令和3年度
利用者数	1 人	0 人
延べ在所者数	10 人	0 人
平均在所日数	10 日	0 日
1日平均在所者数	0.03 人	0.00 人

※地域包括支援センターと警察との連携により被虐待者を緊急受入れしました。

イ 個別対応のリハビリテーション実施状況

項 目	実施実人数 (人)	実施延べ人数 (人)	内 容
個別リハビリテーション	50	592	個別リハビリテーション計画に基づき、リハビリテーションを実施

(3) 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づき、機能訓練、入浴、食事、レクリエーション等を行い、心身機能の維持回復を図りました。

ア 利用の状況

区 分	令和4年度	令和3年度
実利用者数	118 人	110 人
延べ利用者数 (うち介護予防)	7,243 人 (634 人)	6,135 人 (554 人)
1日平均利用者数	20.2 人 (月曜日から土曜日) 23.5 人 (日曜日) 0.0 人	17.2 人 (月曜日から土曜日) 20.1 人 (日曜日) 0.0 人
平均要介護度	2.25	2.20

イ 体験利用の状況

利用人数	38 人
うち利用継続人数	24 人

(4) 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

理学療法、作業療法、その他必要なリハビリテーションを居宅への訪問によって行い、利用者の心身機能の維持回復を図りました。

ア 利用の状況

区 分	令和4年度	令和3年度
実利用者数	8人	10人
延べ利用者数 (うち介護予防)	215人 (16人)	211人 (39人)

イ リハビリテーション実施状況

項 目	実施実人数 (人)	実施延べ人数 (人)	内 容
短期集中リハビリ テーション	4	16	退所日から起算して3月以内に集中的なリハビリテーションを実施

(5) 主治医意見書の作成

要介護等認定の申請に必要な主治医意見書を作成しました。

作成件数：57件

(6) 要介護認定調査の実施

入所者の要介護認定申請に必要な認定調査を実施しました。

実施件数：50件

(7) 介護認定審査会への参画

吹田市の介護認定審査会に職員を派遣しました。

出席回数：8回

(8) その他関係会議への出席 (web 会議含む)

ア 吹田市介護保険事業者連絡会

イ 吹田市片山・岸部ブロック別地域ケア会議

ウ 片山・岸部ブロック介護者支援の会

エ 大阪介護老人保健施設協会

2 その他の事業

定款第4条に掲げる次の事業を実施しました。

(1) 高齢者等の保健、医療に関する調査研究事業

職員の資質向上を図り、知識及び技術の習得・向上に資するために次の研修を実施しました。

ア 施設内研修

実施日	テーマ	人数(人)
令和4年5月25日	下半期リスク報告 忘れ物マニュアル説明会	12

令和4年6月1日	人権研修	17
令和4年6月22日	褥瘡に関する研修会	6
令和4年6月29日	吹田老健の現状と課題	18
令和4年8月24日	ハラスメントに関する研修会	13
令和4年9月14日	感染症対応について	16
令和4年9月28日	事故防止に関する研修会	13
令和4年10月26日	虐待防止に関する研修会	10
令和4年11月16日	接遇に関する研修会	12
令和4年12月7日	身体拘束に関する研修会	11
令和5年3月29日	新型コロナウイルス感染症クラスターの振返り 感染症対応について	23

イ 外部研修会

開催日	研修名	開催場所	参加職種	人数(人)
令和4年5月24日 ～30日	介護老人保健施設における他科受診について (web開催)	—	看護師 介護職員 介護支援専門員 支援相談員	12
令和4年7月12日 ～13日	感染症予防対策を実践・推進できるリンクナース養成研修	大阪市	看護師	1
令和4年9月9日	介護老人保健施設に従事する介護リーダー層に対する感染症予防対策研修	大阪市	介護職員	1
令和4年10月1日 ～2日	日本理学療法士会臨床実習指導者講習会(web開催)	—	理学療法士	1
令和4年10月6日	感染症予防対策を実践・推進できるリンクナース養成研修 (施設見学実習)	池田市	看護師	1
令和4年11月14日	社会福祉施設などにおける新型コロナウイルス感染症対策に係る実技研修	大阪市	介護職員	1
令和4年10月21日 ～12月7日	身体拘束ゼロ推進員研修 (web開催)	—	介護職員	1
令和4年12月11日	大阪府作業療法士学会	大阪市	作業療法士	1
令和5年1月26日	認知症キャラバンメイト全体研修	吹田市	介護職員	1

(2) 高齢者等の保健、福祉に関する事業

ア 地域における新型コロナウイルス感染症への対応

介護者が陽性となり介護者不在となった要介護高齢者に対して必要なケアを実施するため、吹田市及び吹田市介護事業者連絡会と協力し、適切なサービスが提供できるよう、相談窓口となってサービス調整を行い、支援しました。

相談・対応件数：2件

イ 地域との連携

(ア) 認知症カフェ

吹田市社会福祉協議会、片山地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、吹田市認知症カフェ交流会の協力を得て、屋外で開催しました。

開催日	参加者数(人)	会場
令和4年11月15日	27	吹田老健正面玄関前エントランス

(イ) 回想法啓発講座「思い出語り体験」

開催日	参加者数(人)	会場
令和4年7月6日	17	千里山コミュニティセンター

(ウ) 認知症サポーター養成講座

開催日	参加者数(人)	備考
令和5年1月28日	5	web開催

(エ) オンライン回想法

回想法ボランティアを中心に市民の方等を対象としたオンライン回想法を開催しました。

開催日	参加者数(人)
令和4年8月24日	5
令和4年10月21日	5
令和5年3月3日	7

入所者とボランティアによるオンライン回想法を開催しました。

開催日	参加者数(人)	
	入所者	ボランティア
令和4年4月20日	3	3
令和4年5月18日	3	6
令和4年10月26日	3	6
令和4年11月30日	4	3
令和5年1月25日	2	4
令和5年2月22日	3	2

ウ 職員講師派遣

実施日	内 容	主催団体	派遣職員（職種）
令和4年4月4日	介護体験実習オリエンテーション	大和大学	森本和子（看護師）
令和4年7月2日	こども認知症サポーター	吹田市キャラバンメイト	佐上雅宣（作業療法士）
令和4年10月17日	介護・認知症予防講座	吹田市吹一・吹六地区地域包括支援センター	佐上雅宣（作業療法士）
令和4年11月30日	新型コロナ感染症流行を経て老健のリハビリはどう変わったか、どうあるべきか考える研修会	大阪介護老人保健施設協会	白石久富（理学療法士）

(3) 施設での教育・実習事業

ア 看護実習

(ア) リモートインタビュー（Web実習）

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
千里金蘭大学	令和4年6月22日	—	—

(イ) 老年看護学実習（web実習）

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
梅花女子大学	令和4年9月7日	10	10

(ウ) 老年看護学実習

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
千里金蘭大学	令和4年10月24日～10月25日	3	6
	令和4年11月14日～11月15日	3	6
	令和4年11月7日～11月11日	6	30
	令和5年1月23日～1月24日	3	6
	令和5年2月6日～2月7日	3	6
	令和5年2月20日～2月21日	3	6
	令和5年3月6日～3月7日	3	6

(エ) 生活支援看護実習

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
大阪府立大学	令和5年1月17日～1月18日	3	6
	令和5年1月19日～1月20日	3	6

イ 理学療法士実習

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
大和大学	令和4年9月5日～9月10日	1	6
	令和4年9月12日～9月17日	1	6
	令和4年11月7日～12月24日	1	41

ウ 作業療法士実習

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
大阪公立大学	令和4年9月1日～9月22日	1	15
	令和5年2月20日～3月3日	1	9
大和大学	令和4年9月26日～10月21日	1	19

(4) その他の事業

ア インフルエンザワクチン予防接種

区 分	接種人数(人)
入所者	67
職 員	54
合 計	121

イ 肺炎球菌ワクチン予防接種

区 分	接種人数(人)
入所者	4
合 計	4

ウ 新型コロナワクチン予防接種

区 分	3回目 接種人数(人)	4回目 接種人数(人)	5回目 接種人数(人)
入所者	1	67	29
通所者	0	42	35
職 員	0	28	8
合 計	1	137	72

(5) 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、次の事業は中止しました。

- ・ボランティア活動と支援
- ・介護相談員の受入れ
- ・幼稚園児等との交流
- ・回想法ボランティア養成講座
- ・認知症カフェ（屋外での実施を除く）
- ・見学受入れ
- ・中学生の職業体験学習

3 公益目的支出計画（特定寄付）

公益目的支出計画では500万円を寄付することを定めていますが、新型コロナウイルス感染症による財政状況の悪化により、吹田市に対して100万円の寄附を実施しました。

4 その他

令和4年度事業報告附属明細書は記載する事項が無いため作成しません。

令和4年度（2022年度）決算書

貸借対照表

令和5年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	61,811,771	62,814,768	△ 1,002,997
事業未収金	80,200,767	78,216,013	1,984,754
未収金	46,656,903	290,274	46,366,629
立替金	159,961	93,484	66,477
流動資産合計	188,829,402	141,414,539	47,414,863
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	91,340,000	95,640,000	△ 4,300,000
普通預金	3,825,000	3,825,000	0
基本財産合計	95,165,000	99,465,000	△ 4,300,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			
普通預金	34,938,168	53,725,360	△ 18,787,192
建物	72,246,871	0	72,246,871
什器備品	4,601,116	0	4,601,116
特定資産合計	111,786,155	53,725,360	58,060,795
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
その他固定資産合計	1	1	0
固定資産合計	206,951,156	153,190,361	53,760,795
資産合計	395,780,558	294,604,900	101,175,658
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	79,332,032	42,008,390	37,323,642
預り金	3,540,129	3,770,664	△ 230,535
賞与引当金	11,846,074	16,024,732	△ 4,178,658
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	94,788,235	61,873,786	32,914,449
2. 固定負債			
退職給付引当金	136,651,247	142,807,190	△ 6,155,943
固定負債合計	136,651,247	142,807,190	△ 6,155,943
負債合計	231,439,482	204,680,976	26,758,506
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	76,847,987	0	76,847,987
指定正味財産合計	76,847,987	0	76,847,987
(うち特定資産への充当額)	(76,847,987)	(0)	(76,847,987)
2. 一般正味財産	87,493,089	89,923,924	△ 2,430,835
(うち基本財産への充当額)	(95,165,000)	(99,465,000)	(△4,300,000)
正味財産合計	164,341,076	89,923,924	74,417,152
負債及び正味財産合計	395,780,558	294,604,900	101,175,658

正味財産増減計算書

令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[400,000]	[400,000]	[0]
基本財産受取利息	400,000	400,000	0
特定資産運用益	[0]	[407,000]	[△ 407,000]
特定資産受取利息	0	407,000	△ 407,000
事業収益	[524,961,913]	[514,780,935]	[10,180,978]
介護老人保健施設収益	423,463,218	425,289,502	△ 1,826,284
短期入所療養介護収益	18,623,617	17,751,722	871,895
通所リハビリテーション収益	79,606,446	67,747,437	11,859,009
訪問リハビリテーション収益	1,599,340	1,735,180	△ 135,840
自主事業収益	1,669,292	2,257,094	△ 587,802
受取補助金等	[24,819,813]	[3,102,000]	[21,717,813]
雑収益	[33,181]	[48,040]	[△ 14,859]
雑収益	33,181	48,040	△ 14,859
経常収益計	550,214,907	518,737,975	31,476,932
(2) 経常費用			
事業費	[547,768,677]	[544,692,465]	[3,076,212]
常勤役員報酬	11,359,000	11,949,000	△ 590,000
給料手当	196,255,734	200,337,122	△ 4,081,388
非常勤職員報酬	6,519,738	8,143,697	△ 1,623,959
臨時雇賃金	70,396,724	75,435,902	△ 5,039,178
賞与引当金繰入額	11,846,074	16,024,732	△ 4,178,658
退職給付費用	12,705,486	13,523,226	△ 817,740
法定福利費	43,307,530	45,601,773	△ 2,294,243
福利厚生費	1,433,353	1,205,139	228,214
旅費	475,800	85,510	390,290
会議費	0	0	0
通信運搬費	1,334,307	1,305,864	28,443
消耗什器備品費	2,048,052	351,154	1,696,898
消耗品費	20,454,802	18,378,376	2,076,426
販売物品仕入費	0	0	0
委託費	108,848,359	106,400,735	2,447,624
修繕費	1,090,698	752,048	338,650
印刷製本費	309,430	178,354	131,076
燃料費	1,755,679	1,495,593	260,086
光熱水料費	45,522,148	35,160,908	10,361,240
賃借料	6,989,611	6,857,659	131,952
手数料	1,226,349	448,113	778,236
保険料	442,870	439,630	3,240
負担金	359,000	359,000	0
交通費	0	0	0
研修費	74,820	107,530	△ 32,710
広告料	0	0	0
租税公課	185,100	151,400	33,700
減価償却費	1,828,013	0	1,828,013
寄付金	1,000,000	0	1,000,000

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	[584,561]	[767,190]	[△ 182,629]
役員等報酬	107,075	181,250	△ 74,175
福利厚生費	0	0	0
会議費	2,236	0	2,236
委託費	464,000	519,000	△ 55,000
賃借料	0	0	0
租税公課	11,250	44,000	△ 32,750
雑費	0	22,940	△ 22,940
経常費用計	548,353,238	545,459,655	2,893,583
評価損益等調整前当期経常増減額	1,861,669	△ 26,721,680	28,583,349
基本財産評価損益等	[△ 4,300,000]	[△ 3,020,000]	[△ 1,280,000]
基本財産評価損益等	△ 4,300,000	△ 3,020,000	△ 1,280,000
特定資産評価損益等	[0]	[△ 548,050]	[548,050]
特定資産評価損益等	0	△ 548,050	548,050
評価損益等計	△ 4,300,000	△ 3,568,050	△ 731,950
当期経常増減額	△ 2,438,331	△ 30,289,730	27,851,399
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	[7,496]	[0]	[7,496]
経常外収益計	7,496	0	7,496
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	7,496	0	7,496
当期一般正味財産増減額	△ 2,430,835	△ 30,289,730	27,858,895
一般正味財産期首残高	89,923,924	120,213,654	△ 30,289,730
一般正味財産期末残高	87,493,089	89,923,924	△ 2,430,835
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[78,676,000]	[0]	[78,676,000]
受取国庫補助金	78,676,000	0	78,676,000
一般正味財産への振替額	[△ 1,828,013]	[0]	[△ 1,828,013]
一般正味財産への振替額	△ 1,828,013	0	△ 1,828,013
当期指定正味財産増減額	76,847,987	0	76,847,987
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	76,847,987	0	76,847,987
III 正味財産期末残高	164,341,076	89,923,924	74,417,152

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	有価証券	95,640,000	0	4,300,000	91,340,000
	普通預金	3,825,000	0	0	3,825,000
	基本財産計	99,465,000	0	4,300,000	95,165,000
特定資産	退職給付引当資産				
	普通預金	53,725,360	0	18,787,192	34,938,168
	建物	0	73,979,000	1,732,129	72,246,871
	什器備品	0	4,697,000	95,884	4,601,116
	特定資産計	53,725,360	78,676,000	20,615,205	111,786,155

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	16,024,732	11,846,074	16,024,732	0	11,846,074
退職給付引当金	142,807,190	12,705,486	18,861,429	0	136,651,247

財産目録

令和5年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	65,564
	預金	当座預金	運転資金として	17,348,576
		ゆうちょ銀行 普通預金	運転資金として	44,397,631
		三菱UFJ銀行 吹田支店	運転資金として	44,397,631
	事業未収金		事業に係る未収分	80,200,767
	未収金		労働保険料、補助金等未収金	46,656,903
立替金		利用者理髪代立替等	159,961	
流動資産合計				188,829,402
(固定資産)	基本財産			
	有価証券 普通預金	利付国庫債券174 三菱UFJ銀行 吹田支店		91,340,000 3,825,000
特定資産	退職給付引当資産 普通預金	三菱UFJ銀行 吹田支店	職員の退職金支払いに備えたもの	34,938,168 34,938,168
その他固定資産	建物			72,246,871
	什器備品			4,601,116
	什器備品	介護用リフト2台		1
固定資産合計				206,951,156
資産合計				395,780,558
(流動負債)	未払金			79,332,032
	預り金			3,540,129
		源泉所得税		
	住民税			875,100
	健康保険料			723,900
	厚生年金保険料			1,287,405
	介護保険料			104,567
	理髪代			136,500
	賞与引当金		職員の賞与支払いに備えたもの	11,846,074
	職員賞与費			11,540,474
	非常勤賞与費			305,600
	未払法人税等			70,000
流動負債合計				94,788,235
(固定負債)	退職給付引当金		職員退職金支払いに備えたもの	136,651,247
固定負債合計				136,651,247
負債合計				231,439,482
正味財産				164,341,076

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

令和 5 年 3 月 31 日現在

1. 重要な会計方針

(1) 会計基準

当財団は「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法について

① 其他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 建物・・・定額法

② 什器備品（特定資産）・・・定額法

③ 什器備品（其他固定資産）・・・定額法

(4) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額（令和 5 年 6 月末支給分）のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、職員の期末自己都合要支給額の 100%を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	95,640,000	0	4,300,000	91,340,000
普通預金	3,825,000	0	0	3,825,000
小 計	99,465,000	0	4,300,000	95,165,000
特定資産				
退職給付引当資産				
普通預金	53,725,360	0	18,787,192	34,938,168
建物	0	73,979,000	1,732,129	72,246,871
什器備品	0	4,697,000	95,884	4,601,116
小 計	53,725,360	78,676,000	20,615,205	111,786,155
合 計	153,190,360	78,676,000	24,915,205	206,951,155

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
有価証券	91,340,000	0	91,340,000	0
普通預金	3,825,000	0	3,825,000	0
小 計	95,165,000	0	95,165,000	0
特定資産				
退職給付引当資産				
普通預金	34,938,168	0	0	34,938,168
建物	72,246,871	72,246,871	0	0
什器備品	4,601,116	4,601,116	0	0
小 計	111,786,155	76,847,987	0	34,938,168
合 計	206,951,155	76,847,987	95,165,000	34,938,168

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物	73,979,000	1,732,129	72,246,871
什器備品（特定資産）	4,697,000	95,884	4,601,116
什器備品（その他固定資産）	480,000	479,999	1
合 計	79,156,000	2,308,012	76,847,988

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対 照表上 の記載 区分
補助金						
新型コロナウイルス感染症 PCR検査実施支援事業補助金	吹田市	0	2,280,000	2,280,000	0	
新型コロナウイルス感染症 サービス提供体制確保事業補助金	吹田市	0	18,490,000	18,490,000	0	
介護サービス事業所 物価高騰対策応援金	吹田市	0	1,050,000	1,050,000	0	
新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止継続支援補助金	大阪府	0	90,000	90,000	0	
介護サービス事業者 燃料費高騰対策支援金	大阪府	0	67,800	67,800	0	
介護ロボット導入 支援事業補助金	大阪府	0	1,014,000	1,014,000	0	
介護ロボット導入 支援事業補助金	大阪府	0	4,697,000	95,884	4,601,116	指定正 味財産
地域密着型サービス等に係る 施設整備等補助金	吹田市	0	73,979,000	1,732,129	72,246,871	指定正 味財産
合 計		0	101,667,800	24,819,813	76,847,987	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	1,828,013
減価償却費計上による振替額	
合計	1,828,013

独立監査人の監査報告書

令和 5 年 4 月 19 日

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団
理事長 春 藤 尚 久 殿

晴連監査法人

代表社員 公認会計士
業務執行社員

村 上 弘 之

〈財務諸表監査〉

当監査法人は、一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の財務諸表、即ち、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録について監査を行った。

財務諸表に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続きが実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意思表示の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団と当監査法人、又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

令和4年度 監査報告書

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団
理事長 春 藤 尚 久 殿

私たち監事は、当法人の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人の主たる事務所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していると認めます。

令和5年4月25日

監事 岡松 道哉 ●

監事 木田 正章 ●

報告第5号

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

(1)

令和5年度(2023年度)
公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団 事業計画

吹田市は、「健康すいた21（第3次）」とともに、吹田市健康寿命延伸にかかる市内基本方針を策定し、『自分らしく、笑^{しょうがい}涯、輝く』の実現に向け、暮らしにとけこむ健康づくりの取組を推進されています。その取組方針では、「楽しむ・輝く」をベースとした8つのライフスタイルを取り入れた取組をすることで、健康に無関心な層を含むすべての市民を対象に、「健康」を意識せずとも自然と「健康」につながる仕掛けづくりを進めると示されています。

8つのライフスタイルには「動く」「食べる」「眠る・癒す」「知る」「診てもらう」のほか、「出かける」や「人とつながる」が示されており、身体のみならず、社会的・精神的側面も、健康寿命に重要な要素であるとしています。

事業団においても、市民の健康増進に寄与する取組に加え、今後は、市民が生きがいや余暇活動の充実を感じて生活できることも健康に繋がると捉え、市民・団体と連携しながら市民の自主的な健康づくりを支援し、その活動が生涯活躍の場に繋がっていく仕組みづくりにも取り組んでいく必要があります。

また、健都における健康医療のまちづくりが着々と展開しており、そこで培われつつある健康増進・地域活性化にむけての産学官民連携の取組を、今後は全市的に広げていくことが重要になっています。そのことから、事業団には市民・団体に加え地域事業者や大学等とも連携し、人・場を繋ぎコーディネートしながら地域のフィールドを開拓していく役割を大いに期待されています。

令和5年度につきましては、以下の事業を実施・活用しながら、新たに事業団に求められている役割に向けて取組を進めて参ります。

1. みんなの健康展

医療・保健をとおして、市民の健康づくりの意識向上を図り、市民に親しまれ、市民参加型の啓発イベントとして、医療三師会をはじめ、保健関係団体等を中心に「みんなの健康展実行委員会」を組織し開催する。

開催予定日：9月 9日（土） 13：00～17：00

9月10日（日） 9：30～16：00

会 場：メイシアター（吹田市文化会館）

事業内容：市民の健康づくりへの啓発を目的に、統一テーマを設定し、医療団体など、

参加団体による趣向を凝らした展示や催し等

2. レディース健康フェスティバル

女性が、女性特有の健康問題に目を向け、主体的に健康づくりを実践することで、生涯を通じて健康で明るく過ごすことができるように支援することを目的として「女性の健康週間」に合わせて開催する。

開催予定日：令和6年3月2日（土）10：00～16：00

会 場：千里ニュータウンプラザ等

事業内容：女性の健康に関する講演、実践講座、展示、各種測定等

3. 吹田市民健康づくりフェスティバル

家族や仲間と一緒に楽しく体を動かすことで、自らの健康への意識を高め、生活習慣病や循環器病予防に役立てることを目的として、地域で健康づくりを推進する体育4団体等で構成される実行委員会を中心に、企業、学校、団体、地域事業者等の協力のもと開催する。

(1) てくてくウォーク&ノルディック

開催予定日：5月21日（日） 雨天の場合 5月28日（日）

実施場所：南千里駅前広場から津雲公園までの遊歩道

事業内容 スタッフの指導や安全管理のもと、誰でも気軽にできるウォーキングやノルディックで千里の自然に触れながら健康的に歩く。

(2) 2023チャレンジDAY

開催予定日：11月5日（日） 雨天の場合 11月12日（日）

会 場：千里北公園一帯

事業内容：主に親と子をターゲットとして、各種スポーツ体験や食育、また体力テストなど、楽しみながら健康を意識できる内容を各団体に企画してもらい、団体ごとにブースを設置する。

4. 各種教室等の開催

健康づくりに関する知識や活動の場を提供するために、次の教室等を実施する。

(1) ヘルストレーニング教室

運動は、生活習慣病を予防する効果が大きく、健康づくりへの第一歩である。生活習慣病を予防するために「生活習慣の改善」が必要な人や、自ら健康の維持・増進を目的とする人を対象に、ストレッチや筋力トレーニングを主体に、ジョギングなどの有酸素運動メニューを組み合わせた、1回90分程度のプログラムを実施する。

会 場 片山市民プールトレーニング室

対象者 中学生以下は除く

(3)

実施回数及び時間 週2回 月曜日・木曜日

18:00～19:30

18:45～20:15の2部制

(2) レディースヘルストレーニング教室

生活習慣病予防のために「生活習慣の改善」が必要と考えている女性や、自ら健康の維持・増進を目的とする女性を対象に、ストレッチや筋力トレーニングを主体にジョギングなどの有酸素運動メニューを組み合わせた、1回90分程度のプログラムを実施する。

会 場 片山市民プールトレーニング室

対象者 中学生以下は除く

実施回数及び時間 週2回 水曜日・金曜日

10:00～11:30

(3) シェイプアップ体操教室

軽快なリズムに乗って、心地よい汗をかき、ストレス解消などに役立つ。音楽を使つての柔軟体操やストレッチ、リズム運動を主体に実施する。

会 場 片山市民プールトレーニング室

対象者 中学生以下は除く

実施回数及び時間 週1回 水曜日

13:30～15:00

(4) ヘルシーウォーキング教室

健康づくりに最も取り組みやすいウォーキングの基本を学んでもらい、腰痛、肩こり、骨粗しょう症などの予防にも効果があるダンベル体操も取り入れた運動により健康な身体づくりを目指す。

会 場 総合運動場

対象者 中学生以下は除く

実施回数及び時間 週1回 火曜日（7・8月は休講）

9:10～10:40

9:30～11:00の2部制

※ヘルストレーニング教室、レディースヘルストレーニング教室、シェイプアップ体操教室、ヘルシーウォーキング教室ともに継続受講を基本とし、3か月ごとに新規募集を行う。ただし、屋外で実施するヘルシーウォーキング教室については、7月～8月は猛暑が想定されるため休講とする。

(5) ウォーキング会員事業

生活習慣病予防などに効果があるウォーキングを日常生活の中で習慣化するなかで、いつまでも歩き続けるために、足腰に負担の少ない正しい歩き方を実践するとともに、「筋力」「バランス機能」「柔軟性」を高める運動も取り入れ、さらに積極的な身体活動に取り組む意識を高めてもらう。

(4)

- 内 容 ・会員登録により、独自の目標達成に向けて各自ウォーキングに取り組む。
- ・年1回、歩き方の測定を行う。
 - ・目標達成者に対し「達成証」を授与する。

(6) 健康づくり実践教室

広く市民を対象に、「栄養のバランスのとれた食事」「休養と健康」「生活習慣病予防」「体力づくり」など、健康づくりについての学習と実践の機会を提供する。

① 休養に関する健康講座

開催予定日：9月頃（予定）

会 場：未定

② ロコモティブシンドローム予防教室

開催予定日：6月頃（予定）

会 場：未定

③ 健康な食生活応援事業

開催回数：年2回

会 場：市内イオン店舗 等

④ フタバボウルとの共催事業「ボウリングで健康づくり（ボウリング同好会）」

対象者 概ね55歳以上の吹田市民

会 場 関大前フタバボウル

実施回数及び時間 週1回 火曜日 10:00～12:00（祝日除く）

⑤ セーフティウォーキング、ノルディックウォーキング講習会等

5. 健康まちづくり支援事業

地域で活動する住民や団体、また大学や地域事業者等とのネットワークを作り、健都の資源も活用しながら住民主体の健康づくりの取り組みが展開されるよう支援することを目的として実施する。

事業内容 商店街やまちの賑わい創出を目的とする催しの場、また地域活動の場等において、各種測定、相談、ワークショップ等を実施し、健康に触れ、知り、体験する機会を提供する。

実施期間 通年

6. 健康情報の収集と提供

市民の健康づくりへの動機づけを促すとともに、個人に適した健康づくりの方法等について、適切な情報を提供するため、情報誌やパンフレット等を発行する。

(1) 情報誌「健康すいた」の市内全戸配布

発行予定 年1回発行

(5)

発行部数 8ページ 約184,000部

(2) 健康パンフレット等の配布

- ・「日本列島縦断に挑戦」
- ・「健康ウォーキングガイド」
- ・「吹田さんちのお買い物便利帳」

(3) その他

- ・HPによる事業内容や健康づくりに関する情報の発信
- ・事業ごとのパンフレット、ポスター、チラシ等の配布
- ・庁舎懸垂幕

7. 健康づくり調査研究

- (1) 健康づくり事業の進め方について調査研究
- (2) その他

8. 研修

健康づくりを楽しく安全にすすめるためには、一人ひとりの健康状態や生活環境に応じた健康づくりを指導できる人材が必要であるため、健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新認定講習会へ参加させ、さらなる指導の充実と育成、研鑽を図る。

また、職員においては、適切な団体の運営に向けて、公益法人協会発行の実務専門書や内閣府公益法人メールマガジン等で法改正等の最新情報の収集に努める。

9. 賛助会員制度の普及及び会員の増員を図る

団体及び個人会員に対し、事業団への理解を深めるとともに、幅広く賛助会員加入の呼びかけを行い、事業団の財源の一助とすべく努力する。

10. 関係団体との連携強化を図る

- (1) 市内各大学等との連携
- (2) 住民主体の健康づくりの取組に向けた地域団体や地域事業者等との連携
- (3) 企業等との連携
- (4) その他

(6)

令和5年度予算（2023年度）
 収支予算書（損益ベース）
 令和5年04月01日 から 令和6年03月31日 まで

単位(円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	健康づくり事業		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,000	343,000	350,000
基本財産受取利息	7,000	343,000	350,000
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
受取会費	120,000	120,000	240,000
団体賛助会員受取会費	110,000	110,000	220,000
個人賛助会員受取会費	10,000	10,000	20,000
事業収益	2,364,000	290,000	2,654,000
自主事業収益	2,364,000	290,000	2,654,000
ヘルストレーニング教室受講料	475,000	0	475,000
レディースヘルス教室受講料	907,000	0	907,000
シェイプアップ体操教室受講料	322,000	174,000	496,000
ヘルシーウォーキング教室受講料	556,000	116,000	672,000
ウォーキング会員登録料	84,000	0	84,000
健康づくり実践教室参加料	20,000	0	20,000
受取吹田市補助金等	34,772,000	0	34,772,000
吹田市健康づくり活動推進事業補助金	34,772,000	0	34,772,000
雑収益	0	0	0
受取広告料	0	0	0
経常収益計	37,263,000	753,000	38,016,000

(7)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	健康づくり事業		
(2) 経常費用			
事業費	40,647,000	0	40,647,000
役員報酬	2,980,000	0	2,980,000
給料手当	17,088,000	0	17,088,000
臨時雇賃金	50,000	0	50,000
福利厚生費	3,857,000	0	3,857,000
賞与引当金繰入額	972,000	0	972,000
旅費交通費	171,000	0	171,000
通信運搬費	572,000	0	572,000
消耗什器備品費	250,000	0	250,000
消耗品費	1,049,000	0	1,049,000
印刷製本費	2,687,000	0	2,687,000
燃料費	109,000	0	109,000
賃借料	2,369,000	0	2,369,000
保険料	187,000	0	187,000
諸謝金	3,295,000	0	3,295,000
支払手数料	134,000	0	134,000
租税公課	26,000	0	26,000
支払負担金	2,526,000	0	2,526,000
委託費	2,325,000	0	2,325,000
管理費	0	3,473,000	3,473,000
役員報酬	0	1,067,000	1,067,000
給料手当	0	528,000	528,000
福利厚生費	0	119,000	119,000
賞与引当金繰入額	0	30,000	30,000
会議費	0	15,000	15,000
旅費交通費	0	25,000	25,000
通信運搬費	0	79,000	79,000
消耗品費	0	38,000	38,000
印刷製本費	0	11,000	11,000
燃料費	0	12,000	12,000
光熱水料費	0	150,000	150,000
賃借料	0	335,000	335,000
保険料	0	50,000	50,000
諸謝金	0	553,000	553,000
支払手数料	0	40,000	40,000
租税公課	0	26,000	26,000
支払負担金	0	150,000	150,000
委託費	0	75,000	75,000
支払広告料	0	120,000	120,000
雑費	0	50,000	50,000
経常費用計	40,647,000	3,473,000	44,120,000
当期経常増減額	△3,384,000	△2,720,000	△6,104,000

(8)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	健康づくり事業		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△3,384,000	△2,720,000	△6,104,000
一般正味財産期首残高	19,658,000	6,972,000	26,630,000
一般正味財産期末残高	16,274,000	4,252,000	20,526,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	200,000,000	200,000,000
指定正味財産期末残高	0	200,000,000	200,000,000
III 正味財産期末残高	16,274,000	204,252,000	220,526,000

(9)

令和4年度(2022年度) 吹田市健康づくり推進事業団 事業報告

1. みんなの健康展

【目標】

参加した市民が健康について考えることのできる機会となるよう、実行委員会を構成する各団体の企画により、幅広い年齢の市民が健康について関心を高めるようなプログラムを提供する。

【概要】

- 開催日 令和4年9月10日(土)、11日(日)
- 会場 吹田市文化会館(メイシアター)中ホール、レセプションホール 他
- メインテーマ 「新しい生活、取り組もう健活！」
- 内容
 - 〈1日目〉9月10日(土)
 - ・開会式、消防音楽隊演奏(中ホール)
 - ・映画上映(中ホール)
 - ・ブース展示(22団体)(レセプションホール、和室、3階ロビー、第1会議室、中ホールホワイエ)
 - 〈2日目〉9月11日(日)
 - ・ブース展示(22団体)(レセプションホール、和室、3階ロビー、第1会議室、中ホールホワイエ)
 - ・イベントステージ(小ホール)
 - ・映画上映(中ホール)
 - ・講演会(中ホール) 参加人数 136人
テーマ 『コロナとフレイル』
講師 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 老年看護学
教授 竹屋 泰 氏
- 実行委員会
 - ・医師会 ・歯科医師会 ・薬剤師会 ・鍼灸師会 ・栄養士会 ・臨床検査技師会
 - ・看護協会 ・社会福祉協議会 ・母子会 ・母親大会連絡会 ・歯科衛生士会
 - ・歯科技工士会 ・ホスピス市民塾 ・助産師会 ・理学療法士会 ・千里金蘭大学
 - ・消防本部 ・国民健康保険課 ・高齢福祉室 ・健康まちづくり室 ・保健所
 - ・成人保健課
- 参加人数 721人

【成果と課題】

- 過去2年間はWEB開催となっていたが、今年度は3年ぶりに集客して開催

することができた。メイシアターがコロナワクチン接種会場となっていたため、開催場所がレセプションホールを含む3階部分と中ホールホワイエ等、限られた場所でもコロナ感染予防策を講じる中での企画をお願いしたため、規模を縮小して運営する団体もあり、従前より参加者が少ない結果となった。

- 各団体実行委員会で反省会を行い、各団体からの企画や運営に関する評価と参加者アンケート結果から事業成果を共有した。改善する余地はあるものの、実際に集客しての開催ができたことに対する評価が多かった。

2. レディース健康フェスティバル

【目標】

女性特有の健康問題に目を向け、主体的に健康づくりを実践することで、生涯を通じて健康で明るく過ごすことができるように支援することを目的として、講演やブースを企画し啓発する。

【概要】

- 開催日 令和5年3月4日（土）
- 会場 千里市民センター、南千里駅前広場
- サブタイトル 「～美しく健康的に!!～」
- 内容
〈千里市民センター 大ホール〉
 - ① 講演
テーマ：「女性のためのアンチエイジング」
講師：大阪公立大学大学院生活科学研究科
准教授 小島 明子 氏
参加者人数： 61人
 - ② 講演（吹田市歯科医師会 協力）
テーマ：「お口の健康から全身の健康・美へ導く『歯ヨガ』の実践」
講師：医療法人雄理会 小島歯科医院
副院長 小島 理恵 氏
参加人数： 60人
 - ③ 実践講座
テーマ：「美姿勢で歩こう」
講師：一般社団法人 日本姿勢と歩き方協会
代表 高岡 よしみ 氏
参加人数： 46人
 - ④ 実践講座
内容：「ピラティス体験」～自分のからだ向き合おう～
講師：インストラクター E r i 氏
参加人数： 27人〈南千里駅前広場（まるたす広場）〉
 - 内容：協力団体による女性の健康啓発ブースの出展がん検診啓発、骨密度・肌年齢測定、栄養相談、睡眠に関する講座、妊娠・出産・骨盤臓器脱に関する相談、糖化度測定、野菜摂取量チェック、「健康まちづくり」に関する情報発信他

○ 協力団体：吹田市薬剤師会、吹田地区栄養士会、大和大学看護学科、千里金蘭大学、大阪大学、認定 NPO 法人健康ラボステーション 他

○ 参加人数

	参加人数	スタッフ数
肌年齢測定	144人	22人
骨密度測定	216人	
お薬相談	184人	
薬物乱用キャンペーン	262人	
SAT診断	138人	9人
睡眠ミニ講座	122人	22人
乳がんチェック	70人	8人
箱中身あてクイズ	140人	
出産など相談	43人	7人
ベジチェック	157人	13人
糖化度測定	193人	3人
「健康まちづくり」情報発信	100人	7人
合計（のべ人数）	1,769人	91人

【成果と課題】

- 今回、千里市民センターでは講演と実践講座を事前申し込みという形で実施し、屋外の広場では、通りがかった市民の方々に気楽に立ち寄ってもらおうと、健康ブーステントを設置して開催したところ、多くの市民の方々に参加していただけた。
- 「健康まちづくり」に関する健康ブースで啓発するなど、多くの大学や企業と連携することができた。今後、さらに健康啓発を進める各団体との連携を図っていきたい。

3. 吹田市民健康づくりフェスティバル

【目標】

家族や仲間と一緒に体を動かすことで、参加者が自らの健康づくりに向け、日常生活の中で主体的に取り組もうとする意識変容に繋げることを目的として、運動の機会を提供する。

【概要】

1) てくてくウォーク&ノルディック

- 開催日 令和4年5月22日（日）
- 会場 万博記念公園自然文化園
- 参加人数

種目	参加人数	スタッフ数	合計
ウォーキング	11人	4人	15人
ノルディックウォーキング	67人	17人	84人
合計	78人	21人	99人

(昨年度： 62人 18人 80人)

2) 2022チャレンジDAY

- 開催日 令和4年11月6日(日)
- 会場 千里北公園
- 参加人数 総数1,547人(来場者1,344人、スタッフ203人)
(昨年度：総数1,621人(来場者1,462人、スタッフ159人))

○種目・参加人数

種目	参加人数	種目	参加人数
グラウンドゴルフ	442人	親子で運動あそび	61人
親子ジョギング	96人	へキサスロン	40人
シャトルゴルフ	406人	楽しくダンス	238人
モルック	642人	親子で体力測定	404人
ストラックアウト	720人	親子で竹の輪切り	429人
輪投げ	1,048人	わくわくクイズ	497人
キックターゲット	680人	わくわくサキッ	606人
ダブルダッチ	489人	食育	316人
親子ペアヨガ	27人	ミニ健康講座	235人
健都ヘルスポーター紹介	128人		
合計		(のべ人数)	7,504人

(昨年度： 7,047人)

【成果と課題】

- 今年度のでくてくウォーク&ノルディックは、開催時期を5月とし、万博公園の季節の花を観賞できる通過ポイントを設定し、参加者からも健康的に歩く中で、自然を満喫できたと好評であった。
- 今後、継続して健康づくりに取り組んでもらうためのアプローチとして、でくてくウォーク&ノルディック事業の見直しも含め検討していく必要がある。
- チャレンジDAYでは、地域で健康づくりを推進する体育4団体等で構成する実行委員会を中心に、企業、学校、地域事業者等がそれぞれ各種目の企画・運営にあたり、多くの参加者に運動を啓発する機会を提供することができた。
- チャレンジDAYのターゲットを昨年度に引き続き、就労世代・子育て世代の親とその子どもとして企画をした。結果、参加者数もほぼ昨年度と同数、また、30～40代の親世代の家族の参加が9割を占め、事業の目的を達成できた。

4. 各種教室等の開催

【目標】

健康増進、体力づくりの各種教室や健康づくり啓発のための講演会等を実施し、

自分自身の健康のために日常の生活を改善し、実践する市民の増加を図る。

【概要】

(1) ヘルストレーニング教室

- 開催日 令和4年4月～令和5年3月
週2回 月曜日・木曜日2部制 18:00～19:30・18:45～20:15
- 会場 片山市民プール トレーニング室
- 対象者 中学生以下は除く
- 平均参加人数 16人/1回 延1,454人/89回開催
(昨年度:15人/1回 延904人/62回開催)

(2) レディースヘルストレーニング教室

- 開催日 令和4年4月～令和5年3月
週2回 水曜日・金曜日 10:00～11:30
- 会場 片山市民プール トレーニング室
- 対象者 中学生以下は除く
- 平均参加人数 29人/1回 延2,729人/94回開催
(昨年度:27人/1回 延1,667人/61回開催)

(3) シェイプアップ体操教室

- 開催日 令和4年4月～令和5年3月
週1回 水曜日13:30～15:00
- 会場 片山市民プール トレーニング室
- 対象者 中学生以下は除く
- 平均参加人数 21人/1回 延1,010人/48回開催
(昨年度:25人/1回 延738人/30回開催)

(4) ヘルシーウォーキング教室

- 開催日 令和4年4月～令和5年3月
週1回 火曜日 A班9:10～10:40、B班9:30～11:00
- 会場 総合運動場
- 対象者 中学生以下は除く
- 平均参加人数 44人/1回 延1,752人/40回開催
(昨年度:44/1回 延1,199人/27回開催)

(5) ウォーキング会員事業

- 実施期間 令和4年4月～令和5年3月
- 対象者 吹田市民(中学生以下は除く)
*自分目標達成者に「達成証」と「記念品」を授与
- 登録者数 169人(昨年度:212人)

(6) 健康づくり実践教室

1) 休養に関する健康講座

- 開催日 10月8日(土)
- 会場 吹田市立勤労者会館 研修室

○ テーマ 「子どもから大人まで、積極的なリカバリー(休養)から抗疲労・健康増進へ」

○ 講師 国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター
健康指標ユニット
ユニットリーダー 水野 敬 氏

○ 参加人数 55人

2) ロコモティブシンドローム予防教室

○ 開催日 10月6日(木)・10月13日(木)・10月20日(木)の
3回連続講座

○ 会場 吹田市立勤労者会館 研修室

○ 講師 ①ロコモティブシンドロームについての講義と歩き方の実技指導

ダイナミックスポーツ医学研究所

顧問 土井 龍雄 氏

②ロコモ予防のための食事についての講義

吹田地区栄養士会さんくらぶ

管理栄養士 捧 園子 氏 他2名

○参加人数 27人

3) イオン店舗における健康な食生活応援事業

①イオン北千里における栄養相談

○ 開催日 10月1日(土) 11:00~13:00

○ 会場 イオン北千里店

○ 内容 「マイルール私の食生活」を使っでの栄養相談
テーマ 「あなたの食事スタイル どのタイプ」
講師 吹田地区栄養士会 管理栄養士3名

○ 参加人数 21人

②イオン吹田店における栄養相談

○ 開催日 3月18日(土) 11:00~13:00

○ 会場 イオン吹田店

○ 内容 「マイルール私の食生活」を使っでの栄養相談
テーマ 「あなたの食事スタイル どのタイプ」
講師 吹田地区栄養士会 管理栄養士3名

○ 参加人数 35人

4) フタバボウルとの共催事業「ボウリングで健康づくり」

ボウリング同好会

○ 開催日 毎週火曜日 午前10時~12時(祝日を除く)

○ 会場 関大前フタバボウル

○ 参加人数 延べ245名

【成果と課題】

- 教室の運営に関しては、コロナ禍の中で感染対策を講じての実施であるが、計画どおり実施することができた。
- ウォーキング会員事業は、筋力・柔軟性・バランス機能の向上のための運動も取り入れ、足腰に負担の少ないウォーキングを推奨していくために、昨年に引き続き、歩き方の測定と歩き方のアドバイスを行い、参加者の意識変容

を図った。

- ロコモティブシンドローム予防教室では、今年度は3回の連続講座を実施し、正しい歩き方指導に加えて、歩き方の測定と筋力維持のための食事指導等、歩き続けるためのトータルアドバイスとなる内容構成で、参加者からも高評価を得た。

5. 健康まちづくり支援事業

【目標】

地域の団体や事業者等と連携し、それぞれをつなぎ調整しながら、地域の実情に即した住民による自主的な健康づくりを推進する。

【概要】

(1) ディオス北千里「マルシェ+ (プラス)」

2か月に1回開催される「ディオス北千里マルシェ+ (プラス)」に買い物に来た人をターゲットとして、大学や健康関連団体等と協力して健康の啓発を行う。

- 開催日 4月16日(土)・6月18日(土)・8月27日(土)・10月22日(土)・12月17日(土)

- 場所 ディオス北千里駅前広場～ガンバドーム～ステージ前

- 内容及び参加人数

4月16日ーウォーキングナビによる歩き方測定(23人)

6月18日ー疲労・ストレス測定(29人)

大阪公立大学健康科学イノベーションセンター協力

8月27日ー3D足型測定(20人)

ゲンキブリッジ合同会社協力

栄養相談

10月22日ー糖化度測定(74人)

認定特定NPO法人 健康ラボステーション協力

チューブエクササイズ(ステージ)

栄養相談

12月17日ー握力・内外転筋力測定(28人)

認定特定NPO法人 健康ラボステーション協力

(2) 北千里地域交流研究会に参加し情報の収集及び情報の発信

北千里地域交流研究会には、近畿大学総合社会学部教授・ディオス北千里事業者・千里金蘭大学・茨木商工会議所・各種市民活動団体等、ニュータウンのまちづくりに意欲のある団体・個人が参加(自由出席)

- 開催日 新型コロナウイルス感染拡大の影響で2か月に1回となる
5月5日(木)・7月7日(木)・9月1日(木)・11月3日(木)・1月5日(木)・3月2日(木) 各19時～21時

- 場所 ディオス北千里一番館会議室

- 参加人数 各15人～20人

【成果と課題】

- モデル地区2地区のうち1地区を、ディオス北千里を拠点とした北千里地区を設定して開催した。千里北センター株式会社が、健康まちづくりの取組みに賛同し、場所を無料で提供してくれたことでスムーズに開催することができた。
- 今年度は、今まで繋がりのなかった団体の協力を得て実施することができた。各種測定の後丁寧に話を聞き、アドバイスをすることで、各人に適した健康づくりの実践方法を学んでもらうことができた。
- 8月、10月は「祭り」と同時開催となり、子どもに付き添って若い方が多く来場されること、北千里は開発とともに今後若い層が増えることが予想されることから、その年代をターゲットとした取組みも考えていく必要がある。
- 北千里の取組での成果や課題等を検証しながら、来年度からは他の地域において、それぞれの地域の実情に合わせた取組みを進めていく必要がある。

6. 市民サポーター制度におけるコーディネート

【目標】

産学連携により生み出された健都発の製品・サービス等を市民が利用し、開発側へ実証データを提供するとともに市民ニーズを提案する地域実証の場として構築された、市民サポーター制度である「健都ヘルスサポーター」の運用に向けて、企業・研究機関・市民等をコーディネートする。

【概要】

三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社からの委託業務を中核に活動を実施した。

(1) 産学連携関係

①実証事業に関する支援

- ・実証事業等に関する会議に出席するなどし、助言を行った。

(2) 健都ヘルスサポーター制度関係

①健都ヘルスサポーター制度の運用等

- ・健都ヘルスサポーター制度の参加者を増やす方策の検討を行い、実現可能性が高い提言を行った。
- ・LINEを通じた健都ヘルスサポーターにおける情報発信等、健都ヘルスサポーター制度の運用を行った。

②健都ヘルスサポーター会員獲得のための周知及び健康関連イベントの実施等

- ・健都ヘルスサポーターの新規会員の獲得のため健康関連イベントを実施した。
- ・幅広い層のサポーターを獲得できるよう、イベントの内容を工夫した。

(3) その他

①会議運営等

- ・会議を開催し、進行や資料作成などの調整業務等を行った。
- ・健都関係者の開催する会議に出席し助言を行った。

【成果と課題】

- 地域実証の実現のため、各種産学官協議・打合せ、各種関連講演会・セミナー、

JST 共創の場支援プログラム・国立循環器病研究センターとの協議・打合せ、などの会議に多数参画/参加した。

- 「健康すいた（第 60 号）」や事業団主催の本年度中行事などを通じて、健都ヘルスサポーターの登録会員を数名～約 100 名単位で増加させることに寄与した。
- 健都ヘルスサポーターLINE 登録会員向けに定期的に以下の通り情報を発信した。
 - 学術情報発信（概ね、毎月 11 日前後配信） 8 回配信済（10 回/年予定）
 - 自治体発信情報（概ね、毎月 21 日前後配信） 8 回配信済（10 回/年予定）
- 次年度（令和 5 年度）以降において、事業団の種々活動・行事などにおいて、健都に集まる資源を地域にて活用することを目標に、吹田市はじめ「(一社)健都共創推進機構」などと協業/協力・連携をさらに強化していくことが望まれる。

7. 健康情報の収集と提供

【目標】

市民一人ひとりが健康を意識した取組みを続けるために、健康に関する情報を発信する。

【概要】

1) 情報紙「健康すいた」の市内全戸配布

- 発行回数 年 1 回（8 月 1 日）
- 配布部数 8 ページ 187,300 部

2) 健康パンフレット等の配布（事業参加者等）

- ・「日本列島縦断に挑戦」
- ・「健康ウォーキングガイド」
- ・「吹田さんちのお買い物便利帳」

3) その他

- ・事業ごとのパンフレット、ポスター、チラシ等の配布
- ・事業団ホームページに各事業の案内・報告等を随時掲載

【成果と課題】

- 読者からの声に寄せられる感想から、市民の健康に対する関心が高いことと、市民が「健康すいた」で掲載される記事から学び、自身の健康づくりに活用していることが分かった。
- ホームページを活用し、積極的に事業団の取組みや健康づくりのための情報発信を充実させた。

8. 健康づくり調査研究

- (1) 健康づくり事業の進め方についての調査研究
- (2) その他

9. 研修

- ・健康運動指導士講習会・・・1 名
- ・健康運動実践指導者講習会・・・1 名
- ・公益法人協会講習会・・・1 名
- ・共創フォーラム・セミナー等・・・11 名

10. 賛助会員制度の普及及び会員の増員を図る

- ・団体賛助会員・・・・・・・・・・24団体
- ・個人賛助会員・・・・・・・・・・8名

11. 関係団体との連携強化を図る

(1) 市内各大学等との連携

- ・千里金蘭大学・・「健康展」「健康まちづくり支援事業」の参加協力
- ・大和大学・・「チャレンジDAY」「レディース健康フェスティバル」での展示催し参画
- ・北千里高校・・「チャレンジDAY」での生徒企画の種目運営ならびにボランティア協力
- ・大阪大学・・「レディース健康フェスティバル」の参加協力

(2) ノルディックウォーキング普及に向けた地域スポーツ関係団体との連携

- ・スポーツ推進委員会、社会体育リーダー協議会等との連携

(3) 地域住民の健康づくりの取組に向けた地域団体や地域事業者等との連携

- ・「健康まちづくり支援事業」において、Dios北千里、健康関連団体との連携

(4) その他

貸借対照表

令和05年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	10,946,090	14,988,618	△4,042,528
未収金	2,200,000	0	2,200,000
前払金	300,410	301,570	△1,160
立替金	8,515	3,490	5,025
流動資産合計	13,455,015	15,293,678	△1,838,663
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	100,000,000	211,647	99,788,353
投資有価証券	117,000,000	216,788,353	△99,788,353
基本財産合計	217,000,000	217,000,000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	5,358,193	5,358,193	0
固定資産購入引当資産	780,550	780,550	0
特定資産合計	6,138,743	6,138,743	0
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	1	1	0
什器備品	87,148	87,148	0
電話加入権	74,984	74,984	0
リサイクル預託金	10,020	10,020	0
その他固定資産合計	172,153	172,153	0
固定資産合計	223,310,896	223,310,896	0
資産合計	236,765,911	238,604,574	△1,838,663
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,215,302	7,037,272	△1,821,970
前受金	757,200	771,100	△13,900
預り金	534,775	395,638	139,137
賞与引当金	563,000	814,000	△251,000
流動負債合計	7,070,277	9,018,010	△1,947,733
負債合計	7,070,277	9,018,010	△1,947,733
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	200,000,000	200,000,000	0
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	29,695,634	29,586,564	109,070
(うち基本財産への充当額)	(17,000,000)	(17,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,138,743)	(6,138,743)	(0)
正味財産合計	229,695,634	229,586,564	109,070
負債及び正味財産合計	236,765,911	238,604,574	△1,838,663

正味財産増減計算書

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	861,957	881,180	△19,223
特定資産運用益	58	66	△8
受取会費	240,000	283,000	△43,000
事業収益	2,663,721	1,793,590	870,131
受取補助金等	30,203,139	29,047,954	1,155,185
受取委託料	2,200,000	0	2,200,000
雑収益	42,586	89,196	△46,610
経常収益計	36,211,461	32,094,986	4,116,475
(2) 経常費用			
各種事業費	33,785,743	31,936,073	1,849,670
管理費	2,316,648	2,124,042	192,606
経常費用計	36,102,391	34,060,115	2,042,276
当期経常増減額	109,070	△1,965,129	2,074,199
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	109,070	△1,965,129	2,074,199
一般正味財産期首残高	29,586,564	31,551,693	△1,965,129
一般正味財産期末残高	29,695,634	29,586,564	109,070
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	229,695,634	229,586,564	109,070

(21)

正味財産増減計算書内訳表

経理区分 全体

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

科 目	合計	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去
		公益事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	861,957	7,310	854,647	0
基本財産受取利息	861,957	7,310	854,647	0
特定資産運用益	58	0	58	0
特定資産受取利息	58	0	58	0
受取会費	240,000	120,000	120,000	0
団体賛助会員受取会費	220,000	110,000	110,000	0
個人賛助会員受取会費	20,000	10,000	10,000	0
事業収益	2,663,721	2,338,721	325,000	0
自主事業収益	2,663,721	2,338,721	325,000	0
ヘルストレーニング教室受講料	487,296	487,296	0	0
レディースヘルス教室受講料	897,525	897,525	0	0
シェイプアップ体操教室受講料	500,000	327,000	173,000	0
ヘルシーウォーキング教室受講料	674,400	522,400	152,000	0
ウォーキング会員登録料	84,500	84,500	0	0
健康づくり実践教室参加料	20,000	20,000	0	0
受取補助金等	30,203,139	30,203,139	0	0
受取吹田市補助金	30,203,139	30,203,139	0	0
受取委託料	2,200,000	2,200,000	0	0
受取委託料	2,200,000	2,200,000	0	0
雑収益	42,586	42,570	16	0
受取利息	16	0	16	0
雑収益	42,570	42,570	0	0
経常収益計	36,211,461	34,911,740	1,299,721	0
(2) 経常費用				
各種事業費	33,785,743	33,785,743	0	0
給料手当	18,037,243	18,037,243	0	0
臨時雇賃金	597,153	597,153	0	0
福利厚生費	3,372,652	3,372,652	0	0
賞与引当金繰入額	547,000	547,000	0	0
旅費交通費	23,160	23,160	0	0
通信運搬費	200,222	200,222	0	0
消耗什器備品費	208,906	208,906	0	0
消耗品費	416,587	416,587	0	0
印刷製本費	1,738,941	1,738,941	0	0
燃料費	38,248	38,248	0	0
賃借料	1,659,446	1,659,446	0	0
保険料	191,490	191,490	0	0

(22)

正味財産増減計算書内訳表

経理区分 全体

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

科 目	合計	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去
		公益事業		
諸謝金	2,749,828	2,749,828	0	0
手数料	71,300	71,300	0	0
租税公課	12,300	12,300	0	0
支払負担金	1,853,149	1,853,149	0	0
委託費	2,068,118	2,068,118	0	0
管理費	2,316,648	0	2,316,648	0
役員報酬	478,800	0	478,800	0
給料手当	558,257	0	558,257	0
福利厚生費	106,920	0	106,920	0
賞与引当金繰入額	16,000	0	16,000	0
旅費交通費	3,180	0	3,180	0
通信運搬費	21,258	0	21,258	0
消耗品費	16,004	0	16,004	0
印刷製本費	2,379	0	2,379	0
光熱水料費	126,795	0	126,795	0
賃借料	330,000	0	330,000	0
保険料	47,330	0	47,330	0
諸謝金	372,725	0	372,725	0
支払手数料	25,790	0	25,790	0
租税公課	16,000	0	16,000	0
支払負担金	93,600	0	93,600	0
支払広告料	90,000	0	90,000	0
雑費	11,610	0	11,610	0
経常費用計	36,102,391	33,785,743	2,316,648	0
当期経常増減額	109,070	1,125,997	△1,016,927	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	109,070	1,125,997	△1,016,927	0
一般正味財産期首残高	29,586,564	20,799,003	8,787,561	0
一般正味財産期末残高	29,695,634	21,925,000	7,770,634	0
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	229,695,634	21,925,000	207,770,634	0

(23)

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当ありません。

(3) 固定資産の減価償却の方法

車輛運搬具・・・・・・・・・・・・・・・・・・新定額法によっている。

什器備品(食育SATシステム)・・・・・・・・ 新定額法によっている。

什器備品(上記以外)・・・・・・・・・・・・旧定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

変更ありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	211,647	99,788,353	0	100,000,000
投資有価証券	216,788,353	0	99,788,353	117,000,000
小 計	217,000,000	99,788,353	99,788,353	217,000,000
特定資産				
減価償却引当資産	5,358,193	0	0	5,358,193
固定資産購入引当資産	780,550	0	0	780,550
小 計	6,138,743	0	0	6,138,743
合 計	223,138,743	99,788,353	99,788,353	223,138,743

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	100,000,000	(100,000,000)	(0)	—
投資有価証券	117,000,000	(100,000,000)	(17,000,000)	—
小 計	217,000,000	(200,000,000)	(17,000,000)	—
特定資産				
減価償却引当資産	5,358,193	(0)	(5,358,193)	(0)
固定資産購入引当資産	780,550	(0)	(780,550)	(0)
小 計	6,138,743	(0)	(6,138,743)	(0)
合 計	223,138,743	(200,000,000)	(23,138,743)	(0)

5. 担保に供している資産

該当ありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	1,687,910	1,687,909	1
什器備品(プロジェクター)	232,050	208,845	23,205
什器備品(自動体外式除細動器)	309,750	278,776	30,974
什器備品(自動体外式除細動器)	329,700	296,732	32,968
什器備品(食育SATシステム)	2,887,596	2,887,595	1
什器備品計	3,759,096	3,671,948	87,148
電話加入権	74,984	0	74,984
リサイクル預託金	10,020	0	10,020
合 計	5,532,010	5,359,857	172,153

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当ありません。

8. 保証債務等の偶発債務

該当ありません。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第409回大阪府公募公債	117,000,000	116,747,163	△ 252,837
合 計	117,000,000	116,747,163	△ 252,837

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
受取 吹田市補助金	吹田市	0	30,203,139	30,203,139	0

11. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当ありません。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当ありません。

13. 関連当事者との取引の内容

該当ありません。

14. 重要な後発事象

該当ありません。

(26)

貸借対照表及び損益計算書の附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載

(2) 引当金の明細書

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	814,000	563,000	814,000	0	563,000

財 産 目 録

令和5年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金	普通預金 三菱UFJ銀行吹田支店	運転資金として	660,084	
		普通預金 りそな銀行吹田支店	運転資金として	9,510,231	
		普通預金 北おおさか信用金庫吹田支店	運転資金として	775,775	
	未収金		令和4年度委託料の未収金	2,200,000	
	前払金 立替金		令和5年度の費用の前払分 令和4年度の立替分	300,410 8,515	
流動資産合計				13,455,015	
(固定資産)	基本財産	預金	普通預金 りそな銀行吹田支店	法人の管理運営に使用している	100,000,000
			投資有価証券	公債 第409回大阪府公募公債	法人の管理運営に使用している
				公債 第409回大阪府公募公債	公益目的の保有財産であり各種事業に使用している
	特定資産	減価償却引当資産	普通預金 三菱UFJ銀行吹田支店	什器備品の買い替えの為に 積み立てている	5,358,193
		固定資産購入引当資産	普通預金 北おおさか信用金庫吹田支店	固定資産の購入のため積み立てている	780,550
	その他固定資産	車輛運搬具	車輛 1台	公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	1
		什器備品	プロジェクター	公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	23,205
			自動体外式除細動器 2台	公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	63,942
			食育SATシステム	公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	1
		電話加入権		公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	74,984
	リサイクル預託金	リサイクル預託金	車輛のリサイクル預託金	10,020	
固定資産合計				223,310,896	
資産合計				236,765,911	
(流動負債)	未払金 前受金 預り金 賞与引当金		令和4年度の費用等の未払分	5,215,302	
			令和5年度の受講料の前受分	757,200	
			社会保険料等の預り分	534,775	
			令和5年度賞与の引当金	563,000	
流動負債合計				7,070,277	
(固定負債)				—	
固定負債合計				—	
負債合計				7,070,277	
正味財産				229,695,634	

独立監査人の監査報告書

令和5年5月12日

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団

理事長 三谷 一裕 殿

辻本公認会計士事務所

大阪府大阪市

公認会計士 辻本 敏行

<財務諸表等監査>

監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事

実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計

の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の令和5年3月31日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書


令和5年 5月 12日

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団
理事長 三谷 一裕 殿

監事

山之内 一馬 

監事

高田 徳也 

私たち監事は、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団定款第31条の規定に基づき、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

報告第6号

公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について

公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

令和5年度（2023年度）公益財団法人千里リサイクルプラザ事業計画

1 公益目的事業（公1）

廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用の促進により天然資源を守り、脱炭素社会を目指し、地球温暖化の防止等を含む循環型社会を構築・推進するなど、地球環境への配慮を視野に入れたよりよき生活環境を形成することは、私たちに課せられた責務といえます。

本法人は、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践する中で環境保全が図られ促進されることを目指し、市民目線に立ち広く人々の参画を得て生活に密着した次の各事業を実施します。

(1) 啓発・普及活動に関する事業

SDGs 17の目標の内“(12) つくる責任つかう責任”に軸足を置き、ごみを出さない「もの」づくりをめざして、廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用が人々の生活や社会の仕組みとして定着する循環型社会の構築に向け、ごみをはじめそれに係る環境・資源問題の啓発・普及活動として、次のような事業を行います。

- ア. 市民工房の運営（受託事業）
- イ. 視察・見学者の応対（受託事業）
- ウ. 環境啓発動画コンテスト開催（受託事業）
- エ. 展示等に関する事業（受託・自主事業）
- オ. 市民・企業参画事業の実施（受託・自主事業）
- カ. 環境実践教室の開催（自主事業）
- キ. イベントの開催（自主事業）
- ク. リユース食器に関する事業（自主事業）
- ケ. プラザメイトに関する事業（自主事業）

(2) 調査研究・情報提供に関する事業

SDGs 17の目標の内“(17) パートナリーシップで目標を達成しよう”に軸足を置き、循環型社会の構築とよりよき生活環境の形成を目指して、環境に配慮したライフスタイルに関する調査研究活動及び実践活動を展開・促進するため、また、市民研究活動に関する機関紙・研究報告書、情報紙の発行、環境関連図書・雑誌類を公開・貸し出し、その他本法人の活動内容等を広く市民に発信・公開するとともに、受発信による情報の蓄積や積極的活用のため、次のような事業を行います。

- ア. 市民研究所等による調査・研究及び実践活動（受託・自主事業）
- イ. 研究報告書の発行（自主事業）

- ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行（自主事業）
- エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行（自主事業）
- オ. HPの公開、情報スタジオコーナーの常設（自主事業）

(3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

SDGs 17の目標の内“(4)質の高い教育をみんなに”に軸足を置き、廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用や地球温暖化防止などに関する講演や講座を開催するとともに、団体等や学校からの依頼による環境出前講座を実施し、市民や児童・生徒等に対して環境問題に対する意識の向上を図り、啓発・普及させるため、次のような事業を行います。

- ア. 講演会の開催（受託事業）
- イ. 入門講座の開催（自主事業）
- ウ. 研修講座の開催（自主事業）
- エ. 環境出前講座の実施（自主事業）
- オ. 環境学習発表会及び展示発表会（広がれ！環境の輪）の開催（自主事業）
- カ. 職場体験・大学関係等の支援（自主事業）

2 収益事業等（収1）

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務について、次のとおり実施します。

(1) 施設の管理運営業務（受託事業）

- ア. 貸室の使用の許可・使用料の徴収及び施設HPの管理に関する業務
- イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務

3 管理事業（法人会計）

公益財団として今後の指定管理受託継続に向け、環境についての職員の知識向上やスキルアップ、自主事業での収益の獲得を目指し、その方策の研究に努めるとともに財団の運営に関わる内部統制に努力していきます。

(1) 財団の管理運営業務（自主事業）

- ア. 環境助成金獲得事業（自主事業）
- イ. 職員研修（自主事業）
- ウ. 財団名変更（自主事業）

収支予算書

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(全 体)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益(経常)	18,720,820	18,720,820	0
特定資産運用益	855	855	0
会費収益	120,000	60,000	60,000
事業収益	54,672,600	56,742,530	△2,069,930
吹田市受託事業収益	51,962,000	51,760,000	202,000
受講料収益	426,000	2,520,280	△2,094,280
工房成果品販売収益	728,800	830,400	△101,600
セカンド品販売収益	286,200	180,000	106,200
フリーマーケット出店手数料収益	558,000	492,000	66,000
リユース食器貸出手数料収益	360,000	667,150	△307,150
その他事業収益	351,600	292,700	58,900
雑収益	49,000	53,080	△4,080
経常収益計	73,563,275	75,577,285	△2,014,010
(2) 経常費用			
事業費	54,411,873	56,931,644	△2,519,771
給料手当	17,752,000	17,803,000	△51,000
賞与	2,351,000	2,400,000	△49,000
臨時雇賃金	9,564,938	9,849,008	△284,070
福利厚生費	4,128,491	4,180,921	△52,430
賞与引当金繰入額	834,000	1,066,000	△232,000
会議費	16,500	10,000	6,500
旅費交通費	2,105,110	2,158,930	△53,820
通信運搬費	590,988	629,703	△38,715
減価償却費	884,660	1,204,660	△320,000
消耗品費	2,351,978	2,222,770	129,208
修繕費	206,000	330,000	△124,000
印刷製本費	650,000	750,000	△100,000
燃料費	0	42,000	△42,000
光熱水料費	80,000	80,000	0
使用料	166,560	166,560	0
賃借料	240,000	220,000	20,000
支払手数料	10,150	6,090	4,060
保険料	76,000	86,000	△10,000
諸謝金	6,681,000	6,777,500	△96,500
租税公課	3,146,123	3,132,952	13,171
支払負担金	57,000	17,000	40,000
広告宣伝費	400,000	340,000	60,000
委託費	2,114,375	3,453,550	△1,339,175
雑費	5,000	5,000	0

(4)

収支予算書

令和05年04月01日 から 令和06年03月31日 まで

(全 体)

(単位：円)

管理費	19,552,877	19,767,048	△214,171
役員報酬	2,564,400	2,564,400	0
給料手当	8,059,339	8,080,310	△20,971
賞与	1,063,831	1,092,368	△28,537
臨時雇賃金	1,331,562	1,482,424	△150,862
福利厚生費	1,963,937	1,991,777	△27,840
賞与引当金繰入額	379,000	485,000	△106,000
旅費交通費	621,930	624,739	△2,809
通信運搬費	124,320	124,320	0
減価償却費	212,400	212,849	△449
消耗品費	236,580	236,580	0
修繕費	20,000	20,000	0
燃料費	48,000	48,000	0
使用料	174,250	170,876	3,374
賃借料	285,840	289,296	△3,456
支払手数料	46,340	44,680	1,660
保険料	68,390	67,890	500
諸謝金	235,000	235,000	0
租税公課	1,335,054	1,322,405	12,649
支払負担金	213,700	213,700	0
広告宣伝費	20,000	20,000	0
委託費	499,004	390,434	108,570
雑費	50,000	50,000	0
経常費用計	73,964,750	76,698,692	△2,733,942
当期経常増減額	△401,475	△1,121,407	719,932
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△401,475	△1,121,407	719,932
一般正味財産期首残高	17,422,593	18,544,000	△1,121,407
一般正味財産期末残高	17,021,118	17,422,593	△401,475
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益(指定)	18,720,820	18,720,820	0
一般正味財産への振替	△18,720,820	△18,720,820	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	963,280,000	963,280,000	0
指定正味財産期末残高	963,280,000	963,280,000	0
III 正味財産期末残高	980,301,118	980,702,593	△401,475

令和4年度(2022年度) 公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告書

地球温暖化防止等を含む環境への負荷を少なくする循環型社会の構築に向け、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践し、また環境保全を定着・促進するため、市民の参加のもとに次の事業を計画しました。

本年度においては、新型コロナウイルス禍は途中、変異株であるオミクロンの新たな派生型BA.5の蔓延なども懸念されましたが、全体として徐々に下火の傾向が見られてきました。その中にあっても、市民の安全確保を最優先として行政(吹田市)の指示に基づき感染拡大防止のため、3密回避の対策の徹底に努め、以下の通り事業を実施しました。

また令和4年は財団設立30周年の記念すべき年にあたり、吹田市他の出捐者(社)並びに当財団の環境啓発活動にこれまでご尽力いただいた関係各位にご参集いただき、6月26日(日)にはくるくるプラザマルチホールにて記念式典を開催しました。

1. 公益目的事業として、次の事業を実施しました。(公1)

(1) 啓発・普及活動に関する事業

ア. 市民工房の運営(受託事業)

各工房において、市民の日常生活に密着し、修理・再生により使い続けることのできる物品の展示事例と、もったいない精神に裏付けられた技術伝承の場の提供や確保を主たる目的として活動を行いました。新たに各工房での啓発活動においてCO₂削減の観点も明確に据えて、来館者が楽しみ学びながらリユース・リサイクルできるように、修理・再生・リフォームの助言・指導を行い、各工房で再生した成果品を展示しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒はもとより施設内で密集が予想される市民工房には飛沫防止用透明スクリーンの設置によるソーシャルディスタンス確保等、3密回避への対応に努めて実施しました。

工 房 名	対象品	見学者数	実技受講者数 (再掲)	成果品展示数
布工房	衣類	1,799名	1,694名	43点
緑工房	紙パック	1,051名	1,001名	15点
自転車工房	自転車	259名	192名	110点
木工工房	家具類	1,759名	1,358名	226点
合 計		4,868名	4,245名	394点
合 計 (前年度)		3,793名	3,333名	466点

イ. 視察・見学者の対応(受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回の見学人数の制限や中央操作室の入室見合わせ等、3密回避に努めながら実施しました。

区 分	団 体 数	人 数	前 年 度	
			団 体 数	人 数
小～大学生	46団体	4,178名	27団体	1,840名
市民団体	9団体	144名	5団体	78名
行 政	4団体	55名	2団体	15名
民間企業	4団体	62名	3団体	15名
海 外	1団体	9名	0団体	0名
計	64団体	4,448名	37団体	1,948名

ウ. 脱温暖化啓発に関する事業(受託事業)

① 原始力発電コーナー

自力で自転車を漕ぎ、イルミネーションを点灯させたり電車の模型を走らせる自家発電体験を提供する原始力発電コーナー及び温暖化防止に関連したエコ人間すごろくは、その一部を8月のEXPOCITYの吹田市情報発信プラザ(インフォレストすいた)でのフェア「エコとすいた くるくるプラザであそぼう」に出展し、参加者が楽しみながらエコを体験しました。(次項の出張展示会参照)

② 環境啓発動画コンテスト

実施日	内 容	対象者	応募作品及び受賞作品数	
			本年度	前年度
応募期間 8月2日(火)～ 11月1日(火)	地球温暖化防止、食品ロス、海洋汚染をテーマとする動画を募集し、HP上での人気投票を実施	市民	応募作品数 74作品	応募作品数 42作品
投票期間 11月18日(金)～ 12月16日(金)				
応募作品審査 12月16日(金)	専門家の意見を参考に、応募作品の審査を実施		優秀賞 1作品 奨励賞 3作品	優秀賞 2作品 奨励賞 2作品

エ. 展示等に関する事業(受託・自主事業)

① 展示コーナーの常設(受託事業)

市民工房で再生した成果品や市民研究所の環境出前講座等で使用する教材の一部をホワイエに、またB棟5階展示室では「すいたのごみの歴史」を常設展示しました。

② 出張展示会(受託事業)

8月1日(月)から8月30日(火)までEXPOCITY内の吹田市情報発信プラザ(インフォレストすいた)で「エコとすいた くるくるプラザであそぼう」展を実施し、のべ1,930人が訪れました。新聞紙すいたん、そらくる号の展示の他、エコクイズ、原始力発電自転車体験、また19日(金)には手作りおもちゃと環境ATによる紙パックでのおもちゃ作り体験を実施し好評を博しました。

1月16日(月)から20日(金)にかけては、吹田市役所本庁1階ロビーにおいて市民研究所各チームの活動を初め、プラザの多岐にわたる環境啓発活動を紹介するパネルを展示しました。ロビー入口には新聞紙アートのすいたんも展示し、市役所を訪れる市民に向けた広報に努めました。

また1月21日(土)、22日(日)両日に環境教育フェスタのプレイベントとして、イズミヤ千里丘店にて、くるくるプラザの紹介パネル展示をしました。

③ あげます・もらいますコーナーの利用状況(受託事業)

休館時及びコーナー準備のための休止や設営期間を除き実施しました。特に通常の活動に加え、コーナーが閉室となるイベント開催日(5月15日(日)、3月12日(日))にも、登録なしで参加できる、もらいます体験を併せて実施しました。

品 目	持ち込み品	持ち帰り品	
衣 類	14,533点	10,191点	
食 器	5,875点	5,187点	
合 計	20,408点	15,378点	
件 数	876件	1,841件	
前 年 度	数 量	17,111点	12,103点
	件 数	624件	1,496件

④ 再生成果品等の販売(自主事業)

再生成果品及びセカンド品を常時販売しました。また、自転車は毎月の抽選での販売を実施しました。

工房名	対象品	成果品販売数	販売時期	販売品目	内容
市民工房1	衣類	42点	常時	衣類のリフォーム品 紙すき製品 木工小物	市民工房において再生した成果品を販売。
市民工房2	紙パック	9点			
市民工房4	自転車	115点	毎月	自転車	毎月1回の抽選販売。売れ残りは随時販売。
市民工房6	家具類	220点			
合 計		386点	9月 3月	家具	抽選販売。売れ残りは随時販売。
合 計 (前年度)		337点			

対象品	販売数	前年度	販売時期	販売品目	内容
セカンド品 (未使用の市民提供品)	1,775点	1,254点	常時	セカンド品	市民から提供を受けた未使用の衣類・食器を販売。

らっくdeプリマ 出店 期間	来室者数	出店数	出店形式	出店内容
第1期 R4. 4～R4. 6	1,616名	53店舗	4段ラック 3段ラック 2段ラック ハンガーラック	市民の方に場所を提供し、使わなくなったものなどリメイク・リユース品を中心に展示し、低額で販売
第2期 R4. 6～R4. 8	1,147名	54店舗		
第3期 R4. 9～R4.10	1,385名	54店舗		
第4期 R4. 11～R5. 1	1,082名	54店舗		
第5期 R5. 1～R5. 3	1,116名	50店舗		
合 計	6,346名	265店舗		
合 計 (前年度)	5,002名	201店舗		

オ. 市民・企業参画事業(受託・自主事業)

① 万博ごみゼロウォーク(受託事業)

市民、事業者、行政、市民研究員、プラザが協働して万博外周道路をウォーキングしながら散在ごみを回収・調査する万博ごみゼロウォークは、年々ごみ量が減少し当初の目的を達成したとして、万博ごみゼロウォークファイナルの名の下に11月12日(土)に最後の開催をしました。ファイナルには千里金蘭大学、大阪学院大学の学生ボランティアを含む55名のサポートも受け、17団体、個人及びスタッフを併せて総勢309名が参加し有終の美を飾りました。

尚、令和5年度は新たにかえっこバザールを中心とした、もったいないバザール(仮称)を市民・企業参画イベントとして実施することになっています。

実施日	参加者		回収したごみ(分類別収集量)			
	団体数	人数	缶	びん	ペットボトル	燃焼ごみ
(注1) 11月12日(土)	17団体	309名	48個	8本	48本	90kg
令和元年(注2)	32団体	404名	129個	34本	215本	83kg

(注1) 参加者数の人数にはスタッフを含みます。

(注2) 令和2年と令和3年はコロナ禍により実施を見送ったため、令和元年を参考実績として記載しています。

② 他団体との協働事業(自主事業)

8月18日(木)に、大阪大学環境サークルGECSと協働で、子どもたちが協力し合いSDGsに関する謎解きを楽しみながら、環境問題への興味・関心を持つことを目標とする「GECSクエスト ～環境王への道～」をプラザ施設内で開催し、親子連れで14名の参加がありました。

また12月4日(日)には、おおさか多胎ネットとともにプラザが共催として携わり、多胎児サークル2団体(さくらんぼ、双子サークルジェミニ)による双子三つ子フリーマーケットがマルチホールで開催されました。尚、開催にあたっては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マルチホールへの入室者数は最大でも定員の半分以下となるよう、入替制(3組)とし事前検温・消毒・マスク着用も徹底し、参加者の安全確保に努めて実施しました。

カ. 環境実践教室の開催(自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため3密回避に努め、市民が楽しみながら資源の再使用や再生利用を体験できるように以下の環境実践教室を実施しました。

	教室名	1教室当 開催日数	実施回数	受講者数	延受講者数	前 年 度			
						実施回数	受講者数	延受講者数	
(注1)	布	布のリメイク1日	1日	5回	35名	35名	4回	28名	28名
		布こもの	1日	2回	2名	2名	2回	7名	7名
(注2)	ガラス 工芸	バーナーワーク初心者	1日	134回	69名	69名	118回	57名	57名
		バーナーワーク自由3回	3日		39名	49名		5名	15名
		フュージングアクセサリー	1日		95名	95名		103名	103名
		フュージングオブジェ	1日	54回	66名	66名	70回	61名	61名
		サンドブラスト	1日		42名	42名		24名	24名
		3Dペイント	1日		7名	7名		16名	16名
	陶芸	陶芸3回	3日	6回	18名	54名	8回	19名	57名
		陶芸2回	2日	6回	4名	8名	8回	12名	24名
		陶芸初心者2回	2日	4回	15名	30名	/	/	/
		陶芸形成	1日	/	/	/	5回	41名	41名
		陶芸夏休み2回	2日	2回	18名	36名	2回	19名	38名
		陶芸夏休み絵付	1日	2回	13名	13名	2回	20名	20名
		陶芸夏休み形成	1日	/	/	/	/	/	/

家具・木工	木工1日	1日	5回	16名	16名	3回	11名	11名
	夏休みこども木工	1日	4回	66名	66名	4回	68名	68名
手作りおもちゃ	オイル万華鏡	1日	2回	20名	20名	2回	19名	19名
アイシルトバレー	クレイシルバー3回	3日	12回	48名	100名	10回	19名	57名
	クレイシルバー初心者	1日	12回	10名	10名	10回	3名	3名
クラフト	革小物	1日	48回	50名	50名	22回	24名	24名
その他	廃ダンボール工作	1日	4回	55名	55名	4回	61名	61名
	尾舞鳥工作	1日				1回	10名	10名
	包丁研ぎ	1日	2回	21名	21名			
	キラキラ時計	1日	1回	4名	4名			
	クラフト製作	1日	2回	26名	26名			
	LED作品制作	1日	2回	26名	26名			
施設見学後の体験	布体験	1日	6回	54名	54名	4回	41名	41名
	木工体験	1日	8回	83名	83名	3回	29名	29名
	(紙すき体験)	1日				6回	101名	101名
くるくる体験	布体験	1日	6回	60名	60名	7回	54名	54名
	陶芸体験(絵付け)	1日	6回	122名	122名	7回	133名	133名
	ガラス工芸体験	1日	3回	97名	97名	5回	143名	143名
	木工体験	1日	6回	76名	76名	7回	88名	88名
	レザークラフト体験	1日	3回	42名	42名	2回	30名	30名
合 計			347回	1,299名	1,434名	316回	1,246名	1,363名

(注1) 正式な教室名称は「布のリメイク」となります。

(注2) ガラス工芸は同日の排他的選択実施のため、実施回数は1つにまとめて表記しています。

(注3) 本年度より施設見学後の紙すき体験は環境出前講座として実施し、環境実践教室から除外しています。

キ. イベントの開催(自主事業)

① フェスタ

不特定多数の参加者が想定され、新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要な3密回避が困難な状況を考慮して、本期間中のフェスタは事前予約制のくるくるワークショップとして開催しました。

事業名 (当初予定)	実施日	内 容	参加者数(注1)	前年度 参加者数
くるくる春が きたフェスタ				98名
くるくるキッズ フェスタ	5月15日(日)	<p>児童福祉週間のある5月に子どもを中心に地球環境保全や3Rの輪を広げるために、キッズあげもらフェアを中心とするフェスタを計画していましたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、くるくるワークショップを実施しました。</p> <p>実施にあたっては消毒、検温を行い、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制により、来館者保護を徹底してソーラーカー乗車体験、くるくる体験他を提供しました。</p>	210名	緊急事態宣言発出期間中のため、施設休館により未実施。
くるくる 夏フェスタ	8月21日(日)	<p>親子で参加しやすい夏休み期間中に、地球環境保全や3Rの輪を広げるためにフェスタを計画していましたが、コロナ禍における3密回避が困難なためこれに代え同日にくるくるワークショップを実施しました。</p> <p>実施にあたっては消毒、検温を行い、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制により、来館者保護を徹底してくるくる体験や廃段ボール工作等を提供しました。</p>	208名	164名
くるくる 秋フェスタ	9月18日(日)	<p>地球環境保全や3Rの輪を広げるための再生家具オークションを中心としたフェスタを計画していましたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、再生家具は抽選販売とし、消毒、検温を徹底し、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制によるくるくるワークショップを同日に実施し、ソーラーカー乗車体験、くるくる体験、LED作品製作、学生によるブース等の提供を行いました。</p>	150名	75名
くるくる ハロウィン	10月23日(日)	<p>地球環境保全と3Rの輪を広げるために、年1回の大フリーマーケットを開催する予定でしたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、くるくるワークショップを実施しました。</p> <p>実施にあたっては消毒、検温を行い、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制により、来館者保護を徹底してソーラーカー乗車体験、くるくる体験や廃段ボール工作他を提供しました。また感染対策の下でハロウィン仮装やお菓子のすくい取りも行いました。</p>	234名	112名
くるくる クリスマス	12月11日(日)	<p>クリスマスの時期に合わせて、特に子どもを中心とした地球環境や3Rの輪を広げるために、原子力発電自転車のクリスマスイルミネーションの点灯、かえっこバザール等を開催する予定でしたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、くるくるワークショップを実施しました。</p> <p>実施にあたっては消毒、検温を行い、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制により、来館者保護を徹底してくるくる体験や廃段ボール工作、すいたおはなしの会によるお話、影絵他を提供しました。</p>	123名	141名

くるくる 春フェスタ	3月12日(日)	気候の良い春の日にフェスタを計画していましたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、消毒、検温を徹底し、且つ参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制によるソーラーカー乗車体験、くるくる体験を中心とした、くるくるワークショップを実施しました。	138名	109名
合 計			1,063名	883名(注2)

(注1) 本年度の参加者数は当日の来館者実数を記載しています。

(注2) 前年度は11月21日にくるくるコレクションをくるコレフェスタ(くるくるワークショップ)として開催したため、前年度合計にはその参加者数184名を含めています。

② おもちゃ病院

飛沫防止用透明スクリーンの設置等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めながら、市民の持ち込んだ壊れたおもちゃを、おもちゃドクターが即日又は入院修理し、リユースの啓発活動を行いました。

実 施 日		修 理 件 数	前年度修理件数
第1回	4月 17日(日)	12件	5件
第2回	5月15日(日)	18件	緊急事態宣言発出期間中のため、施設休館により未実施。
第3回	6月19日(日)	15件	
第4回	7月 17日(日)	10件	16件
第5回	8月21日(日)	21件	11件
第6回	9月18日(日)	17件	8件
第7回	10月23日(日)	20件	12件
第8回	11月20日(日)	5件	9件
第9回	12月11日(日)	9件	14件
第10回	1月15日(日)	21件	16件
第11回	2月19日(日)	13件	13件
第12回	3月12日(日)	13件	14件
合 計		174件	118件

③ くるくるコレクション

令和3年度まではイベント時の催しとして開催していましたが、令和4年度は30周年記念特別企画「くるくるコレクションリサイクル」として単独開催しました。また脱プラスチック啓発のパネル展示も行いました。

実施日	内 容	対象者	応募作品及び受賞作品数	
			本年度	前年度
応募期間 9月21日(水)～ 10月9日(日)	リメイク・リユースされたものを中心とする着物をリメイクした洋服、小物、端材で作った木工作品、壊れた陶器を利用した陶芸作品、空き缶、ペットボトル、段ボール等で作ったオリジナル応募作品を展示。	市民	応募作品数 37作品	応募作品数 42作品
投票期間 10月20日(木)～ 11月20日(日)	今年度は30周年記念企画として、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」のマイクロプラスチック問題を踏まえたプラスチック素材の使用作品をメインに募集。			
応募作品審査 11月20日(日)	展示会場及びインターネットでの市民の人気投票の合計獲得票数を基に、プラザ執行役員及び事務局が最終審査し優秀作品を選出。		くるコレ理事長賞 1作品 くるコレ人気大賞 1作品 くるコレアイデア賞 5作品 くるコレキッズ大賞 1作品	くるコレ理事長賞 1作品 くるコレ人気大賞 1作品 くるコレアイデア賞 4作品 くるコレキッズ大賞 1作品
リサイクルと表彰式 11月27日(日)	優秀作品の制作者が自ら制作意図や制作過程での工夫等を会場で説明後、表彰式を挙行。			

④ 食ロスあげます・もらいます

当施設の目的の一つである「ゴミ排出量抑制」を進めていくため、10月の食品ロス削減月間において、来館者に家庭で賞味期限の比較的近い品物を再確認し、食品ロス削減取組の意識を持ってもらう機会を提供しました。これらの取組を通じて食品ロスについてわかりやすく伝え、食品を無駄にしないという意識啓発の一助として今後とも継続して取組んでいく予定です。

実施日	内 容	対象者	食品の預かり数及び持ち帰り数	
			本年度	前年度
開催期間 10月1日(土)～ 11月30日(水)	食品ロスを削減することをテーマに、くるくるプラザ館内のショッピングエリアに食品ロス削減チャレンジコーナーとして食品庫(零蔵庫＝れいぞうこ)を設置。 賞味期限間近のものや沢山買いすぎたために食べ切る事が困難な未開封食品などを集め、それを必要とする人が持って帰ることのできる「食ロスあげます・もらいます」実施。	市民	食品の預かり数 243点 食品の持ち帰り数 139点	/

ク. リユース食器貸出に関する事業(自主事業)

		件数	食器類	箸等	前年度		
					件数	食器類	箸等
貸出	吹田市内	3件	570点	0点	0件	0点	0点
	吹田市外	13件	9,131点	4,585点	3件	775点	500点
	合計	16件	9,701点	4,585点	3件	775点	500点
洗浄作業受託(注)		1社	10,109点	0点	2社	5,844点	0点
総計			19,810点	4,585点		6,619点	500点

(注) 他の法人・団体が有するリユース食器の洗浄作業を受託するもの。

(追加報告)

近隣の類焼によるNPO地域環境デザイン研究所ecotoneのリユース食器洗浄機の被災救済協力として、令和4年12月にプラザ所有の食器洗浄機の使用(有償)を許可しました。なお、被災からの復旧状況を考慮し今回の協力は令和5年3月までとしています。

	食器類	箸数 (ラック洗浄回数)
洗浄機使用	24,027点	3回

ケ. 会員(プラザメイト)に関する事業(自主事業)

ごみ問題や地球温暖化などの環境問題をより多くの人々に理解してもらい、つながりを広げてゆくため会員(プラザメイト)を募集しました。会員には財団が発行する情報紙や、各種催しの案内を送付しました。

(2) 調査研究・情報提供に関する事業

ア. 調査・研究及び実践活動(受託・自主事業)

① 市民研究員による吹田市主催等のイベントへの参画(受託事業)

吹田市ごみ減量再資源化推進会議に市民研究員の打越明美、福田規子の2名が参加しました。なお会長には当財団の市民研究所主任研究員である三輪信哉氏が互選されました。

事業名	主催団体名	実施日	内容	会場
第1回吹田市ごみ減量再資源化推進会議	吹田市	7月1日(金)	吹田市のプラスチックごみに関する取り組みについて報告	千里山コミュニティセンター
すいた環境教育フェスタ	吹田市	2月5日(日)	くるくるプラザの紹介と市民研究所の環境啓発活動紹介	メイシアター
第2回吹田市ごみ減量再資源化推進会議	吹田市	2月13日(月)	フードドライブの取組報告、ごみ減量に向けた取り組み交換	千里山コミュニティセンター

② 市民研究員による調査・研究及び実践活動(自主事業)

市民研究員がテーマごとにチームを組織し、生活者の視点で調査・研究を行うとともに、啓発・普及のための実践活動を行いました。

プロジェクトチーム(PT) アクションチーム(AT)	活動目標と内容	開催数
市民とお店をエコでつなぐ	<p>「プラスチックごみ削減」をテーマとして研究する。また「食品ロス削減」についても、「食品すごろくゲーム」を通じて多くの市民に分かりやすく伝える研究を進める。</p> <p>①定例会で「プラごみ削減」の訴求・告知活動の進め方について話し合い、啓発用ポスター作成の検討を行ったが、より効果的と考えられる「すごろくゲーム」作成に取り組んだ。 ②環境出前講座(クラブ支援)に提供する「プラスチックごみ」と「すごろくゲーム」の改良に係る追加修正作業を実施した。 ③環境出前講座(クラブ支援)に提供する「ふろしきの活用」については動画を試作したが、試写会で不十分な点が多く判明し再度撮影を行い、修正作業中である。今後は、令和5年度中にHPに掲載していく。 ④吹田市環境部へのプラスチックごみに係る質問状の回答から、市はプラスチックごみの分別を検討しているが現時点で具体的な施策は決定しておらず、むしろ排出抑制に重点を置いていることがわかった。 ⑤亀岡市へのプラスチックごみに係る質問状の回答を再三は要請したが回答がなかった。 ⑥家電リサイクル工場見学について検討を行った。</p>	43回
PT (プロジェクトチーム) 吹田ごみゼロシステム研究	<p>ごみゼロ(すてるをなくす)へのシステム研究 ①ごみゼロに向けた新たな「仕組み」に関する課題の解明。 ②調査研究にともなう情報発信のより有効な手法を研究。</p> <p>①プラスチック問題のテーマは多様でメンバー全員で考え議論するため定例会開催回数を増やした。 ②各メンバーが自身の研究テーマ、進め方等につき報告し、主担研究員の指導助言の下で必要な計画修正を実施した。 ③吹田市との情報交換の進め方についても協議した。 ④ブログ更新については、ブログアップ手順の確認と積極的な更新ができる方法について議論した。その結果、輪番制を取り入れ、週1回程度、定期的な更新ができるようになっていく。 ⑤研究実践発表会で報告する内容について検討し、個別のテーマと全体のテーマを明確にした。 ⑥研究報告書作成に向けて、タイムスケジュールを設定し、提出期限内に原稿作成できる体制を話し合った。</p>	31回
身近な環境を調べよう	<p>吹田市の糸田川の環境を調べ、特にごみを少なくしていくための啓発活動を行う。</p> <p>①3年計画の最終年度となる糸田川の調査を実施した。 ②糸田川調査の動画作成に向けシナリオを完成し、撮影実施後に動画編集や音入れ作業(ナレーション、コメント、BGM)を行い、HPにアップロードした。 ③出張展示用のパネル作成について話し合い、みんなが見やすいパネルを作成することができた。 ④チーム内の会議により、次年度から市内の池の調査実施を計画し、釈迦池、水遠池、菩提池、牛ヶ首池、春日大池、蓮間池を対象とすることに決定した。 ⑤くるくる環境スクール修了生に対して、本PTの活動をアピールする方法を話し合った結果、現地調査に参加してもらい活動を実際に体験してもらった。 ⑥年4回(4月、7月、10月、1月)「池の観察チェックシート」を用いて調査することを決定した。</p>	33回

PT (プロジェクトチーム)	SDGs啓発	<p>SDGs啓発のための有効な活動を考える。</p> <p>①環境出前講座(クラブ支援)におけるエコゲームの内容、またくるくる環境スクールでのカードゲームの内容についてそれぞれ検討し、チーム内で役割を決めた。 ②代表者が受講した研修講座の中から、SDGsカードゲームをチームメンバーに紹介し、今後の方針としてチーム独自のカードゲーム作成についても検討したが、まずは既存のカードゲームの活用から進めていくことにした。 ③NEWエコゲームについて、完成形を想定してその内容・進め方について話し合ったが、個人の力量に頼ることが多いため、根本的に考え直す必要がある。 ④PT内での今後の運営方法や各メンバー間の距離感を縮める方策についてチーム内で話し合った結果、ソファールのある情報スタジオでの定例会を実施し、和やかに進められるようになってきている。 ⑤小学校のクラブ支援だけでなく、今後は公民館講座やPTA研修講座等において、SDGs啓発のための環境出前講座を広げていけるよう広報活動をしていく。</p>	33回
	紙すき体験と環境	<p>紙すきを通じて、小学生及び一般市民へ環境問題の啓発を行う。</p> <p>①紙すきに特化したATとして、市内小学校3校に対して紙すき体験活動を実施した。令和5年度からは4校で実施していく。 ②メンバーが8名に増え施設見学後の体験学習も円滑に実施できた。 ③紙すきは森林問題を考える取組みの手段であることを理解してもらうために、体験実施前に受講者には森林資源の大切さや3Rについてパワーポイントを使いしっかりと説明を行った上で、コロナ禍の感染対策を徹底しクラブ支援、施設見学後の体験学習、くるくるキッズ環境スクール、くるくる環境スクール等の場で実施した。</p>	30回
AT (アクションチーム)	手作りおもちゃと環境	<p>廃品を再利用した手作りおもちゃの指導を通じ、ごみの減量化と環境問題の啓発・意識向上を図る。3年目となる今年度は児童のおもちゃ選定を最終集計し、結果分析を実施の上で有効性を判断し集約する。</p> <p>①小学校のクラブ学習支援については、担当の先生の協力や児童の積極的な参加を受けて順調に活動が進んだ。 ②プラザでのフェスタ(本年度はくるくるワークショップとして実施)では、低学年児童の参加が多く、どのように環境啓発を進めるのが課題であり、実施後の保護者からのアンケートを参考に指導方法を検討した結果、視覚的な支援として作り方・遊び方の動画作成を行うことにした。 ③児童の興味を今後とも保つためにも、新たなおもちゃ作りの開発を検討しメンバーのスキルアップにも努めた。新メンバーも増えるため、今後も継続して実技研修等を行っていく。 ④ATとしてメンバーの参加率も高く、しっかりした協力体制が築け円滑に運営を行うことができた。 ⑤コロナのため、実現できなかった外部研修(万華鏡ミュージアム)を計画し、令和5年度初めに実施することを決定した。</p>	57回

A T (ア ク シ ョ ン チ ー ム)	マイ食器啓発	令和7年を目途に財団オリジナルマイ食器を開発して、脱プラスチック啓発活動を推進していく。 ①9月9日(金)の研究運営委員会でのマイ食器啓発アクションチームの立ち上げ承認を受けて、毎月第4金曜日に定例会を開催した。 ②マイ食器として、保有しているリユース食器活用の可能性や、新たにコンパクトな食器を作成する場合についてどのように進めて行けばよいのか話し合った。 ③当面の課題はメンバーの増員確保であり、環境スクール修了生から新たなメンバーを募集したが加入はなかったが、一方令和5年度からは他のチームから1名が加わることになり、メンバー4名でスタートすることになった。 ④ホームページだけでなく実物の見本を提示する場を設けるなど、マイ食器啓発チームの活動に興味関心をもってもらえるような手だてを話し合った。	7回
	合 計		234回
合 計 (前 年 度)			129回

くるくるつながり広場	くるくる環境スクール修了生を主たる対象として、12月17日(土)、1月7日(土)の計2回、つながり広場を開催した。参加者は各チームの活動紹介を熱心に聞くだけでなく、定例会を見学したり、環境出前講座(クラブ支援)等にも出向いて、活動の様子を見学した。その結果、修了生17名中8名の修了生が市民研究員としてチームに参加することとなった。	2回 (3回)
------------	--	----------------

()内は前年度

イ. 研究報告書の発行に関する事業(自主事業)

令和3年度の市民研究所各プロジェクトの研究成果等を研究報告書としてまとめ、6月に発行しました。

ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行(自主事業)

市民研究員の調査・研究、実践活動を中心とした機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行及びホームページへの掲載を行いました。

号 数	No.	発行部数	配 布 先
2022年5月号	309号	各850部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
2022年7月号	310号		
2022年9月号	311号		
2022年11月号	312号		
2023年1月号	313号		
2023年3月号	314号		

エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行(自主事業)

一般市民で構成したスタッフが情報収集し編集した、環境問題に関する身近で役立つ情報を中心とした情報紙「くるくるプラザ」を次のとおり発行し、ホームページにも掲載しました。

号数	発行月	発行部数	配布先
92号	7月	各1,500部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
93号	11月		
94号	3月		

オ. 図書・雑誌等の閲覧コーナーの常設・貸し出し及びホームページの公開(自主事業)

図書・雑誌などの閲覧コーナーについては、新型コロナウイルス禍による休館時を除き、開館時に貸し出しを行いました。また財団ホームページの公開を行いました。

(3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

ア. 講演会の開催(受託事業)

財団設立30周年記念式典後に、記念基調講演及びパネルディスカッションを実施しました。

事業名	実施日	内容	参加者数	会場
環境問題 講演会	6月 26日(日)	30周年記念基調講演 「千里リサイクルプラザ、これまでの30年、 これからの未来に向けて」 講演者 三輪信哉主任研究員	76名 (注1)	プラザ マルチホール
		パネルディスカッション 「これまでの30年間と未来について思うこと」 コーディネーター 小幡範雄市民研究所長 パネリスト 三輪信哉主任研究員 金子幸平市民研究員 福田規子市民研究員 岡田千代子工房指導員 楠本直樹吹田市環境部次長		
計		1回	(27名) (注2)	

(注1) 事務局他スタッフを含む参加者総数は101名となります。

()内は前年度

(注2) 事務局を含む参加者総数は33名となります。

イ. 入門講座・研修講座の開催(受託・自主事業)

① くるくるキッズ環境スクール(受託事業)

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
くるくるキッズ環境スクール	7月16日(土)	開講式 環境出前講座 (ふろしきの包み方、手作りおもちゃ)	受講者	21名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[3名]	
	8月4日(木)	親子見学バスツアー	受講者	21名	兵庫県立 人と自然の博物館
			[スタッフ]	[3名]	
	8月18日(木)	工房体験(木工、紙すき)	受講者	20名	プラザ緑工房 プラザ木工工房 プラザB棟4階 ホール
			[スタッフ]	[3名]	
	9月10日(土)	自然体験	受講者	15名	万博記念公園 日本庭園
			[スタッフ]	[3名]	
	11月19日(土) (午前)	SDGsについて考えよう	受講者	16名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[3名]	
	11月19日(土) (午後)	環境かるた、閉校式	受講者	19名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[3名]	
計	6回		のべ 受講者数	112名	(3回 33名)

(注) 参加者数には保護者数も含まれます。

()内は前年度

② くるくる環境スクール・研修講座(自主事業)

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
くるくる環境スクール	6月11日(土)	開講式及び 破碎選別工場、市民工房の見学	受講者	17名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[5名]	
	6月26日(日)	環境問題講演会聴講 「(プラザの)これまでの30年間と 未来について思うこと」	受講者	16名	プラザ マルチホール
			[スタッフ]	[11名]	
	7月9日(土)	木工工房体験	受講者	16名	プラザ木工工房 プラザ講義室2
			[スタッフ]	[3名]	
	9月24日(土)	国崎クリーンセンター(ゆめほたる) 環境啓発施設見学と 川西市黒川地区の自然散策	受講者	14名	川西市黒川地区 周辺
			[スタッフ]	[5名]	
	10月8日(土)	① 講義「市民研究所のあゆみ」 講師: 柚山明彦プラザ事務局長 ② 市民研究所チームの体験と 紹介(その1)	受講者	13名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[12名]	

くるくる環境スクール(続き)	10月15日(土)	①市民研究所チームの体験と紹介(その2) ②グループワーク SDGsカードゲーム	受講者	11名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[10名]	
	11月12日(土)	万博ごみゼロウォークファイナル参加	受講者	13名	プラザと千里万博公園 周辺道路
			[スタッフ]	[15名]	
	12月17日(土)	閉校式と交流会 環境、市民研究所について語ろう	受講者	13名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[13名]	
計	8回	のべ受講者数	113名	(7回 97名)	
市民研究員 研修講座	5月7日(土)	テーマ「これからのごみ処理について」 講師:前田理沙 吹田市環境部環境政策室主任	受講者	17名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[4名]	
	9月3日(土)	テーマ「簡単な動画作成についてII」 講師:黒田勇 主任研究員	受講者	20名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[5名]	
	11月5日(土)	テーマ「伝え上手、伝えられ上手になるには」 講師:谷村綾子 主任研究員	受講者	13名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
計	3回	のべ受講者数	50名	(4回 51名)	
合計	11回	のべ受講者数	163名	(11回 148名)	

()内は前年度

ウ. 環境出前講座の実施(自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒や3密回避の徹底に努めて、施設見学後の体験としてプラザ施設内で実施しました。尚、小中学校の授業・クラブ活動、環境学習等を対象とし、市民研究員が出向く実践講座については要請に基づき実施しました。また大学生を対象とした環境出前講座も実施しました。

実施日	内容	対象者	参加者数	会場
4月27日(水)	【クラブ支援】 紙バックおもちゃ作り (からくり屏風)	吹田第一小学校 4~6年生	14名	吹田第一小学校 理科室
5月11日(水)	【施設見学後の体験】 紙バックおもちゃ作り (十字プロペラ)	高野台小学校 4年生	15名	プラザ講義室2
5月11日(水)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	高野台小学校 4年生	12名	プラザ緑工房
5月12日(木)	【施設見学後の体験】 紙バックおもちゃ作り (十字プロペラ)	東佐井寺小学校 4年生	20名	プラザ講義室2

5月12日(木)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	東佐井寺 小学校 4年生	20名	プラザ緑工房
5月12日(木)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	東佐井寺 小学校 4年生	17名	プラザ講義室2
5月15日(日)	【ぐるぐるワークショップ】 紙パックおもちゃ作り (からくり屏風)	事前予約の 4才～小学生	14名	プラザマルチホール
5月17日(火)	【施設見学後の体験】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田東 小学校 4年生	17名	プラザ講義室2
5月17日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	吹田東 小学校 4年生	13名	プラザ緑工房
5月18日(水)	【施設見学後の体験】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	岸部第一 小学校 4年生	17名	プラザ講義室2
5月18日(水)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	岸部第一 小学校 4年生	12名	プラザ緑工房
5月23日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (さいころキューブ)	藤白台 小学校 4～6年生	14名	藤白台小学校 理科室
6月8日(水)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	吹田第一 小学校 4～6年生	13名	吹田第一小学校 理科室
6月13日(月)	【授業支援】 古くなったサラダ油を使った 万華鏡作り(オイル万華鏡)	立命館大学 1年生	31名	立命館大学 茨木キャンパス
6月13日(月)	【クラブ支援】 紙すき体験	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小学校 図工教室
6月14日(火)	【施設見学後の体験】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田第一 小学校 4年生	14名	プラザ講義室2
6月14日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	吹田第一 小学校 4年生	16名	プラザ緑工房
6月27日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (からくり屏風)	藤白台 小学校 4年生	14名	藤白台小学校 理科室
7月11日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (さいころキューブ)	千里第一 小学校 4～6年生	25名	千里第一小学校 図工室
7月11日(月)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	藤白台 小学校 4～6年生	13名	藤白台小学校 理科室

7月16日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 紙バックおもちゃ作り (十字プロペラ)	小学校1年生 ～3年生	11名	プラザ講義室2
7月16日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 ふろしきの活用	小学校1年生 ～3年生	11名	プラザ講義室1
8月18日(木)	【くるくるキッズ環境スクール】 紙すき体験	小学校1年生 ～3年生	10名	プラザ緑工房
8月19日(金)	【環境出前講座】 紙バックおもちゃ作り からくり屏風・レインボーコマ	Inforestすいた 来場者	30名	Inforestすいた
8月21日(日)	【くるくるワークショップ】 紙バックおもちゃ作り (水車ボート)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
9月12日(月)	【クラブ支援】 紙バックおもちゃ作り (マスカレードマスク)	藤白台 小学校 4～6年生	12名	藤白台小学校 理科室
9月12日(月)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小学校 図工室
9月14日(水)	【クラブ支援】 紙すき体験	吹田第一 小学校 4～6年生	14名	吹田第一小学校 理科室
9月18日(日)	【くるくるワークショップ】 紙バックおもちゃ作り (レーシングカー)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
9月26日(月)	【クラブ支援】 ゴミの12種分別ゲーム	千里第一 小学校 4～6年生	24名	千里第一小学校 図工室
10月12日(水)	【施設見学後の体験】 紙バックおもちゃ作り (十字プロペラ)	柏原東 小学校 5年生	17名	プラザ講義室2
10月12日(水)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	柏原東 小学校 5年生	18名	プラザ緑工房
10月14日(金)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	江坂大池 小学校 4年生	14名	プラザ講義室1
10月14日(金)	【施設見学後の体験】 紙バックおもちゃ作り (十字プロペラ)	江坂大池 小学校 4年生	19名	プラザ講義室2
10月14日(金)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	江坂大池 小学校 4年生	20名	プラザ緑工房
10月17日(月)	【クラブ支援】 紙バックおもちゃ作り (マスカレードマスク)	千里第一 小学校 4～6年生	24名	千里第一小学校 図工室

10月19日(水)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう (SDGsカードゲーム)	吹田第一 小学校 4～6年生	13名	吹田第一小学校 理科室
10月23日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックおもちゃ作り (マスカレードマスク)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
10月24日(月)	【クラブ支援】 ごみの12種分別ゲーム	藤白台 小学校 4～6年生	11名	藤白台小学校 理科室
10月25日(火)	【施設見学後の体験】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田第三 小学校 4年生	22名	プラザ講義室2
10月25日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	吹田第三 小学校 4年生	22名	プラザ緑工房
10月25日(火)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	吹田第三 小学校 4年生	17名	プラザ講義室1
11月7日(月)	【クラブ支援】 紙すき体験	藤白台 小学校 4～6年生	13名	藤白台小学校 理科室
11月9日(水)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (からくり屏風)	吹田第一 小学校 4～6年生	12名	吹田第一小学校 理科室
11月19日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 SDGsについて考えよう (SDGsカードゲーム)	小学校 1～3年生	10名	プラザ講義室2
12月11日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックおもちゃ作り (からくり屏風)	事前予約の 4才～小学生	13名	プラザ マルチホール
12月12日(月)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう (SDGsカードゲーム)	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小学校 図工室
12月14日(水)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	吹田第一 小学校 4～6年生	9名	吹田第一小学校 理科室
12月19日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (ヘリコプター)	藤白台 小学校 4～6年生	10名	藤白台小学校 理科室
1月11日(水)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	吹田第一 小学校 4～6年生	10名	吹田第一小学校 理科室
1月13日(金)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	千里金蘭大学 1回生	18名	プラザ緑工房
1月23日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (からくり屏風)	千里第一 小学校 4～6年生	24名	千里第一小学校 図工室

1月23日(月)	【クラブ支援】 エコなお買い物ゲーム	藤白台 小学校 4～6年生	12名	藤白台小学校 理科室
2月13日(月)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	藤白台 小学校 4～6年生	11名	藤白台小学校 理科室
2月22日(水)	【クラブ支援】 紙すき体験	吹田第一 小学校 4～6年生	15名	吹田第一小学校 理科室
2月27日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (2連風車)	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小学校 図工室
2月27日(月)	【クラブ支援】 食品ロスすごろくゲーム	藤白台 小学校 4～6年生	11名	藤白台小学校 理科室
3月12日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックおもちゃ作り (2連風車)	事前予約の 2才～大人	14名	プラザ マルチホール
計		58回	951名	(17回 231名)

()内は前年度

エ. 環境学習発表会及び展示発表会の開催(自主事業)

教室からの発信「広がれ！環境の輪」と題して、小中学校等で取り組まれている環境学習の成果を発表、交流しあう発表会と展示発表会は、新型コロナウイルス感染状況を考慮した上で次のとおり実施しました。尚、メシアターでの展示は環境教育フェスタと同時開催で行いました。

① 環境学習発表会(動画)

開催日(期間)	開催場所(上映)	参加校数(作品数)	前年度
2月5日(日)	メシアター1階練習室2	小学校2校(10作品) 高校1校(1作品)	小学校3校 高校1校
2月5日(日)～3月31日(金)	くるくるプラザホームページ(WEB)		

② 環境学習展示発表会

開催日(期間)	開催場所(展示)	参加校数(作品数)	前年度
2月5日(日)	メシアター1階展示ロビー	小学校8校(90作品)	—
2月15日(水)～2月19日(日)	くるくるプラザマルチホール		

オ. 職場体験・大学関係等の支援(自主事業)

吹田市立中学校・インターンシップ学生の受入れ状況は次のとおりでした。

区分	期 間	学校名	人数	内 容
イ ン タ ー ン シ ッ プ	7月12日(火)	大阪大学大学院	1名	自転車工房で作業補助体験
	8月12日(金) ～21日(日)	大阪経済大学	1名	施設見学後、緑工房での紙すき体験 の意義と具体的手順の説明用パネル作 成他、事務局業務の補助作業
合 計		2校	2名	(-)

()内は前年度

2. 収益事業等として、次の事業を実施しました。(収1)

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務を、次のとおり実施しました。

(1) 施設の管理運営

ア. 貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務(受託事業)

貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務を行いました。使用件数、使用者数及び使用料の徴収額は下記のとおりでした。

開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額	前年度			
				開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額
292日	605件	13,049名	466,950円	247日	454件	8,133名	424,100円

イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務(受託事業)

指定された建物部分及び貸与備品等の管理業務を行いました。

管理事業(法人会計)

(1) 財団の管理運営業務(自主事業)

次期(令和9年～)の当施設の指定管理者選定について、当財団が十分な実力を兼ね備える存在として認知され信任に足ることを目的とし、管理運営能力の向上に努めるための取組みを実施しました。

ア. 環境助成金獲得事業

助成金プログラム名称	応募日	応募事業名と申請助成額	審査方法	
			審査結果	
『TOYO TIRE グループ環境保護基金』	9月29日(木)	環境に係る子ども向け学習啓発事業	書類審査のみ	
		150万円	不可	
第14回「阪急阪神未来のゆめ・まち基金」	10月12日(水)	マイ食器持参運動推進と携帯マイ食器の開発	1次審査(書類)	2次審査(プレゼン)
		50万円	通過	不可

上記以外に、JICAの環境問題研修で当施設の見学を実施している(公財)地球環境センターに、協働の実現可能性や必要とされる資質や能力に関して聞取調査を行いました。JICAに有償提供できる付加価値の高い見学コース開発を目指していますが、その前提として環境に係る専門知識の向上はもとより、英語での説明能力や破碎選別工場、資源循環エネルギーセンター、吹田市環境部との連携が必須であり、実現の可否についてさらに検討を進めます。

イ. 30周年記念誌発行

6月26日(日)に財団設立30周年記念式典が開催され、当財団の歴史や沿革を辿る30周年記念誌を作成し関係先に配付しました。

ウ. 職員研修

本年度より、プラザ職員の環境に係る専門知識の獲得や対応能力向上を図るため、計画的に事務局職員の環境社会検定試験(エコ検定)受験を推進し、本年度は2名の職員が同資格を取得しました。

エ. 財団名称変更

当財団名称の変更については、これから将来に亘って財団が担うべき重責や果たすべき役割を想起する名称を付する必要がある、十分に時間をかけてステークホルダーや関係各位からの意見聴取を進める準備を始めました。また吹田市の施設である資源リサイクルセンターの名称変更や施設の有効活用のための貸室の指定や取扱変更等に係る吹田市資源リサイクルセンター条例の改正も、時期を同じくして実施いただくことが望ましく、吹田市に継続して要望させていただきました。

附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補則する重要な事項」がないので作成しません。

令和4年度 決算書

公益財団法人 千里リサイクルプラザ

貸借対照表

会計区分 全体

令和05年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高	451,494	329,241	122,253
普通預金	18,133,155	20,842,765	△2,709,610
通常貯金	1,476,003	1,405,112	70,891
定額貯金	5,500,000	5,500,000	0
現金預金合計	25,560,652	28,077,118	△2,516,466
貯蔵品	22,196	19,840	2,356
未収金	5,802	15,838	△10,036
前払金	56,890	53,120	3,770
前払費用	114,400	54,714	59,686
流動資産合計	25,759,940	28,220,630	△2,460,690
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	3,280,000	3,280,000	0
投資有価証券	1,116,800,000	1,177,376,000	△60,576,000
基本財産合計	1,120,080,000	1,180,656,000	△60,576,000
(2)特定資産			
減価償却引当資産	3,843,748	3,420,849	422,899
実践教室運営資産取得資金	1,600,000	1,600,000	0
特定資産合計	5,443,748	5,020,849	422,899
(3)その他固定資産			
什器備品	3,918,671	4,731,230	△812,559
ソフトウェア	113,400	264,600	△151,200
長期前払費用	343,200	0	343,200
その他固定資産合計	4,375,271	4,995,830	△620,559
固定資産合計	1,129,899,019	1,190,672,679	△60,773,660
資産合計	1,155,658,959	1,218,893,309	△63,234,350
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,640,461	7,601,509	△3,961,048
未払消費税等	1,254,000	1,178,700	75,300
預り金	1,811,856	2,368,561	△556,705
前受金	68,600	69,200	△600
賞与引当金	1,419,000	1,415,000	4,000
流動負債合計	8,193,917	12,632,970	△4,439,053
負債合計	8,193,917	12,632,970	△4,439,053

(28)

貸借対照表

会計区分 全体

令和05年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	1,120,080,000	1,180,656,000	△60,576,000
出捐金	1,120,080,000	1,180,656,000	△60,576,000
(うち基本財産への充当額)	(1,120,080,000)	(1,180,656,000)	(△60,576,000)
2. 一般正味財産	27,385,042	25,604,339	1,780,703
(うち特定資産への充当額)	(5,443,748)	(5,020,849)	(422,899)
正味財産合計	1,147,465,042	1,206,260,339	△58,795,297
負債及び正味財産合計	1,155,658,959	1,218,893,309	△63,234,350

正味財産増減計算書

会計区分 全体

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益(経常)	18,720,065	18,720,328	△263
投資有価証券受取利息(経常)	18,720,000	18,720,000	0
預貯金受取利息(経常)	65	328	△263
特定資産運用益	99	805	△706
会費収益	76,000	45,000	31,000
事業収益	53,401,479	51,865,461	1,536,018
吹田市受託事業収益	50,682,646	49,738,610	944,036
受講料収益	965,800	811,100	154,700
工房成果品販売収益	608,000	563,850	44,150
セカンド品販売収益	257,450	173,000	84,450
フリーマーケット出店手数料収益	435,000	322,800	112,200
リユース食器貸出手数料収益	237,653	63,591	174,062
その他事業収益	214,930	192,510	22,420
雑収益	130,678	27,395	103,283
経常収益計	72,328,321	70,658,989	1,669,332
(2) 経常費用			
事業費	52,152,942	49,289,890	2,863,052
給料手当	18,247,411	18,037,002	210,409
賞与	2,394,261	2,358,936	35,325
臨時雇賃金	9,080,694	8,516,188	564,506
福利厚生費	4,248,046	4,246,654	1,392
賞与引当金繰入額	975,847	973,097	2,750
会議費	0	880	△880
旅費交通費	1,792,414	1,786,468	5,946
通信運搬費	327,102	398,687	△71,585
減価償却費	1,137,978	328,609	809,369
消耗什器備品費	899,914	874,970	24,944
消耗品費	1,935,406	1,963,222	△27,816
修繕費	186,394	81,730	104,664
印刷製本費	487,850	151,800	336,050
燃料費	12,796	8,607	4,189
光熱水料費	45,394	39,490	5,904
使用料	152,700	146,020	6,680
賃借料	152,900	77,000	75,900
支払手数料	3,753	1,623	2,130
保険料	48,022	42,490	5,532
諸謝金	4,526,500	3,878,780	647,720

正味財産増減計算書

会計区分 全体

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
租税公課	1,855,680	1,789,817	65,863
支払負担金	1,230	0	1,230
広告宣伝費	185,000	230,000	△45,000
委託費	3,454,650	3,344,400	110,250
雑費	1,000	13,420	△12,420
管理費	18,394,676	17,440,536	954,140
役員報酬	1,646,800	1,668,000	△21,200
給料手当	8,286,563	8,191,026	95,537
賞与	1,087,289	1,071,244	16,045
臨時雇賃金	1,145,538	1,087,833	57,705
福利厚生費	2,026,367	2,043,647	△17,280
賞与引当金繰入額	443,153	441,903	1,250
旅費交通費	589,316	584,946	4,370
通信運搬費	112,316	114,300	△1,984
減価償却費	320,781	359,396	△38,615
消耗品費	144,330	73,205	71,125
燃料費	40,439	23,778	16,661
使用料	169,850	145,476	24,374
賃借料	280,994	223,663	57,331
支払手数料	43,290	46,520	△3,230
保険料	67,960	63,780	4,180
諸謝金	290,600	200,925	89,675
租税公課	605,120	605,433	△313
支払負担金	170,200	151,105	19,095
広告宣伝費	10,000	20,000	△10,000
委託費	913,770	299,166	614,604
雑費	0	25,190	△25,190
経常費用計	70,547,618	66,730,426	3,817,192
当期経常増減額	1,780,703	3,928,563	△2,147,860
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,780,703	3,928,563	△2,147,860
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,780,703	3,928,563	△2,147,860
一般正味財産期首残高	25,604,339	21,675,776	3,928,563
一般正味財産期末残高	27,385,042	25,604,339	1,780,703

(31)

正味財産増減計算書

会計区分 全体

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益(指定)	18,720,065	18,720,328	△263
投資有価証券受取利息(指定)	18,720,000	18,720,000	0
預貯金受取利息(指定)	65	328	△263
基本財産評価損	△60,576,000	△45,840,000	△14,736,000
投資有価証券評価損	△60,576,000	△45,840,000	△14,736,000
一般正味財産への振替	△18,720,065	△18,720,328	263
一般正味財産への振替(投資有価証券受取利息)	△18,720,000	△18,720,000	0
一般正味財産への振替(預貯金受取利息)	△65	△328	263
当期指定正味財産増減額	△60,576,000	△45,840,000	△14,736,000
指定正味財産期首残高	1,180,656,000	1,226,496,000	△45,840,000
指定正味財産期末残高	1,120,080,000	1,180,656,000	△60,576,000
III 正味財産期末残高	1,147,465,042	1,206,260,339	△58,795,297

正味財産増減計算書内訳表

会計区分 全体

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計 (公1)	収益事業等 会 計 (収1)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益(経常)	11,213,319	0	7,506,746	18,720,065
投資有価証券受取利息(経常)	11,213,280	0	7,506,720	18,720,000
預貯金受取利息(経常)	39	0	26	65
特定資産運用益	59	0	40	99
会費収益	76,000	0	0	76,000
事業収益	37,517,451	3,250,431	12,633,597	53,401,479
吹田市受託事業収益	34,798,618	3,250,431	12,633,597	50,682,646
受講料収益	965,800	0	0	965,800
工房成果品販売収益	608,000	0	0	608,000
セカンド品販売収益	257,450	0	0	257,450
フリーマーケット出店手数料収益	435,000	0	0	435,000
リユース食器貸出手数料収益	237,653	0	0	237,653
その他事業収益	214,930	0	0	214,930
雑収益	122,888	0	7,790	130,678
経常収益計	48,929,717	3,250,431	20,148,173	72,328,321
(2) 経常費用				
事業費	48,902,511	3,250,431	0	52,152,942
給料手当	17,164,820	1,082,591	0	18,247,411
賞与	2,252,213	142,048	0	2,394,261
臨時雇賃金	9,080,694	0	0	9,080,694
福利厚生費	4,014,483	233,563	0	4,248,046
賞与引当金繰入額	917,952	57,895	0	975,847
旅費交通費	1,732,848	59,566	0	1,792,414
通信運搬費	326,814	288	0	327,102
減価償却費	1,137,978	0	0	1,137,978
消耗什器備品費	414,946	484,968	0	899,914
消耗品費	1,136,672	798,734	0	1,935,406
修繕費	186,394	0	0	186,394
印刷製本費	377,850	110,000	0	487,850
燃料費	12,796	0	0	12,796
光熱水料費	45,394	0	0	45,394
使用料	81,420	71,280	0	152,700
賃借料	152,900	0	0	152,900
支払手数料	3,753	0	0	3,753
保険料	21,662	26,360	0	48,022
諸謝金	4,526,500	0	0	4,526,500
租税公課	1,707,742	147,938	0	1,855,680
支払負担金	1,230	0	0	1,230
広告宣伝費	185,000	0	0	185,000
委託費	3,419,450	35,200	0	3,454,650
雑費	1,000	0	0	1,000

正味財産増減計算書内訳表

会計区分 全体

令和04年04月01日 から 令和05年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	合 計
	(公1)	(収1)		
管理費	0	0	18,394,676	18,394,676
役員報酬	0	0	1,646,800	1,646,800
給料手当	0	0	8,286,563	8,286,563
賞与	0	0	1,087,289	1,087,289
臨時雇賃金	0	0	1,145,538	1,145,538
福利厚生費	0	0	2,026,367	2,026,367
賞与引当金繰入額	0	0	443,153	443,153
旅費交通費	0	0	589,316	589,316
通信運搬費	0	0	112,316	112,316
減価償却費	0	0	320,781	320,781
消耗品費	0	0	144,330	144,330
燃料費	0	0	40,439	40,439
使用料	0	0	169,850	169,850
賃借料	0	0	280,994	280,994
支払手数料	0	0	43,290	43,290
保険料	0	0	67,960	67,960
諸謝金	0	0	290,600	290,600
租税公課	0	0	605,120	605,120
支払負担金	0	0	170,200	170,200
広告宣伝費	0	0	10,000	10,000
委託費	0	0	913,770	913,770
経常費用計	48,902,511	3,250,431	18,394,676	70,547,618
当期経常増減額	27,206	0	1,753,497	1,780,703
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	27,206	0	1,753,497	1,780,703
一般正味財産期首残高	△1,340,493	0	26,944,832	25,604,339
一般正味財産期末残高	△1,313,287	0	28,698,329	27,385,042
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益(指定)	11,213,319	0	7,506,746	18,720,065
投資有価証券受取利息(指定)	11,213,280	0	7,506,720	18,720,000
預貯金受取利息(指定)	39	0	26	65
基本財産評価損	△36,285,024	0	△24,290,976	△60,576,000
投資有価証券評価損	△36,285,024	0	△24,290,976	△60,576,000
一般正味財産への振替	△11,213,319	0	△7,506,746	△18,720,065
一般正味財産への振替(投資有価証券受取利息)	△11,213,280	0	△7,506,720	△18,720,000
一般正味財産への振替(預貯金受取利息)	△39	0	△26	△65
当期指定正味財産増減額	△36,285,024	0	△24,290,976	△60,576,000
指定正味財産期首残高	703,918,224	0	476,737,776	1,180,656,000
指定正味財産期末残高	667,633,200	0	452,446,800	1,120,080,000
III 正味財産期末残高	666,319,913	0	481,145,129	1,147,465,042

(34)

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券以外の有価証券のうち市場価格のあるものについては、期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、有形・無形ともに定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金は、職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,280,000	0	0	3,280,000
投資有価証券	1,177,376,000	0	60,576,000	1,116,800,000
小 計	1,180,656,000	0	60,576,000	1,120,080,000
特定資産				
減価償却引当資産	3,420,849	422,899	0	3,843,748
実践教室運営資産取得資金	1,600,000	0	0	1,600,000
小 計	5,020,849	422,899	0	5,443,748
合 計	1,185,676,849	422,899	60,576,000	1,125,523,748

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,280,000	(3,280,000)	(0)	—
投資有価証券	1,116,800,000	(1,116,800,000)	(0)	—
小 計	1,120,080,000	(1,120,080,000)	(0)	—
特定資産				
減価償却引当資産	3,843,748	(0)	(3,843,748)	—
実践教室運営資産取得資金	1,600,000	(0)	(1,600,000)	—
小 計	5,443,748	(0)	(5,443,748)	—
合 計	1,125,523,748	(1,120,080,000)	(5,443,748)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	11,767,299	7,848,628	3,918,671
ソフトウェア	3,706,500	3,593,100	113,400
合 計	15,473,799	11,441,728	4,032,071

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,415,000	1,419,000	1,415,000	0	1,419,000

財 産 目 録

令和05年03月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金預金					
	現金手元有高	手元保管 小口払い・釣銭用 収入等一時保管	運転資金	451,494 92,374 359,120		
	普通預金	りそな銀行吹田支店 北おおさか信用金庫吹田支店	運転資金 同 上	18,111,928 21,227		
	通常貯金	ゆうちょ銀行(通常口座) ゆうちょ銀行(振替口座)	同 上 同 上	1,148,368 327,635		
	定額貯金	ゆうちょ銀行	同 上	5,500,000		
	<現金預金計>				25,560,652	
	貯蔵品	手元保管	郵便切手等	22,196		
	未収金	水尾神社総代会	リユース食器貸出手数料他	5,802		
	前払金	サ・ニュー・インテ`イア・アシュアランス・カンパ` ニー・リミテッド`大阪支店 吹田商工会議所 ㈱リブホーム	施設賠償責任保険 特定退職金共済掛金 ボランティア保険	26,360 18,000 12,530		
	<前払金計>				56,890	
	前払費用	理想科学工業㈱	公益目的事業用 印刷機(多機能カラー刷り)保守 費用(令和5年度分)	114,400		
	流動資産合計			25,759,940		
	(固定資産)	基本財産	定期預金	北おおさか信用金庫吹田支店	(共用財産) うち公益目的保有財産59.9% うち管理運営費の財源としている 財産40.1%	3,280,000 1,964,720 1,315,280
			投資有価証券	大和証券㈱梅田支店(20年国債)	(共用財産) うち公益目的保有財産59.9% うち管理運営費の財源としている 財産40.1%	178,800,000 107,101,200 71,698,800
				SMB C日興証券㈱ 大阪公益法人営業部(30年国債)	(共用財産) うち公益目的保有財産59.9% うち管理運営費の財源としている 財産40.1%	938,000,000 561,862,000 376,138,000
<基本財産計>				1,120,080,000		
特定資産			減価償却引当資 産	<定期預金> 北おおさか信用金庫吹田支店	公益目的事業及び管理運営の用に 供する固定資産の購入財源として 使用する資産	3,843,748
		実践教室運営資 産取得資金	同 上	公益目的事業である実践教室運営 の用に供する固定資産の購入財源 として使用する資産	1,600,000	
<特定資産計>				5,443,748		
その他固定資産		什器備品	プロジェクター1台 食器洗浄機1台 食器消毒保管庫1台 印刷機(カラー刷り)1台 印刷機(多機能カラー刷り)1台 サーバ(共通)1台	公益目的保有財産である 同 上 同 上 同 上 同 上 (共用財産) うち公益目的事業用59.9% うち管理運営40.1%	1 1 1 1 3,464,916 1 1 0	

財 産 目 録

令和05年03月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
		ファイアウォール(共通) 1台	(共用財産) うち公益目的事業用59.9% うち管理運営40.1%	453,750 271,796 181,954
	ソフトウェア	財務会計ソフト(予算作成機能追加)	<什器備品計> 管理運営に使用	3,918,671 113,400
	長期前払費用	理想科学工業(株)	印刷機(多機能カラー刷り)保守費用(令和6年度分～8年度分)	343,200
固定資産合計				1,129,899,019
資産合計				1,155,658,959
(流動負債)	未払金	役員	役員報酬	132,000
		嘱託職員	役付手当	121,932
		臨時雇用員	臨時雇賃金他	1,016,538
		吹田年金事務所	社会保険料	402,575
		大阪労働局	労働保険料	90,724
		西日本電信電話(株)	電話代	2,910
		日本郵便(株)	郵送料	16,152
		(株)大塚商会他	事務所用他消耗品	887,154
		リコージャパン(株)	コピー機賃借料	211
		主担研究員他	謝金	358,500
		(公社)吹田市シルバー人材センター他	業務委託費	296,582
		NECネットアイ(株)	ZOOMライセンス料	29,040
		三進社印刷(株)	施設パンフレット印刷費	110,000
		伊丹産業(株)	燃料代	3,162
		(株)ナナ文具(アスクール)	卓上ボール盤(木工工房用)	31,711
		吉丸建設工業(株)他	パーテーション撤去工事費他	141,270
			<未払金計>	3,640,461
	未払消費税等	国税庁		1,254,000
	預り金	嘱託職員他	源泉所得税	67,384
		嘱託職員	住民税	56,600
		嘱託職員他	雇用保険料	23,730
		嘱託職員	健康保険料	138,953
		嘱託職員	厚生年金保険料	216,855
		らっくdeフリマ出店者	らっくdeフリマ売上金	230,980
		吹田市	指定管理委託料返還金	1,077,354
			<預り金計>	1,811,856
	前受金	らっくdeフリマ出店者	らっくdeフリマ出店手数料	68,600
	賞与引当金	嘱託職員	公益目的事業及び管理運営事業の業務に従事する職員の賞与の引当金	1,419,000
流動負債合計				8,193,917
負債合計				8,193,917
正味財産				1,147,465,042

独立監査人の監査報告書

令和5年4月26日

公益財団法人 千里リサイクルプラザ

理事長 門脇 則子 殿

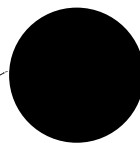
晴連監査法人

代表社員

業務執行社員

公認会計士

村上弘之



〈財務諸表監査〉

当監査法人は、公益財団法人千里リサイクルプラザの令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の財務諸表、即ち、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録について監査を行った。

財務諸表に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続きが実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意思表示の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

公益財団法人千里リサイクルプラザと当監査法人、又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

監査報告書

公益財団法人 千里リサイクルプラザ
理事長 門脇 則子 様

令和5年4月28日

監事

原田 憲



監事

上田 康雄



私たち監事は、当財団の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を開覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

報告第 7 号

損害賠償額の決定に関する専決処分について

市長の専決処分事項指定の議決に基づき次のとおり専決処分したので、地方自治法第180条第2項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

専決処分 年月日	損害賠償額	事 故 の 概 要
令 和 5 年 3 月 2 9 日	95,256円	令和5年1月24日午後7時56分頃、千里第3緑地東側の吹田市藤白台2丁目19番地の府道において、相手方個人所有の普通乗用車が北方向へ走行中、道路上にはみ出していた同緑地の樹木の折れた枝に接触し、損傷したものです。

損害賠償額の決定に関する専決処分について

市長の専決処分事項指定の議決に基づき次のとおり専決処分したので、地方自治法第180条第2項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

専決処分 年月日	損害賠償額 及び相手方	事 故 の 概 要
令和5年 4月17日	389,400円 吹田市山田東4丁目 41番3号 ローレルハイツ千里 管理組合 理事長 泉 佳弘	令和5年1月23日までの間、引谷公園に隣接するローレルハイツ千里の敷地に越境した同公園の樹木の根上がりにより同マンションの駐車場の舗装に亀裂が入り、これが損傷したものです。

報告第9号

令和4年度吹田市一般会計繰越明許費繰越計算書について

令和4年度吹田市一般会計中一部翌年度繰越しに伴う繰越明許費繰越計算書について、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

(1)

令和4年度吹田市一般会計繰越明許費繰越計算書

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額
			円	円
3 民生費	1 社会福祉費	介護保険施設管理事業	54,527,000	51,057,600
		高齢者福祉施設補助事業	219,411,000	219,411,000
		高齢者施策推進事業	389,969,000	311,590,208
	2 児童福祉費	公立保育所管理事業	4,500,000	2,026,000
		公立幼保連携型認定こども園管理事業	7,000,000	4,928,000
4 衛生費	1 保健衛生費	妊娠・出産包括支援事業	377,947,000	66,850,000
8 土木費	2 道路橋梁費	道路新設改良事業	15,176,000	15,176,000
	5 都市計画費	街路樹等管理事業	27,197,000	27,197,000
		都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設事業	17,187,000	17,187,000
		佐井寺西土地区画整理事業	1,491,684,000	1,312,973,320
		上の川周辺整備事業	655,037,000	655,037,000
10 教育費	2 小学校費	小学校改修事業	3,253,936,000	3,253,935,200
	3 中学校費	中学校改修事業	1,743,997,000	1,743,997,000
	4 幼稚園費	公立幼稚園管理事業	35,000,000	21,246,000
	5 社会教育費	旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）保存活用事業	140,873,000	140,873,000
	6 保健体育費	小学校給食事業	35,998,000	35,998,000
計			8,469,439,000	7,879,482,328

(2)

左 の 財 源 内 訳					
既 収 入 特 定 財 源	未 収 入 特 定 財 源				一 般 財 源
	国 庫 支 出 金	府 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
円	円	円	円	円	円
					51,057,600
	12,435,000	206,976,000			
					311,590,208
					2,026,000
					4,928,000
	44,566,000	11,141,000			11,143,000
					15,176,000
27,197,000					
10,000,000					7,187,000
610,000,000	370,562,000		325,300,000		7,111,320
	376,500,000		250,500,000		28,037,000
420,000,000	460,666,000		2,350,800,000		22,469,200
180,000,000	233,816,000		1,327,200,000		2,981,000
					21,246,000
	91,567,000		44,400,000		4,906,000
	7,471,000		28,100,000		427,000
1,247,197,000	1,597,583,000	218,117,000	4,326,300,000		490,285,328

(3)

報告第10号

令和4年度吹田市公共用地先行取得特別会計繰越明許費繰越計算書について

令和4年度吹田市公共用地先行取得特別会計中一部翌年度繰越しに伴う繰越明許費繰越計算書について、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

(1)

令和4年度吹田市公共用地先行取得特別会計繰越明許費繰越計算書

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額
			円	円
1 用地取得費	1 用地取得費	千里丘朝日が丘線 用地取得事業	564,000	563,300
		佐井寺西土地区画整理 用地取得事業	577,800,000	576,937,100
計			578,364,000	577,500,400

左 の 財 源 内 訳					
既 収 入 特 定 財 源	未 収 入 特 定 財 源				一 般 財 源
	国 庫 支 出 金	府 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
円	円	円	円	円	円
				563,300	
576,937,100					
576,937,100				563,300	

報告第11号

令和4年度吹田市水道事業会計予算繰越計算書について

令和4年度吹田市水道事業会計中一部翌年度繰越しに伴う予算繰越計算書について、地方公営企業法第26条第3項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

令和4年度吹田市水道事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額
1 資本的支出	1 建設改良費	上水道施設等 整備事業	円 4,478,708,000	円 3,053,613,237	円 1,048,339,000

(参考) 翌年度繰越額の内訳

工 事 名
泉浄水所高度処理棟電気設備更新工事 井戸用起動盤ほか設置工事 泉浄水所次亜塩素注入設備更新工事 片山浄水所場外井戸掘削工事 片山浄水所第2配水池水位計設置工事 千里山送水管布設工事 山田丘配水管布設工事 竹谷町配水管φ75mm～φ150mm布設替工事

左 の 財 源 内 訳		不 用 額	翌年度繰越額に係る繰越を要するたな卸資産の購入限度額	説 明
損益勘定 留保資金等	円 1,048,339,000	円 376,755,763	円 0	工事が翌年度に亘るため

繰 越 額
円
373,675,000
73,435,000
38,231,000
36,512,000
4,724,000
235,004,000
236,241,000
50,517,000

報告第12号

令和4年度吹田市下水道事業会計予算繰越計算書について

令和4年度吹田市下水道事業会計中一部翌年度繰越しに伴う予算繰越計算書について、地方公営企業法第26条第3項の規定により報告します。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

令和4年度吹田市下水道事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額
			円	円	円
1資本的支出	1建設改良費	管渠建設事業	2,512,149,000	1,847,807,132	584,447,000
		ポンプ場建設事業	197,789,000	77,375,000	119,085,000
		処理場建設事業	549,010,000	207,442,609	339,229,000
計			3,258,948,000	2,132,624,741	1,042,761,000

左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額に係る繰越を要するたな卸資産の購入限度額	説明
企業債	国庫補助金	損益勘定留保資金等			
円	円	円	円	円	
368,000,000	212,433,000	4,014,000	79,894,868	0	工事(業務)が翌年度にわたるため
59,900,000	59,050,000	135,000	1,329,000	0	工事が翌年度にわたるため
192,400,000	143,980,000	2,849,000	2,338,391	0	工事(業務)が翌年度にわたるため
620,300,000	415,463,000	6,998,000	83,562,259	0	

(参考) 翌年度繰越額の内訳

工 事(業 務)名
雨水レベルアップ整備工事 中の島・片山第2工区
雨水レベルアップ整備工事 中の島・片山第3工区
ガス管復元工事<No. 4分水人孔> (雨水レベルアップ整備工事中の島・片山第3工区)
関西電力配電設備移転工事<No. 4分水人孔> (雨水レベルアップ整備工事中の島・片山第3工区)
オペテージ設備復元工事<No. 4分水人孔> (雨水レベルアップ整備工事中の島・片山第3工区)
千里山雨水1号幹線整備工事実施設計業務
千里山排水区汚水・雨水管路整備工事実施設計業務
春日排水区雨水管路整備工事修正設計業務
佐井寺排水区雨水管路整備工事実施設計業務
泉町排水区合流管路整備工事実施設計業務
千里山雨水1号幹線整備工事に伴う資材価格調査業務
千里山排水区地下埋設物調査工事
山田川排水区汚水管路整備工事第1工区追加設計業務
千里山排水区汚水管路整備工事第201工区
泉町排水区ほか合流・雨水管路改築工事第1工区
豊津排水区合流管路耐震工事第1工区
川園ポンプ場No. 1雨水ポンプ機械設備工事
川園ポンプ場No. 1雨水ポンプ電気設備工事
南吹田下水処理場放流ポンプ電気設備工事
南吹田下水処理場放流ポンプ機械設備工事
南吹田下水処理場汚泥管理棟建設実施設計委託業務

	繰越額
	円
	237,866,000
	50,000,000
	11,000,000
	303,000
	198,000
	30,265,000
	26,134,000
	5,440,000
	4,387,000
	2,977,000
	308,000
	8,650,000
	1,430,000
	2,470,000
	83,039,000
	119,980,000
	83,500,000
	35,585,000
	214,328,000
	76,915,000
	47,986,000

(5)

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

1 専決処分年月日 令和5年5月18日

2 事 件 名

吹田市立吹田東小学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について

専決第 3 号

吹田市立吹田東小学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立吹田東小学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和5年5月18日専決

吹田市長 後藤 圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立吹田東小学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）
- 2 工事概要 12棟
構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階
延床面積 775㎡
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事、建具改修工事及び外構工事
- 3 工事場所 吹田市幸町20番1号
- 4 工 期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年10月31日
- 5 請負金額 148,737,600円
- 6 請 負 者 吹田市南金田2丁目8番33号
吉丸建設工業株式会社
代表取締役 西田 信雄

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 専決処分年月日 令和5年5月18日

- 2 事 件 名
吹田市立吹田南小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について

専決第 4 号

吹田市立吹田南小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立吹田南小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和 5 年 5 月 1 8 日 専決

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 工 事 名 吹田市立吹田南小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）

- 2 工事概要 9 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 4 階
 - 延床面積 1, 9 1 3 m²
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

- 1 2 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 4 階
 - 延床面積 1, 3 2 9 m²
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

- 1 9 棟
 - 構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階
 - 延床面積 7 m²
 - 工事内容 外壁改修工事及び建具改修工事

- 2 0 棟
 - 構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階
 - 延床面積 1 1 m²
 - 工事内容 外壁改修工事及び建具改修工事

(2)

- 3 工事場所 吹田市南吹田5丁目12番1号
- 4 工期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月15日
- 5 請負金額 306,630,500円
- 6 請負者 吹田市千里山東1丁目17番51号
株式会社田中組
代表取締役 雑部 智

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 専決処分年月日 令和5年5月18日

- 2 事 件 名
吹田市立千里第三小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について

専決第 5 号

吹田市立千里第三小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立千里第三小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和 5 年 5 月 1 8 日 専決

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 工 事 名 吹田市立千里第三小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）

- 2 工事概要

 - 1 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 3 階
 - 延床面積 1, 4 4 6 m²
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

 - 2 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 3 階
 - 延床面積 1, 5 3 3 m²
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

 - 9 棟
 - 構造・階数 鉄骨造 地上 1 階
 - 延床面積 7 m²
 - 工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

 - 1 3 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 2 階
 - 延床面積 4 0 7 m²
 - 工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

(2)

- 3 工事場所 吹田市千里山西2丁目13番1号
- 4 工期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月15日
- 5 請負金額 224,268,000円
- 6 請負者 吹田市岸部中1丁目24番1号
株式会社ビック
代表取締役 久須美 貴史

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 専決処分年月日 令和5年5月18日

- 2 事 件 名
吹田市立岸部第一小学校校舎大規模改造2期工事（建築工事）請負契約の締結について

専決第 6 号

吹田市立岸部第一小学校校舎大規模改造 2 期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立岸部第一小学校校舎大規模改造 2 期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和 5 年 5 月 1 8 日 専決

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 工 事 名 吹田市立岸部第一小学校校舎大規模改造 2 期工事（建築工事）

- 2 工事概要
- 4 棟
構造・階数 鉄筋コンクリート造（一部コンクリートブロック造）
地上 3 階
延床面積 704㎡
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事及び建具改修工事
- 11 棟
構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 4 階
延床面積 2,173㎡
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 16 棟
構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階
延床面積 11㎡
工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 17 棟
構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階
延床面積 3㎡
工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

(2)

18棟

構造・階数 鉄骨造 地上1階

延床面積 9㎡

工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

19棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階

延床面積 10㎡

工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

3 工事場所 吹田市岸部中2丁目19番1号

4 工期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月20日

5 請負金額 196,640,400円

6 請負者 吹田市岸部中5丁目17番9号
株式会社倉岡工務店
代表取締役 佐々木 健一

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 専決処分年月日 令和5年5月18日

- 2 事 件 名
吹田市立豊津第二小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について

専決第 7 号

吹田市立豊津第二小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立豊津第二小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和 5 年 5 月 1 8 日専決

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 工 事 名 吹田市立豊津第二小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）

- 2 工事概要
- 1 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 4 階
 - 延床面積 3, 947㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 10 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 1 階
 - 延床面積 192㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 11 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 1 階
 - 延床面積 5㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 13 棟
 - 構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階
 - 延床面積 9㎡

(2)

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

14棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階

延床面積 10㎡

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

16棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階

延床面積 371㎡

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

17棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階

延床面積 66㎡

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

3 工事場所 吹田市江坂町2丁目5番1号

4 工期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月15日

5 請負金額 260,766,000円

6 請負者 吹田市昭和町1番6号
三栄建設株式会社
代表取締役 井上 博之

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

1 専決処分年月日 令和5年5月18日

2 事 件 名

吹田市立山手小学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）
請負契約の締結について

専決第 8 号

吹田市立山手小学校校舎大規模改造 2 期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）
請負契約の締結について

本市は、吹田市立山手小学校校舎大規模改造 2 期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和 5 年 5 月 1 8 日専決

吹田市長 後 藤 圭 二

記

1 工 事 名 吹田市立山手小学校校舎大規模改造 2 期及び屋内運動場大規模改造工事
（建築工事）

2 工事概要 9 棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 3 階

延床面積 1, 0 0 0 m²

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具
改修工事

1 1 棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 3 階

延床面積 1, 0 3 2 m²

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具
改修工事

1 2 棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 4 階

延床面積 4 5 1 m²

工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具
改修工事

1 3 棟

構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階

(2)

延床面積	10㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
25棟	
構造・階数	コンクリートブロック造 地上1階
延床面積	103㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
32棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上1階
延床面積	9㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
33棟	
構造・階数	コンクリートブロック造 地上1階
延床面積	5㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
35棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上2階
延床面積	318㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
36棟	
構造・階数	鉄骨造 地上1階
延床面積	9㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
37棟	
構造・階数	鉄骨造 地上2階
延床面積	6㎡
工事内容	外壁改修工事、内装改修工事及び防水改修工事
31棟（屋内運動場）	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上2階
延床面積	776㎡
工事内容	外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

3 工事場所 吹田市山手町2丁目15番43号

4 工期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月29日

5 請負金額 335,563,800円

(3)

6 請 負 者 吹田市原町1丁目4番13号
エフワイ土木株式会社
代表取締役 寺下 満

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 専決処分年月日 令和5年5月18日

- 2 事 件 名
吹田市立桃山台小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について

吹田市立桃山台小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立桃山台小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和 5 年 5 月 1 8 日専決

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 工 事 名 吹田市立桃山台小学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）

- 2 工事概要
- 1 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 2 階
 - 延床面積 3, 199㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事、建具改修工事及び塗装改修工事
- 2 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 2 階
 - 延床面積 281㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事、建具改修工事及び塗装改修工事
- 3 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 1 階
 - 延床面積 68㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事、建具改修工事及び塗装改修工事
- 4 棟
 - 構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階
 - 延床面積 15㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

8棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階
延床面積 108㎡
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事、建具改修工事及び塗装改修工事

9棟

構造・階数 鉄骨造 地上1階
延床面積 7㎡
工事内容 塗装改修工事

12棟

構造・階数 コンクリートブロック造 地上1階
延床面積 5㎡
工事内容 外壁改修工事及び塗装改修工事

- 3 工事場所 吹田市桃山台1丁目5番1号
- 4 工期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月15日
- 5 請負金額 232,591,700円
- 6 請負者 吹田市原町2丁目52番1-101号
株式会社鴨建興業
代表取締役 岡田 倫太郎

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

1 専決処分年月日 令和5年5月18日

2 事 件 名

吹田市立第一中学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について

専決第 10 号

吹田市立第一中学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立第一中学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和5年5月18日専決

吹田市長 後藤 圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立第一中学校屋内運動場大規模改造工事（建築工事）
- 2 工事概要 11棟
構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上4階
延床面積 1,247㎡
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事、建具改修工事、外構工事及びプール改修工事
- 3 工事場所 吹田市千里山西2丁目2番1号
- 4 工 期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月30日
- 5 請負金額 265,774,300円
- 6 請 負 者 吹田市山田西1丁目31番B-1210号
株式会社スペース
代表取締役 和田 敦夫

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 専決処分年月日 令和5年5月18日

- 2 事 件 名
吹田市立第二中学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について

専決第 11 号

吹田市立第二中学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立第二中学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和 5 年 5 月 18 日専決

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 工 事 名 吹田市立第二中学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）

- 2 工事概要
- 1 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 4 階
 - 延床面積 5,053㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 3 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 4 階
 - 延床面積 1,716㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 21 棟
 - 構造・階数 鉄骨造 1 階
 - 延床面積 17㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
- 23 棟
 - 構造・階数 鉄骨造 1 階
 - 延床面積 9㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

(2)

24棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 1階

延床面積 9㎡

工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

3 工事場所 吹田市岸部北1丁目21番1号

4 工期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月30日

5 請負金額 406,450,000円

6 請負者 吹田市原町1丁目4番13号
株式会社エーユー
代表取締役 小川 翔輝

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 専決処分年月日 令和5年5月18日

- 2 事 件 名
吹田市立第六中学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）請負契約の締結について

吹田市立第六中学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立第六中学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和 5 年 5 月 18 日専決

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- 1 工 事 名 吹田市立第六中学校校舎大規模改造 1 期工事（建築工事）

- 2 工事概要

 - 1 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 4 階
 - 延床面積 3,005㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

 - 3 棟
 - 構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階
 - 延床面積 10㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

 - 11 棟
 - 構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階
 - 延床面積 23㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

 - 12 棟
 - 構造・階数 コンクリートブロック造 地上 1 階
 - 延床面積 13㎡
 - 工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

 - 15 棟
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上 1 階

延床面積	10㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
16棟	
構造・階数	鉄骨造 地上1階
延床面積	9㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
17棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上1階
延床面積	177㎡
工事内容	外壁改修工事、内装改修工事及び建具改修工事
18棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上1階
延床面積	88㎡
工事内容	外壁改修工事、内装改修工事及び建具改修工事

- 3 工事場所 吹田市穂波町16番1号
- 4 工期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月20日
- 5 請負金額 205,626,300円
- 6 請負者 吹田市原町4丁目3番14号
有限会社カネキ建設
代表取締役 金村 昇一

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

1 専決処分年月日 令和5年5月18日

2 事 件 名

吹田市立山田中学校校舎大規模改造2期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）
請負契約の締結について

吹田市立山田中学校校舎大規模改造 2 期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）
請負契約の締結について

本市は、吹田市立山田中学校校舎大規模改造 2 期及び屋内運動場大規模改造工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和 5 年 5 月 18 日専決

吹田市長 後藤 圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立山田中学校校舎大規模改造 2 期及び屋内運動場大規模改造工事
（建築工事）

- 2 工事概要
14 棟
構造・階数 鉄筋コンクリート造 4 階
延床面積 4,044㎡
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

16 棟
構造・階数 鉄骨造 1 階
延床面積 17㎡
工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

21 棟
構造・階数 鉄筋コンクリート造 1 階
延床面積 9㎡
工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

22 棟
構造・階数 鉄骨造 1 階
延床面積 9㎡
工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

23棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 1階
延床面積 6㎡
工事内容 外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

20棟（屋内運動場）

構造・階数 鉄筋コンクリート造 2階
延床面積 1,023㎡
工事内容 外壁改修工事、内装改修工事、防水改修工事及び建具改修工事

- 3 工事場所 吹田市山田市場15番1号
- 4 工期 着工 令和5年5月18日
完成 令和5年11月29日
- 5 請負金額 321,834,700円
- 6 請負者 吹田市南正雀1丁目24番35号
吹田土木興業株式会社
代表取締役 竹内 祐三

専決処分報告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 専決処分年月日 令和5年4月20日
- 2 事 件 名 令和5年度吹田市一般会計補正予算（第2号）

専決第1号

令和5年度吹田市一般会計補正予算（第2号）

令和5年度吹田市の一般会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ498,484千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ158,264,590千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和5年4月20日専決

吹田市長 後藤 圭 二

第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
14 国庫支出金		30,314,280	498,478	30,812,758
	2 国庫補助金	3,892,021	498,478	4,390,499
19 諸収入		3,372,952	6	3,372,958
	5 雑入	2,509,672	6	2,509,678
歳入合計		157,766,106	498,484	158,264,590

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
3 民生費		74,189,654	498,484	74,688,138
	2 児童福祉費	32,812,348	498,484	33,310,832
歳出合計		157,766,106	498,484	158,264,590

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(款) 14 国庫支出金

(項) 2 国庫補助金

目	補正前の額	補正額	計
2 民生費国庫補助金	1,515,100	498,478	2,013,578
計	3,892,021	498,478	4,390,499

(款) 19 諸収入

(項) 5 雑入

3 雑入	2,509,664	6	2,509,670
計	2,509,672	6	2,509,678

歳入合計	157,766,106	498,484	158,264,590
------	-------------	---------	-------------

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
19 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金	498,478	基本額 498,478×10/10

7 雑入	6	

--	--	--

(款) 14 国庫支出金 (項) 2 国庫補助金
～ (款) 19 諸収入 (項) 5 雑入

(5)

歳出

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
4 母子福祉費	85,069	498,484	583,553	498,478		6
計	32,812,348	498,484	33,310,832	498,478		6

歳出合計	157,766,106	498,484	158,264,590	498,478		6
------	-------------	---------	-------------	---------	--	---

(単位：千円)

内 訳	節		説 明	
	区 分	金 額		
一 般 財 源	2 給 料	1,659	会計年度任用職員給料	
	3 職 員 手 当 等	1,814	地域手当	200
			通勤手当	195
			時間外勤務手当	1,215
			期末手当	204
	4 共 済 費	391	大市共負担金	72
			健康保険料等負担金	69
			雇用保険料負担金	31
厚生年金保険料負担金			219	
10 需 用 費	546	消耗品費	185	
		印刷製本費	361	
11 役 務 費	3,932	通信運搬費	1,103	
		手数料	2,829	
13 使用料及び賃借料	42	電子複写機借上料		
18 負担金、補助及び 交付金	490,100	子育て世帯生活支援特別給付金		

--	--	--	--

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費

(7)

給 与 費

一 般 職

(1) 総 括

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	3,035 (2,477)	2,750,967	10,840,026	9,770,577
補 正 前	3,034 (2,477)	2,750,967	10,838,367	9,768,763
比 較	1(0)	0	1,659	1,814
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	283,446	1,387,291	236,671
	補 正 前	283,446	1,387,091	236,671
	比 較	0	200	0
	区 分	管理職手当	期末手当	勤勉手当
	補 正 後	415,464	3,090,154	1,952,087
	補 正 前	415,464	3,089,950	1,952,087
	比 較	0	204	0

備考 ()内は、短時間勤務職員について外書きしたもの。

明 細 書

費	共 済 費		合 計		備 考
	計 (千円)	(千円)	計 (千円)		
	23,361,570	4,658,555	28,020,125		
	23,358,097	4,658,164	28,016,261		
	3,473	391	3,864		
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	夜間勤務手当	休日勤務手当	
266,345	109,668	628,466	9,849	124,842	
266,150	109,668	627,251	9,849	124,842	
195	0	1,215	0	0	
退職手当	児童手当	管理職員特別勤務手当	初任給調整手当		
1,086,563	169,972	3,792	5,967		
1,086,563	169,972	3,792	5,967		
0	0	0	0		

ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	2,598(22)		9,874,507	8,837,998
補 正 前	2,598(22)		9,874,507	8,836,783
比 較	0(0)		0	1,215
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	283,446	1,271,403	236,671
	補 正 前	283,446	1,271,403	236,671
	比 較	0	0	0
	区 分	管理職手当	期末手当	勤勉手当
	補 正 後	415,464	2,353,103	1,952,087
	補 正 前	415,464	2,353,103	1,952,087
	比 較	0	0	0

備考 ()内は、短時間勤務職員について外書きしたもの。

費				
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考	
18,712,505	3,915,728	22,628,233		
18,711,290	3,915,728	22,627,018		
1,215	0	1,215		
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	夜間勤務手当	休日勤務手当
233,950	108,968	606,694	9,849	124,625
233,950	108,968	605,479	9,849	124,625
0	0	1,215	0	0
退職手当	児童手当	管理職員特別勤務手当	初任給調整手当	
1,065,527	166,452	3,792	5,967	
1,065,527	166,452	3,792	5,967	
0	0	0	0	

イ 会計年度任用職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	437(2,455)	2,750,967	965,519	932,579
補 正 前	436(2,455)	2,750,967	963,860	931,980
比 較	1(0)	0	1,659	599
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	地域手当	通勤手当	特殊勤務手当
	補 正 後	115,888	32,395	700
	補 正 前	115,688	32,200	700
	比 較	200	195	0

備考 ()内は、会計年度任用の職を占める職員であって、その一週間当たりの通常の勤務時間が常時勤務を要する職を占める職員の一週間当たりの通常の勤務時間に比し短い職員について外書きしたもの。

費	共 済 費		合 計		備 考
	計 (千円)	(千円)	計 (千円)		
	4,649,065	742,827	5,391,892		
	4,646,807	742,436	5,389,243		
	2,258	391	2,649		
時間外勤務手当	休日勤務手当	期末手当	退職手当	児童手当	
21,772	217	737,051	21,036	3,520	
21,772	217	736,847	21,036	3,520	
0	0	204	0	0	

(2)給料及び職員手当等の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
	千円		千円
給 料	1,659	その他の増減分	1,659
職員手当等	1,814	その他の増減分	1,814

説 明	備 考
千円	
地域手当	
200	
通勤手当	
195	
時間外勤務手当	
1,215	
期末手当	
204	

ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分	増 減 額		増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
	千円			千円
職員手当等	1,215		その他の増減分	1,215

説 明	備 考
<p style="text-align: right;">千円</p> 時間外勤務手当 1,215	

イ 会計年度任用職員

区 分	増 減 額		増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
		千円		千円
給 料	1,659		その他の増減分	1,659
職員手当等	599		その他の増減分	599

説 明	備 考
<p style="text-align: right;">千円</p> 地域手当 200 通勤手当 195 期末手当 204	

専決処分報告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めます。

令和5年6月5日

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 専決処分年月日 令和5年5月10日
- 2 事 件 名 令和5年度吹田市一般会計補正予算（第3号）

（ 1 ）

専決第2号

令和5年度吹田市一般会計補正予算（第3号）

令和5年度吹田市の一般会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,556,312千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ159,820,902千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和5年5月10日専決

吹田市長 後藤 圭二

第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
14 国庫支出金		30,812,758	1,556,298	32,369,056
	2 国庫補助金	4,390,499	1,556,298	5,946,797
19 諸収入		3,372,958	14	3,372,972
	5 雑入	2,509,678	14	2,509,692
歳入合計		158,264,590	1,556,312	159,820,902

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
3 民生費		74,688,138	1,556,312	76,244,450
	1 社会福祉費	27,219,513	1,556,312	28,775,825
歳出合計		158,264,590	1,556,312	159,820,902

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(款) 14 国庫支出金

(項) 2 国庫補助金

目	補正前の額	補正額	計
1 総務費国庫補助金	299,493	1,556,298	1,855,791
計	4,390,499	1,556,298	5,946,797

(款) 19 諸収入

(項) 5 雑入

3 雑入	2,509,670	14	2,509,684
計	2,509,678	14	2,509,692

歳入合計	158,264,590	1,556,312	159,820,902
------	-------------	-----------	-------------

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
7 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,556,298	

7 雑	入	14	

--	--	--	--

(款) 14 国庫支出金 (項) 2 国庫補助金
～ (款) 19 諸収入 (項) 5 雑入

(5)

歳出

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
1 社会福祉総務費	1,369,294	1,556,312	2,925,606	1,556,298		14
計	27,219,513	1,556,312	28,775,825	1,556,298		14

歳出合計	158,264,590	1,556,312	159,820,902	1,556,298		14
------	-------------	-----------	-------------	-----------	--	----

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源	1 報 酬	2,297	会計年度任用職員報酬
	3 職 員 手 当 等	1,877	時間外勤務手当 1,501 期末手当 376
	4 共 済 費	419	大市共負担金 140 雇用保険料負担金 39 厚生年金保険料負担金 240
	8 旅 費	150	費用弁償
	10 需 用 費	270	消耗品費
	11 役 務 費	13,990	通信運搬費 8,655 手数料 5,335
	12 委 託 料	186,872	住民税非課税世帯支援給付金支給 業務委託料
	13 使用料及び賃借料	399	電算機器借上料、電子複写機借上 料
	18 負担金、補助及び 交付金	1,350,038	住民税非課税世帯支援給付金ほか

--	--	--	--

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費

(7)

給 与 費

一 般 職

(1) 総 括

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	3,035 (2,479)	2,753,264	10,840,026	9,772,454
補 正 前	3,035 (2,477)	2,750,967	10,840,026	9,770,577
比 較	0(2)	2,297	0	1,877
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	283,446	1,387,291	236,671
	補 正 前	283,446	1,387,291	236,671
	比 較	0	0	0
	区 分	管理職手当	期末手当	勤勉手当
	補 正 後	415,464	3,090,530	1,952,087
	補 正 前	415,464	3,090,154	1,952,087
	比 較	0	376	0

備考 ()内は、短時間勤務職員について外書きしたもの。

明 細 書

費			備 考	
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)		
23,365,744	4,658,974	28,024,718		
23,361,570	4,658,555	28,020,125		
4,174	419	4,593		
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	夜間勤務手当	休日勤務手当
266,345	109,668	629,967	9,849	124,842
266,345	109,668	628,466	9,849	124,842
0	0	1,501	0	0
退職手当	児童手当	管理職員特別勤務手当	初任給調整手当	
1,086,563	169,972	3,792	5,967	
1,086,563	169,972	3,792	5,967	
0	0	0	0	

ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	2,598(22)		9,874,507	8,839,499
補 正 前	2,598(22)		9,874,507	8,837,998
比 較	0(0)		0	1,501
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当
	補 正 後	283,446	1,271,403	236,671
	補 正 前	283,446	1,271,403	236,671
	比 較	0	0	0
	区 分	管理職手当	期末手当	勤勉手当
	補 正 後	415,464	2,353,103	1,952,087
	補 正 前	415,464	2,353,103	1,952,087
	比 較	0	0	0

備考 ()内は、短時間勤務職員について外書きしたもの。

費				
計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考	
18,714,006	3,915,728	22,629,734		
18,712,505	3,915,728	22,628,233		
1,501	0	1,501		
通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	夜間勤務手当	休日勤務手当
233,950	108,968	608,195	9,849	124,625
233,950	108,968	606,694	9,849	124,625
0	0	1,501	0	0
退職手当	児童手当	管理職員特別勤務手当	初任給調整手当	
1,065,527	166,452	3,792	5,967	
1,065,527	166,452	3,792	5,967	
0	0	0	0	

イ 会計年度任用職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当等 (千円)
補 正 後	437(2,457)	2,753,264	965,519	932,955
補 正 前	437(2,455)	2,750,967	965,519	932,579
比 較	0(2)	2,297	0	376
職員手当等 の 内 訳 (千円)	区 分	地域手当	通勤手当	特殊勤務手当
	補 正 後	115,888	32,395	700
	補 正 前	115,888	32,395	700
	比 較	0	0	0

備考 ()内は、会計年度任用の職を占める職員であって、その一週間当たりの通常の勤務時間が常時勤務を要する職を占める職員の一週間当たりの通常の勤務時間に比し短い職員について外書きしたもの。

費	費		計		備 考
	計 (千円)	共 済 費 (千円)	合 計 (千円)		
	4,651,738	743,246	5,394,984		
	4,649,065	742,827	5,391,892		
	2,673	419	3,092		
時間外勤務手当	休日勤務手当	期末手当	退職手当	児童手当	
21,772	217	737,427	21,036	3,520	
21,772	217	737,051	21,036	3,520	
0	0	376	0	0	

(2)給料及び職員手当等の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 1,877	その他の増減分	千円 1,877

説 明	備 考
時間外勤務手当	
期末手当	

ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分	増 減 額	
	千円	千円
職員手当等	1,501	その他の増減分 1,501

説 明	備 考
<p style="text-align: right;">千円</p> 時間外勤務手当 1,501	

イ 会計年度任用職員

区 分	増 減 額	増 減 額 の 増 減 事 由 別 内 訳	
職員手当等	千円 376	その他の増減分	千円 376

説 明	備 考
期末手当 <div style="text-align: right;">千円 376</div>	

議案第47号

旧市営岸部中（北）住宅解体撤去工事請負契約の締結について

本市は、旧市営岸部中（北）住宅解体撤去工事の請負契約を次のとおり締結します。

令和5年6月5日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工事名 旧市営岸部中（北）住宅解体撤去工事
- 2 工事概要 住棟（E棟）
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上4階
 - 延床面積 1,139㎡
 - 工事内容 解体撤去工事住棟（F棟）
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上4階
 - 延床面積 1,199㎡
 - 工事内容 解体撤去工事住棟（G棟）
 - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上5階
 - 延床面積 1,498㎡
 - 工事内容 解体撤去工事その他工事範囲
 - ポンプ室、自転車置場、倉庫、埋設管、その他設備機器、植栽、外構等の解体撤去工事及び整地
- 3 工事場所 吹田市岸部中2丁目8番ほか
(1)

- 4 工 期 着工 令和5年6月臨時会議決後
完成 令和7年3月14日
- 5 請負金額 376,184,600円
- 6 請 負 者 吹田市高野台4丁目3番1-107号
アオバ建設工業株式会社
代表取締役 奥 谷 栄 次

(2)

